第2期 北秋田市子ども・子育て支援事業計画

令和2年3月

北秋田市

目次

第1章 計画の概要	
1.計画策定の背景と趣旨	1
2. 計画の性格	1
3. 計画の位置づけと期間	1
第2章 北秋田市の少子化の動向と子育ての状況	
1. 少子化の状況	2
2. 世帯の状況	4
3. 子どもの状況	6
第3章 基本的な考え方	
1. 基本理念	8
2. 基本的な視点	8
3. 施策目標	9
第4章 量の見込みと確保方策	
1. 量の推計	10
2. 教育•保育提供区域	10
3. 家庭類型の算出	11
4. 人口の見込み	12
第5章 幼児期の教育・保育の量の見込みと提供体制	
1. 区域ごとの状況	13
2. 保育利用率の目標設定	17
3. 子ども・子育て支援事業	18
第6章 教育・保育の一体的提供及び計画の推進体制	
1. 認定こども園の普及に係る基本的な考え方	26
2. 教育・保育施設等の連携の推進方策	26
3. 産休後及び育休後の教育・保育施設の円滑な利用の確保	26
4. 計画の推進体制の充実	26
第7章 次世代育成支援対策地域行動計画の継承	27
第8章 計画の実現に向けた重点目標と検討課題	29

資料編

- 1. 北秋田市子ども・子育て会議設置条例
- 2. 北秋田市子育てに関するニーズ調査報告書

第1章 計画の概要

1. 計画策定の背景と趣旨

少子高齢化の急速な進展は人口構造を歪ませ、労働力人口の減少や社会保障負担の増加 をはじめとする社会経済の情勢に大きな影響と変化をもたらしています。

その中でも、子どもを取り巻く環境に対しては早急な対応が求められており、我が国では平成24年8月に子ども・子育て支援法をはじめとする「子ども・子育て関連3法」が制定され、平成27年度からスタートした「子ども・子育て支援新制度」によって幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業を提供する体制の整備が図られてきましたが、子育て期の女性の就業率の上昇や、それに伴う保育利用申込者の増加などにより、すべての子どもが保育を必要としながらも利用できていない状況にあります。

そのような中、平成29年6月に公表された「子育て安心プラン」では、待機児童の解消に必要な受け皿の整備を進めるとともに、平成30年9月には「新・放課後子ども総合プラン」を策定し、すべての児童が放課後等を安全・安心に過ごしながら、多様な学習と活動を行うことができるような事業を計画的に整備していくこととされました。

北秋田市では、法に基づいた「北秋田市子ども・子育て会議」を設置し、平成27年3月の二一ズ調査によって把握した保育サービスの利用希望などを踏まえた「北秋田市子ども・子育て支援事業計画」を策定しながら子ども子育て支援策を推進してきましたが、この計画が令和元年度で最終年度を迎えることから、すべての子どもが健やかに育ちながら子どもを産み育てる喜びを実現できる北秋田市の実現を目指し、「第2期北秋田市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

2. 計画の性格

この計画は、子ども・子育て支援法の第61条に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」であり、国の「子ども・子育て支援法に基づく基本指針」(以下「基本指針」という。)を踏まえるとともに、秋田県の「第2期秋田県子ども・子育て支援事業支援計画」などの関連する他の計画との整合を図り、子ども・子育てに関する各種施策及び事業を総合的に実施します。

3. 計画の位置づけと期間

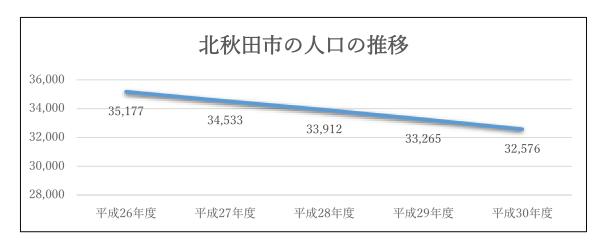
本計画の計画期間については、令和2年度から令和6年度までの5年間とします。 なお、基本指針に基づき、計画期間の中間年には本計画の達成状況の点検及び評価の結果に応じて、必要な場合には計画の見直しを行います。

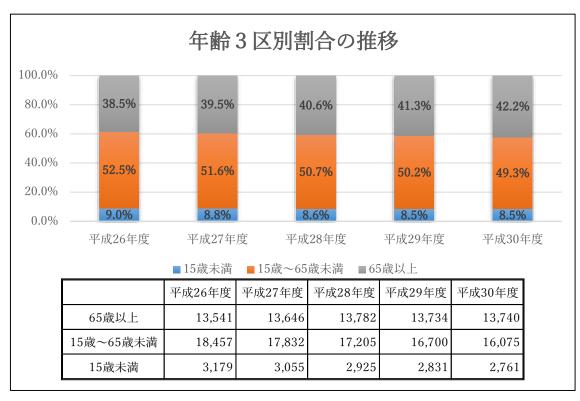
第2章 北秋田市の少子化の動向と子育ての状況

1. 少子化の状況

(1)人口の推移

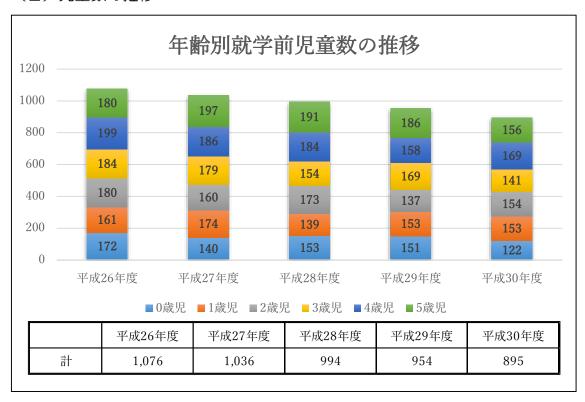
人口減少に歯止めがかからず、平成31年4月現在の人口は31,844人となっています。 また、年齢3区分別割合の推移をみると65歳未満の人口比率は減少が続いており、なかでも15歳未満の割合は全国最低の秋田県10.1%と比較しても低い数字となっています。

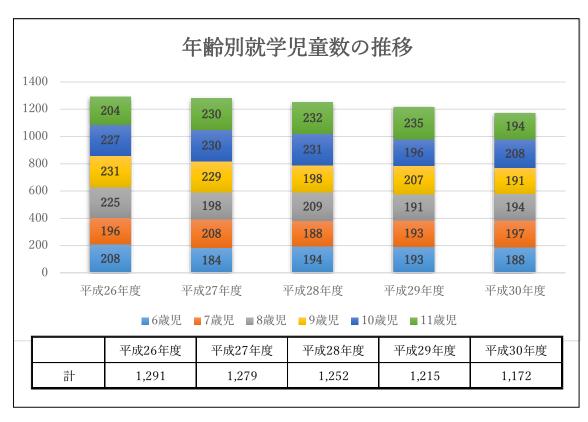




資料:北秋田市の住民基本台帳に基づくデータ

(2) 児童数の推移



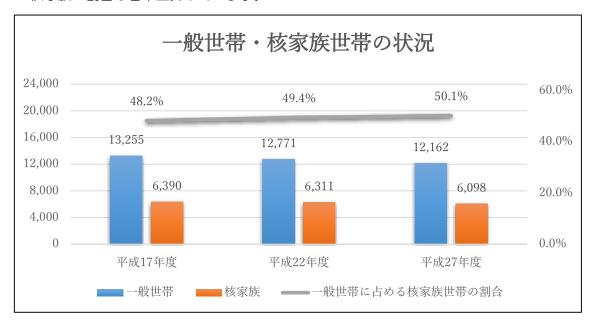


資料:北秋田市の住民基本台帳に基づくデータ

2. 世帯の状況

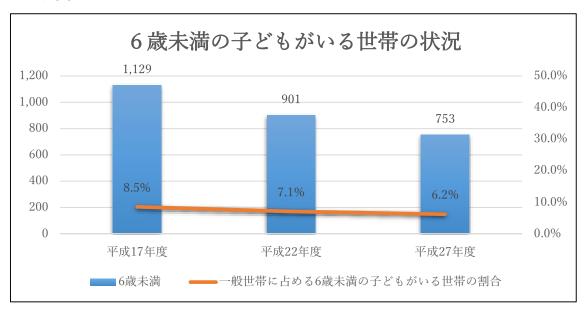
(1) 一般世帯・核家族世帯の状況

当市の核家族世帯数は、平成27年度で6,098世帯となっており、一般世帯に占める 核家族の割合は若干上昇しています。



(2) 6歳未満の子どもがいる世帯の状況

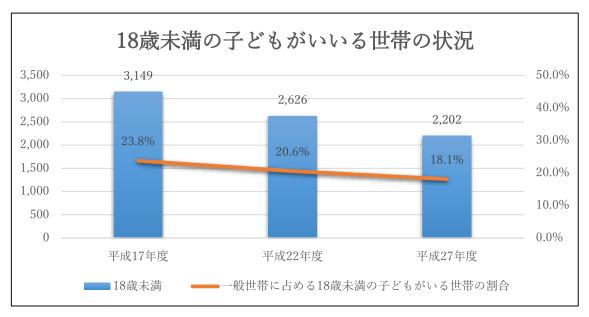
6歳未満の子どもがいる世帯は年々減少しており、一般世帯に占める割合も減少しています。



資料:国勢調査

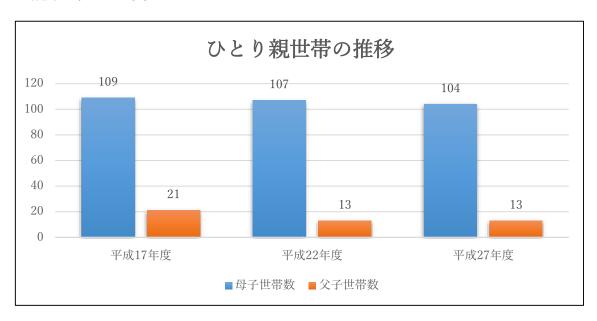
(3) 18歳未満の子どもがいる世帯の状況

6歳未満の子どもがいる世帯と同じく減少していますが、一般世帯に占める割合の減 少幅は大きくなっています。



(4)ひとり親世帯の推移

当市の18歳未満の子どもがいる母子世帯はわずかに減少しており、父子世帯も同様の傾向がみられます。



資料:国勢調査

3. 子どもの状況

(1)保育園入所児童数の推移

平成31年4月1日時点において、市内の保育園(認定こども園の保育所部分を含む)は11か所、定員数は1,016人となっています。

また、入所者数は767人で、市全体では定員を下回る状況となっていますが、鷹巣地区 だけは定員を上回っています。

幼稚園については、認定こども園の幼稚園部分の1か所のみです。

地区	施設区	☑分	か所数	定員		入所児童数	入所率
鷹巣地区	認定こど	も園	1か所	保育園	保育園 90 96		106.6%
				幼稚園	30	27	90.0%
	保育園	私立	5か所		400	377	94.2%
	鷹巣地区	計			520	500	96.1%
合川地区	保育園	公立	1か所		170	124	72.9%
森吉地区	保育園	公立	2か所		220	111	50.4%
阿仁地区	保育園	公立	2か所	76		32	42.1%
	合計				986	767	77.7%

(2) 保育園入所児童数の推移

保育園入所児童数の推移をみると、年によって若干の増減はあるものの全体では緩やか な減少傾向にあります。

地区	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
鷹巣地区	555	564	534	527	498
合川地区	142	144	147	145	135
森吉地区	132	133	119	113	113
阿仁地区	36	36	46	35	31
合計	865	877	846	820	777

資料: 北秋田市の保育所入所データ

(3) 地区別小学校児童数の推移

地区	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
鷹巣地区	750	762	767	755	728
合川地区	248	242	226	205	135
森吉地区	212	198	183	183	176
阿仁地区	67	60	58	57	50
合計	1,277	1,262	1,234	1200	1,156

(4) 地区別中学校生徒数の推移

地区	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
鷹巣地区	465	415	376	361	390
合川地区	133	129	118	136	135
森吉地区	136	111	114	108	113
阿仁地区	56	52	46	35	31
合計	790	707	654	640	669

資料:北秋田市教育委員会の在学児童数データ(5月1日現在)

第3章 基本的な考え方

1. 基本理念

みんなで育てよう北秋田市の子ども・未来

第1期計画では、「みんなで育てよう北秋田市の子ども・未来」を基本理念に、子どもの健やかな成長のための支援を推進してきました。

しかしながら、少子化と人口減少が地域の将来に与える影響は従前より大きくなっており、子どもに係る施設の整備や支援に加え、保護者の職場環境などの子育ての背景にも目を向けながら、社会全体で子育てしやすい環境の実現に取り組むという意識の整備に踏み込むことが重要であると考えます。

第2期計画においても、第2次北秋田市総合計画における福祉分野の基本理念「お互いが 尊敬し支えあう明るいまちづくり」を踏襲し、少子化対策に取り組む地域の姿として「子 どもが中心に形成された社会」を目指しながら、今後とも当市の未来を担う子どもを安心 して生み育てることができるよう、地域が一体となって社会の希望である子どもたちを見 守り支援していくため、第1期計画の基本理念を継承しながら計画を推進していきます。

2. 基本的な視点

第1期計画を引き継ぎ、次の3つの視点で基本理念の実現を目指します。

(1)子どもの健やかな成長を育む環境づくり

すべての子どもが、生まれてきたことに喜びを感じ、人との関わりの中で豊かな人間性を形成し、健やかに成長できるよう、長期的な視野に立った健全育成への取り組みと環境づくりを推進していきます。

(2) 地域社会全体での子育て支援

すべての親が子育てに責任と喜びを感じ、安心して子育てができ、子どもとの生活に安らぎや夢をもち続けられるよう、地域・家庭・企業・行政等が連携し、地域社会全体で子育てを支えていくことを目指します。

(3) 仕事と生活の調和の実現

市民一人ひとりが、仕事と子育て、家庭や地域生活などにおいて調和のとれた生き方が 選択できる環境の整備に取り組むとともに、男性の育児休暇を促すなどの企業への呼びか けや制度の周知による支援に努めます。

3. 施策目標

基本理念と基本的な視点に基づき、市の現状や計画策定のために行ったニーズ調査の結果を踏まえて、次の5つの目標を設定し、施策を展開していきます。

(1)教育・保育事業の充実

ニーズ調査の結果をみると、出産・育児のために離職した母親の多くが「すぐにでも、 もしくは1年以内に就労したい」と答えており、今後も保育の必要性が増加することが考 えられます。

また、保育園等を利用する際の重視項目には、「自宅からの距離」や「施設環境(設備、園庭等)」を挙げる保護者が多かったことから、引き続き保育・教育の量と質を確保しながら保育サービスの充実を確保していく必要があります。

(2) 一時預かり、病児保育の充実

通院やリフレッシュ、冠婚葬祭等の目的で急に子どもを預けなければならないとき、世帯の状況に対応できるように一時預かり等の保育事業の充実を図る必要があります。

また、子どもが病気やけがのとき、共働き世帯では保護者のいずれかが休暇を取得している状況にあるため、仕事と生活の調和の実現のためには、病児・病後児保育等の多様な保育サービスのニーズに対応していくことが求められています。

(3) 子育で世帯への支援の充実

妊娠・出産・子育ての不安を解消し、身体的・精神的な負担なく安心して子どもを育てることができる環境を整えることが重要です。

様々な事業による切れ目のない支援や、仕事と生活を両立するための環境づくり、さらには近年社会問題となっている子どもの貧困対策や児童虐待等について、相談や情報提供を行いながら支援を必要とする家庭に十分な支援を提供していくことが重要です。

(4) 地域の子育て支援の充実

子育てサポートハウスわんぱぁくや、様々な事業により子育てにやさしい環境の整備を 目指すとともに、子どもの心の育ちや体の育ちなどの発達状況に不安を抱えている家庭へ の相談支援体制を強化していく必要があります。

(5) 小学校就学後の放課後対策の充実

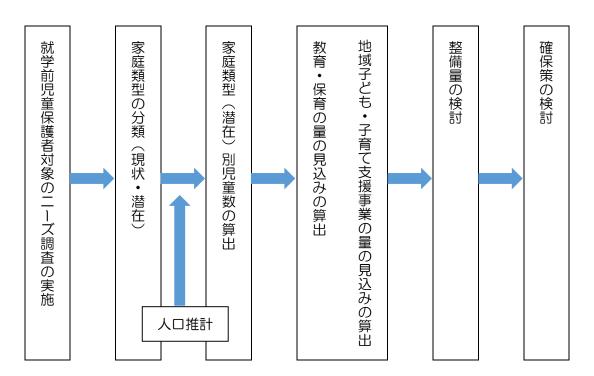
放課後の過ごし方に放課後児童クラブを想定している保護者が多く、子どもの安全・安 心な居場所、遊びや体験の場として整備していくことが求められています。

第4章 量の見込みと確保方策

1. 量の推計

事業計画では、一定の区域(教育・保育提供区域)ごとに、教育・保育及び地域事業に どのくらいの需要があるか(量の見込み)を設定し、いつ・どのくらい供給するか(確保 方策)を定めることとされています。

教育・保育、地域子ども・子育て支援事業のニーズ量を把握するためには、就学前児童 保護者対象のニーズ調査結果をもとに、次の手順で推計します。



2. 教育•保育提供区域

児童数や保育園の数および利用状況、小中学校の学区、さらには地理的条件を勘案すると、合併前の旧町ごとの区域設定が望ましいものと考え、第1期計画と同じく「鷹巣地区」「合川地区」「森吉地区」「阿仁地区」の4区域を設定しました。

今後、区域の見直しの必要があれば事業計画の見直しの時期に併せて検討を行います。

3. 家庭類型の算出

計画では、量の見込みを算出するにあたり、国の手引きに従い家庭類型を整理します。 1号・2号・3号の認定区分に、それぞれどれだけの家庭が該当するかを想定すること が必要であり、その家庭類型は現在の就学前児童保護者の両親の就労形態等の項目によっ てタイプ A からタイプ F の 8 種類に分類したものが「現状の家庭類型」となり、その類 型に就労希望等の意向を反映させたものが「潜在の家庭類型」となります。

【家庭類型の集計結果(O歳~就学前)】

	家庭類型	現状	潜在
タイプA	:ひとり親家庭	10%	10%
タイプB	: フルタイム×フルタイム	58%	61%
タイプC	: フルタイム×パートタイム (月 120 時間以上+下限時間~120 時間の一部)	19%	18%
タイプC'	: フルタイム×パートタイム (下限時間未満+下限時間~120 時間の一部)	3%	3%
タイプD	:専業主婦(夫)	10%	8%
タイプE	: パート×パート (双方月 120 時間以上+下限時間~120 時間の一部)	0%	0%
タイプE'	: パート×パート (いずれかが下限時間未満+下限時間~120 時間の一部)	0%	0%
タイプF	:無業×無業	0%	0%
	全体	100%	100%

4. 人口の見込み

子ども・子育て支援事業計画で定めるサービスの対象となる O 歳から 11 歳までの子どもの人口は、コーホート変化率法(※)により推計しました。

単位:人

年齢	令和 2 年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和 6 年度
O歳	124	120	116	112	109
1 歳	129	124	120	116	112
2歳	122	129	124	120	116
3歳	151	121	127	122	118
4歳	154	153	123	129	124
5歳	144	155	154	124	130
6歳	171	145	156	155	125
7歳	159	173	147	158	157
8歳	192	161	175	149	160
9歳	199	192	161	175	149
10歳	194	199	192	161	175
11歳	192	195	200	193	162
計	1,931	1,867	1,795	1,714	1,637

※コーホート変化率法:過去の人口動態から変化率を求め、それに基づいて将来人口を推 計する方法

第5章 幼児期の教育・保育の量の見込みと提供体制

1. 区域ごとの状況

(1) 鷹巣地区

【現在の状況】

(令和元年10月1日現在)

	3-5 歳 教育のみ (1 号認定該当)	3-5 歳 保育の必要性あり (2 号認定該当)	O-2 歳 保育の必要性あり (3 号認定該当)	合計
対象児童数		302	303	605
施設利用児童数	24	276	228	528
施設未利用児童数		2	75	77

【各年度のニーズ量(必要利用定員総数)の見込みと確保方策】

鷹巣地区			令和 2 年度		令和 3 年度				
		3-5 歳 教育のみ	3-5 歳 保育の 必要性あり	O-2 歳 保育の 必要性あり	3-5 歳 教育のみ	3-5 歳 保育の 必要性あり	O-2 歳 保育の 必要性あり		
			(2号認定)	(3 号認定)	(1号認定)	(2号認定)	(3 号認定)		
① 量の)見込み(必要利用定員総数)	20	293	209	20	279	208		
②確保	特定教育•保育施設	30	300	210	30	300	210		
方策	特定地域型保育事業								
	2 -1	10	7	1	10	21	2		

	令和 4 年度			令和 5 年度		令和 6 年度			
3-5 歳	3-5 歳	0-2歳	3-5 歳	3-5 歳	0-2 歳	3-5 歳	3-5 歳	0-2 歳	
教育のみ	保育の	保育の	教育のみ	保育の	保育の	教育のみ	保育の	保育の	
	必要性あり	必要性あり		必要性あり	必要性あり		必要性あり	必要性あり	
(1 号認定)	(2 号認定)	(3 号認定)	(1 号認定)	(2 号認定)	(3 号認定)	(1 号認定)	(2 号認定)	(3 号認定)	
20	263	200	20	244	194	20	242	188	
30	280	210	30	280	210	30	280	210	
10	17	10	10	36	16	10	38	22	

【確保方策の検討案】

今後も子どもの数の減少は見込まれますが、女性の社会進出などによってO-2歳における保育サービスのニーズは高水準で推移が続くと考えられます。

なかでも、鷹巣地区は交通の便もよく就業場所が多いことから、他市からの広域入所の利用もあり、保育の受け皿を一定数確保していく必要があります。

現在、すべての園が私立となっていますが、今後も待機児童の発生なく適切な保育がなれるよう、行政との連携した取り組みと支援によって民間ならではの効率的な運営が図られることが期待されます。

(2) 合川地区

【現在の状況】

(令和元年10月1日現在)

	3-5 歳 教育のみ (1 号認定該当)	3-5 歳 保育の必要性あり (2 号認定該当)	O-2 歳 保育の必要性あり (3 号認定該当)	合計
対象児童数		80	67	147
施設利用児童数	0	77	51	128
施設未利用児童数		3	16	19

【各年度のニーズ量(必要利用定員総数)の見込みと確保方策】

			令和 2 年度		令和 3 年度		
合川地区		3-5 歳 教育のみ	3-5 歳 保育の 必要性あり	O-2 歳 保育の 必要性あり	3-5 歳 教育のみ	3-5 歳 保育の 必要性あり	O-2 歳 保育の 必要性あり
			(2号認定)	(3 号認定)	(1号認定)	(2号認定)	(3 号認定)
① 量の)見込み(必要利用定員総数)		71	51		67	51
②確保	特定教育•保育施設		72	60		72	60
方策	特定地域型保育事業						
	2 -1		1	9		5	9

	令和 4 年度			令和 5 年度		令和 6 年度		
3-5歳 教育のみ (1号認定)	3-5 歳 保育の 必要性あり (2 号認定)	O-2 歳 保育の 必要性あり (3 号認定)	3-5 歳 教育のみ (1 号認定)	3-5 歳 保育の 必要性あり (2 号認定)	O-2 歳 保育の 必要性あり (3 号認定)	3-5 歳 教育のみ (1 号認定)	3-5 歳 保育の 必要性あり (2 号認定)	O-2 歳 保育の 必要性あり (3 号認定)
						(1 5 100 / 12/		
	64	48		59	47		59	46
	72	60		72	60		72	60
	8	12		13	13		13	14

【確保方策の検討案】

合川地区については令和2年4月からのあいかわ保育園民営化により、鷹巣地区と同様に公立では難しかった新たな事業や継続事業の拡充のほか、将来必要となる大規模改修や改築について国や県から補助を得られることができるようになりました。

しかし、運営面では今後の出生数の推移をみると不安が残ることから、効率的な運用が 図られるよう連携した取り組みと支援が必要になると思われます。

なお、1号認定のニーズについては、合川地区に幼稚園・認定こども園が無いため確保 方策の具体的数値を記載していませんが、利用申し込みがあった際には鷹巣地区の認定こ ども園の利用を勧めることになります。

(3) 森吉地区

【現在の状況】

(令和元年10月1日現在)

	3-5 歳 教育のみ (1 号認定該当)	3-5 歳 保育の必要性あり (2 号認定該当)	O-2 歳 保育の必要性あり (3 号認定該当)	合計
対象児童数		66	58	124
施設利用児童数	0	66	44	110
施設未利用児童数		0	14	14

【各年度のニーズ量(必要利用定員総数)の見込みと確保方策】

			令和 2 年度		令和 3 年度		
	森吉地区	3-5 歳 教育のみ	3-5 歳 保育の 必要性あり	O-2 歳 保育の 必要性あり	3-5 歳 教育のみ	3-5 歳 保育の 必要性あり	O-2 歳 保育の 必要性あり
		(1号認定)	(2号認定)	(3号認定)	(1号認定)	(2号認定)	(3 号認定)
① 量の	① 量の見込み(必要利用定員総数)		60	43		57	43
②確保	②確保 特定教育・保育施設		166	54		166	54
方策	方策 特定地域型保育事業						
	2 -1		106	11		109	11

	令和 4 年度			令和 5 年度		令和 6 年度		
3-5歳教育のみ	3-5 歳 保育の 必要性あり	O-2 歳 保育の 必要性あり	3-5 歳 教育のみ	3-5 歳 保育の 必要性あり	O-2 歳 保育の 必要性あり	3-5 歳 教育のみ	3-5 歳 保育の 必要性あり	O-2 歳 保育の 必要性あり
(1 号認定)	(2 号認定)	(3 号認定)	(1 号認定)	(2 号認定)	(3 号認定)	(1 号認定)	(2 号認定)	(3 号認定)
	54	41		50	40		49	39
	100	54		100	54		100	54
	46	13		50	14		51	15

【確保方策の検討案】

森吉地区は合川地区と同様に今後の出生数の減少が予想されますが、米内沢保育園については公立の保育園として最大定員数を確保しながら十分な保育の受け皿となるように整備を進めていきます。

なお、今後の公立保育園の民営化の方向性としては、これまでの移管実績と民間の活力 の活用という観点から民営化に向けた検討は継続していきますが、私立保育園の運営には 国や県からの財政的な支援に加え、移管先法人の経営力の問題が大きいことから、市では 移管条件や法人の支援を研究し、安心して子どもを預けることのできる保育環境の充実に 努めていきます。

(4) 阿仁地区

【現在の状況】

(令和元年10月1日現在)

	3-5 歳 教育のみ (1 号認定該当)	3-5 歳 保育の必要性あり (2 号認定該当)	O-2 歳 保育の必要性あり (3 号認定該当)	合計
対象児童数		26	12	38
施設利用児童数	0	24	8	32
施設未利用児童数		2	4	6

【各年度のニーズ量(必要利用定員総数)の見込みと確保方策】

			令和 2 年度		令和3年度		
	0=1-14c=	3-5 歳	3-5 歳	O-2 歳	3-5 歳	3-5 歳	O-2 歳
	阿仁地区	教育のみ	保育の	保育の	教育のみ	保育の	保育の
			必要性あり	必要性あり		必要性あり	必要性あり
		(1号認定)	(2 号認定)	(3 号認定)	(1号認定)	(2 号認定)	(3 号認定)
① 量の)見込み(必要利用定員総数)		18	13		18	13
②確保	②確保 特定教育・保育施設		56	20		56	20
方策	特定地域型保育事業						
	2 -1		38	7		38	7

	令和 4 年度			令和 5 年度			令和6年度	
3-5 歳	3-5 歳	O-2 歳	3-5 歳	3-5 歳	O-2 歳	3-5 歳	3-5 歳	O-2 歳
教育のみ	保育の	保育の	教育のみ	保育の	保育の	教育のみ	保育の	保育の
	必要性あり	必要性あり		必要性あり	必要性あり		必要性あり	必要性あり
(1号認定)	(2 号認定)	(3 号認定)	(1号認定)	(2 号認定)	(3 号認定)	(1号認定)	(2 号認定)	(3 号認定)
	17	13		15	12		15	12
	56	20		56	20		56	20
	39	7		41	8		41	8

【確保方策の検討案】

基本的に合川地区・森吉地区と同様ですが、阿仁地区の両保育園の児童数が他地区と比べて少なく、集団保育の実施が困難な現状にあることをみると、保育園の統合等について検討していく段階にあるといえます。

このことは北秋田市保育園等整備計画のなかでも「公立小規模保育園は、入所希望児童 数が10名を下回る時点で保育園の存続について判断し、順次統合を進めていく」とされて いますが、令和元年2月末時点において阿仁地区の小学校の統合が未定の状態であること に鑑みると、小学校と同様に地域の意向や実情等を踏まえた総合的な判断と、小学校統合 計画との整合性を図る必要があります。

2. 保育利用率の目標設定

子ども・子育て支援事業計画では、3号に該当する子どもの保育利用率の各年度の目標値を定めることとされています。

保育利用率とは、満3歳未満の子どもの推計数に占める保育利用定員数の割合であり、 北秋田市では利用率の目標を上回っています。

3号認定の子どもの利用定員数(②) 保育利用率 = 満3歳未満の子どもの推計数(①)

3号認定の子どもに係る量の見込み(③)

満3歳未満の子どもの推計数(①)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
満3歳未満の 推計数(①)	375	373	360	348	337
3号認定の 利用定員数(②)	344	344	344	344	344
3号認定の 量の見込み(③)	316	315	302	293	285
保育利用率 (②/①)	91.7%	92.2%	95.5%	98.8%	102%
保育利用率の目標 (3/1)	84.2%	84.4%	83.8%	84.1%	84.5%

【子ども・子育て支援法に基づく基本指針より抜粋】

保育利用率:満三歳未満の子どもの数全体に占める認定こども園、保育所又は地域型 保育事業に係る法第 19 条第1項第3号に掲げる小学校就学前子どもに 該当する満3歳未満の子どもの利用定員数の割合

3. 子ども・子育て支援事業

第1期計画を踏まえ、これまでの利用実績やニーズ調査の結果、児童数の推計等からそれぞれの事業の必要な量の見込みや確保方策について設定します。

(1) 利用者支援事業

【概要】

子ども及びその保護者が、身近な場所で様々な子育て支援事業を利用することができるよう情報の提供や相談・助言を行うほか、関係機関との連絡調整等を実施する事業です。

【実施方針】

令和2年4月1日より北秋田市保健センターに「北秋田市子育て世帯包括支援センター (愛称:ココロン)」を開設しており、妊娠期から子育て期まで寄り添った支援を行っています。(母子保健型)

(2) 地域子育て支援拠点事業 (子育て支援センター)

【概要】

主に保育所等を利用していない子育て世帯を対象に、育児の相談や指導をしたり、子育て世帯同士の交流の場を提供する事業です。

【実施方針】

子育てをする親の支援に繋がる重要な施設であるとともに、子育て世帯同士の交流と支 えあいにより、地域の子育て力を向上させます。

【確保の方策】

今後とも事業に関する情報提供により利用促進を図るとともに、利用者からの意見等も 伺いながら、よりよい事業の実施形態の検討を行います。

年		度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
=	ーズ	量	10,500	10,500	10,400	10,400	10,300
拠	点	数	4	4	4	4	4
確	保 方	策	10,500	10,500	10,400	10,400	10,300

(3) 奸產婦健診

【概要】

母子手帳交付時に同時に「健診受診票」を配布し、妊娠中・産後に必要な健診や、がん検査・歯科健診のほか精密検査(必要な場合)の助成を行う事業です。

【実施方針】

平成27年度からは「産後1か月健診」と「母乳育児相談」を追加して実施しています。

【確保の方策】

令和2年度以降も事業を実施し、安心して生み育てやすい環境の整備に努めます。

単位:人回

年			度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
=	_	ズ	量	2,200	2,100	2,000	1,900	1,800
確	保	方	策	2,200	2,100	2,000	1,900	1,800

(4) 乳幼児全戸訪問

【概要】

妊産婦や新生児・乳児の家庭に訪問して、子どもの養育や健康管理に必要な情報や知識を 提供したり、不安な要素がある場合は専門機関の紹介や個別相談へつなげていく事業です。

【実施方針】

保健師による対象の全世帯の訪問を実施しており、今後も継続します。

【確保の方策】

人口の見込みでは、出生数は年々減少していく推計となっており、引き続き全戸を訪問 する体制を維持します。

単位:人

年			度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
=	_	ズ	量	125	120	120	115	110
確	保	方	策	125	120	120	115	110

(5) 養育支援訪問事業・子どもを守るための地域ネットワーク機

能強化事業

【概要】

養育支援が必要な家庭を訪問し、指導・助言を行うことにより適切な養育の実施を確保する事業と、要保護児童対策協議会(子どもを守る地域ネットワーク)の機能強化を図るため、職員の専門性と連携に取り組む事業です。

【実施方針】

当市では、児童虐待等に対処するため、家庭相談員を配置しながら、関係機関との連携のもと児童家庭の支援を実施しています。

【確保の方策】

引き続き、北秋田市要保護児童対策地域協議会において、必要に応じて個別ケース検討会議を行いながら、市の虐待防止策の強化を図ります。

(6) 子育て短期支援事業(ショートステイ・トワイライトステイ)

【概要】

保護者が疾病等により家庭において児童の養育が一時的に困難となった場合に、児童養護施設に児童を入所させ適切な保護・養育を行う事業です。

短期入所生活援助(ショートステイ)事業と夜間養護等(トワイライトステイ)事業の2種類の事業があります。

【実施方針】

表のとおり一定のニーズ量が潜在的に存在しているため、今後とも事業の認知度向上を 図りながら事業を継続していきます。

【確保の方策】

児童養護施設「陽清学園」の1か所のみで実施していますが、引き続き利用数の動向を みながら、必要があれば体制の見直しを検討します。

年	度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
推計児童	童 数	824	802	764	723	709
ニース	量	212	206	197	186	182
確保方	策	200	200	200	200	200

(7) ファミリー・サポート・センター事業 (子育て援助活動支援事業)

【概要】

乳幼児や小学生等の子育て中の保護者を会員として、子どもの預かり等の援助を希望する方と、援助を行うことを希望する方との相互に助け合う活動に関する連絡、調整を行う事業です。

【対応】

当市では実施していませんが、ニーズ調査では事業を利用したいという声もあったことから、今後の実施について検討します。

(8) 一時預かり等

【概要】

保護者の就労や疾病などにより、家庭において保育が困難になった乳幼児を一時的に預かり、必要な支援を行う事業です。

【実施方針】

各園では定員に余裕がある場合に利用ができる余裕活用型の実施のほか、子育てサポートハウス「わんぱぁく」により、見込まれる利用量に対応できる提供体制を整備します。

【確保の方策】

各園の通常保育の受け入れ状況をふまえながら、提供できる施設数を増やすとともに、 里帰り出産などの長期間にわたる預かりにも対応できるような体制の整備を目指します。

年			度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
=	_	ズ	量	14,294	13,657	12,861	11,938	11,843
確	保	方	策	15,000	14,000	13,000	12,000	12,000

(9)延長保育事業

【概要】

保護者の仕事の都合等により、園の通常保育時間を延長して保育を実施する事業です。

【実施方針】

未実施の施設での事業開始にあたっては、看護師等の人材の確保や施設整備が必要になる場合があるため、現在の補助制度では不足となる部分について、市単独の補助制度を整備します。

【確保の方策】

保護者が確実に利用できる体制を整えていきます。

(10) 病児保育(病児対応型・病後児対応型・体調不良児対応型)

【概要】

児童が病気の際、保護者が仕事を休めないときなどに保育園等で預かったり(病児対応型、病後児対応型)、登園後に体調不良となった児童を保護者が迎えにくるまでの間預かる (体調不良児対応型)事業です。

【実施方針】

未実施の施設での事業開始にあたっては、看護師等の人材の確保や施設整備が必要になる場合があるため、現在の補助制度では不足となる部分について、市単独の補助制度を整備します。

また、職場で児童を看護できる企業主導型保育施設も病児保育に有効な施設であることから、企業への制度の周知に努めるとともに、意識改革と環境整備に取り組みます。

【確保の方策】

保育所での「病児」保育が利用しづらいという利用者の意見もあるため、医療機関での 実施を検討し、より利用しやすい事業を目指します。

年	度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
推計児童	数	824	802	764	723	709
ニーズ	量	2,025	1,971	1,878	1,777	1,743
確保方	策	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000

(11) 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)

【概要】

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校の就学児童に対し、放課後等を利用して適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図る事業です。

【実施方針】

放課後子ども教室(いきいきタイム)のほか、学校・児童館・スポーツ少年団等の連携により、子どもたちの様々な居場所を作ることが大切です。

子どもたちが有意義に過ごすことのできる場所の提供と、子どもたち自身でその場所を 選択できるという望ましい環境を整え、空白時間の解消と安全・安心に様々な体験・活動 を行うことのできる体制の整備に取り組みます。

【確保の方策】

現在は全員を受け入れていますが、1人あたりの必要面積を確保できていない施設もあるため、 今後の小学校の統合などの大きな変動に合わせて計画を見直しながら必要な体制を整えていきます。

令和3年には鷹巣中央小学校と鷹巣南小学校の統合により清鷹小学校が誕生し、新たな児童クラブ(専用)も建設されたほか、子ども教室における教育活動推進員の高齢化や後継者不足に対応するため、引き続き、後継者の育成に取り組んでいきます。

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
推計児童数	1,265	1,240	1,201	1,144	1,108
ニーズ量(低学年)	386	354	353	342	327
ニーズ量(高学年)	322	322	304	291	267
ニーズ量(合計)	708	676	657	633	594
確保方策	700	700	650	650	600

◇放課後児童クラブの整備状況

小学校名	施設の形態	支援の 単位数	専用面積	利用上限 (面積要件 1.65㎡)	R3.5.1 児童数
鷹巣小学校	専用施設(学校敷地内)	3	236.4	141	129
鷹巣東小学校	児童館内	1	33.1	20	27
清鷹小学校	専用施設(学校敷地内)	2	149.0	90	81
綴子小学校	児童館内	1	69.4	42	40
米内沢小学校	専用施設	2	157.4	94	83
前田小学校	専用施設(学校敷地内)	1	101.9	61	83 24
阿仁合小学校	空き教室	1	72.0	43	18
大阿仁小学校	空き教室	1	22.0	13	16
合川小学校	専用施設	3	217.5	129	145
全9校		15		633	563

◇子ども教室の連携状況

子ども教室名	児童クラブ名 (支援単位別)	開設場所	子ども教室 実施形態	目標 実施形態
	鷹巣小児童クラブA			一体型
鷹巣いきいきタイム	鷹巣小児童クラブB	専用施設(学校敷地内)	一体型	
	鷹巣小児童クラブC			
栄いきいきタイム	鷹巣東小児童クラブ	児童館内	連携型	連携型
綴子いきいきタイム	綴子小児童クラブ	児童館内	連携型	連携型
連催いきいきり ノル	清鷹小児童クラブA	旧帝カラブ	一体型	一体型
清鷹いきいきタイム	清鷹小児童クラブB	児童クラブ		
米内沢いきいきタイム	米内沢小児童クラブA	小学校体育館	一体型	一体型
本内がNeviey1ム	米内沢小児童クラブB	小子牧件目版		
前田いきいきタイム	前田小児童クラブ	小学校体育館	一体型	一体型
阿仁合いきいきタイム	阿仁合小児童クラブ	空き教室	一体型	一体型
大阿仁いきいきタイム	大阿仁小児童クラブ	空き教室	一体型	一体型
	合川小児童クラブA		連携型	連携型
合川いきいきタイム	合川小児童クラブB	公民館内		
	合川小児童クラブC			

(12) 実費徴収に係る補足給付を行う事業

【概要】

食事の提供に要する費用や物品購入に要する費用、行事への参加に要する費用などの保育施設等を利用する保護者が支払うべき費用について、保護者の世帯状況を勘案して助成を行う事業です。

【対応】

当市には該当する事業はありませんが、国や秋田県の動向、他の費用助成事業の状況を踏まえながら今後の実施について検討します。

(13) 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

【概要】

民間事業者が特定教育・保育施設等へ新規に参入する際の相談や支援により促進に関する 調査研究、その他多様な事業者の能力を活用した特定教育・保育施設等の設置、または運営 を促進するための事業です。

【対応】

国や秋田県の動向、他の費用助成事業の状況を踏まえながら今後の実施について検討します。

第6章 教育・保育の一体的提供及び計画の推進体制

1. 認定こども園の普及に係る基本的な考え方

認定こども園は、幼稚園と保育園の機能を単一で併せ持つ合理的な施設であり、当市では鷹巣地区に幼保連携型認定こども園が1か所あります。

既存保育園が認定こども園へ移行することについては、少子化による児童数の状況や、 これまでの各地区の経緯と実態に基づくニーズ、私立保育園の場合は運営や人材確保の検 討が必要となりますので、移行する場合には必要に応じて支援に努めていきます。

2. 教育・保育施設等の連携の推進方策

幼児期における教育・保育の一体的な提供については、これまでも市教育委員会並びに 小学校と取り組んできましたが、今後も連携を通して互いに子どもの育ちを理解しあい、 それぞれの授業や保育の改善を図りながら、円滑な接続へとつなげていきます。

3. 産休後及び育休後の教育・保育施設の円滑な利用の確保

育児休暇を終えることなく、保育所への入所がしやすい年度初めの時期に合わせた職場 復帰を選択する例もあるため、産休・育休明けの希望する時期に施設を利用できるよう保 育士の確保に努めるとともに、保育の必要性の優先度を考慮しながら適宜施設利用の調整 を図ります。

4. 計画の推進体制の充実

(1) 国・県・他市町村との連携

子育て支援の取り組みは、市が単独で実施するもののほか制度や法律に基づく事業もあるため、国や秋田県との連携を深め、市民のニーズを的確に把握しながら利用者本位のよりよい子育て支援となるよう計画を推進するとともに、保護者のニーズに対応した市の区域を超えた保育所等の入所の利用調整や、サービスの広域利用、障がい児への対応などが必要な場合には、周辺市町村との調整を図っていきます。

(2) 計画の点検・評価

計画の適切な進行管理を進めるために、庁内関係各課において、各施策・事業の進捗 状況を把握するとともに、「北秋田市子ども・子育て会議」を中心に、計画の実施状況 について点検と評価を行います。

第7章 次世代育成支援対策地域行動計画の継承

令和6年度まで延長された時限立法「次世代育成支援対策推進法」による市町村計画の 策定は、子ども・子育て支援法の成立によって任意化され、次世代育成支援対策の中核と なる保育サービスや各種子育て支援事業は、本計画と一体的に策定することができるよう になりました。

このため、「北秋田市次世代育成支援対策地域行動計画」において策定した次の施策目標は、本計画において継承しながら一体のものとして推進し、本計画で定める子ども・子育て支援事業と同様に必要に応じて内容の見直しを行います。

1. 地域における子育ての支援

- (1) 地域における子育て支援サービスの充実
- (2) 幼児教育と保育サービスの充実
- (3) 地域の子育てネットワークづくり
- (4)世代を超えた交流の推進
- (5) 子どもの生きる力の育成
- (6) 児童及び青少年の健全育成と自立支援
- (7) 子ども会活動等の支援

2. 母と子の健やかな暮らしづくり

- (1) 母子保健と小児医療の充実
- (2) 思春期保健対策の充実
- (3) 食育の普及促進
- (4) 育児不安や育児ストレスの解消対策

3. いきいきとした、楽しい学びの環境づくり

- (1) 児童の人権の保障
- (2) 次代の親の育成
- (3) 子どもの生きる力の育成に向けた学校の教育環境の整備
- (4) 家庭や地域の教育力の向上
- (5) スポーツクラブの整備

4. 子育てしやすい牛活環境の整備

- (1) バリアフリーと防犯等に配意した道路等公共施設の整備
- (2) 子育てしやすい公営住宅の整備及び良好な居住環境の整備
- (3) 安全な交通環境の整備と公共交通機関等の維持
- (4) 安心して遊べる衛生的な児童遊園等の整備

5. 子育てと仕事の両立を支援するまちづくり

- (1)企業等における子育て支援対策の推進
- (2) 放課後児童健全育成事業(学童保育)等の推進
- (3) 男女共同参画社会の推進
- (4) 次代を担う若者の就労対策
- (5) 子育て支援者の登録及び派遣等の確立

6. 子どもの安全の確保

- (1)子どもの交通安全教育の推進
- (2)子どもを取り巻く有害環境対策の推進と防災活動の推進
- (3)被害にあった子どもの保護対策

7. 社会的な養護の必要な子どもに関する施策の推進

- (1) 配偶者及び児童の虐待防止対策の推進
- (2) ひとり親家庭の自立支援
- (3) 地域で暮らせる障害児施策の充実
- (4) 各種相談体制の整備

第8章 計画の実現に向けた重点目標と検討課題

1. 障がいを持つ子どもや特別な配慮が必要な子どもへの支援

障がいを持つ子どもと持たない子どもが平等に生活することのできる社会の実現のため、市ではもろびこども園との連携による子どもへの支援を進めるとともに、「北秋田市障がい児保育事業実施要領」に基づく助成を行いながら、各園において保育に必要な人材を配置できるよう努めてきました。

現在の課題としては、日常生活において医療的ケアを必要とする子どもの数が、10年前と比較して約2倍の1万7千人に増えていることから、保育の提供主体である地方公共団体の保健・医療・福祉等の関係課による一層の連携により、子どもに対する様々な支援を地域に関わりなく行うことのできる保育体制の整備に取り組みます。

なお、関連する「北秋田市障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画」との整合を図り、連動して施策を推進します。

2. ひとり親家庭への支援

全国的にひとり親家庭は増加傾向にあり、自立支援の充実が課題となっています。 すべての子どもが安心して暮らすことができるよう、当市では各種手当や助成・資金貸付制度のほか、市独自の事業である「ひとり親家庭入学祝金」については令和2年度に制度の拡充を行い、額の引き上げと支給時期を中学校入学時から高校入学時までに延長しており、家庭の経済的な負担軽減に繋がることが期待されます。

また、保育所の利用については、県と市の助成制度による保育料の軽減のほか、保育の必要性からも優先的な施設利用に配慮します。

なお、子どもの貧困対策推進法に基づく計画策定については、令和3年度中の策定を目指しており、本計画と関連した子どもと家庭を包括的に支援する対策とする予定です。

3. 子育てをする親への支援

地域子育て支援拠点のほか、北秋田市子育てサークル「にじいろリボン」、親支援講座「ノーバディズ・パーフェクト」の実施によって様々なネットワークと、気軽に相談と交流ができる場を作りながら、子育て中の親が孤立することのない支援をしています。

また、その情報の発信については様々な媒体の活用により、見やすさとわかりやす さを研究し、より多くの世帯へとつながるよう周知に努めていきます。

4. 児童虐待やDV等の防止と被害児童及び保護者への支援

児童虐待やDV等を未然に防止するには、妊娠・出産期から第三者が積極的に関わり、それぞれの家庭に応じた継続的な相談と支援を行うことが重要です。

当市では、保健医療、教育、警察、人権擁護及び福祉の関係者で構成する「北秋田市要保護児童対策地域協議会」において関係機関が連携し、児童虐待の発生防止や被害を受けた児童や保護者などに対する支援を行っています。

今後も訪問事業等による早期発見に努めるとともに、街頭キャンペーンの継続実施により、児童虐待防止法をはじめとする関連法律や児童虐待の通告義務、発見時の連絡先や早期対応について周知を図ります。

また、家庭での養育が難しい子どもの受け皿となりうる里親制度については、県と 合同で認知度向上に向けた取り組みを進めていきます。

5. 幼児教育体制の充実への支援

すべての子どもが心身ともに健康に、自分らしく育つための権利を保障するためには、成長と発達に配慮した支援と質の高い教育・保育を提供する「子どもの育ちを支援する者」の専門性の向上を図ることが重要です。

本計画に定める子ども子育て支援事業を提供する体制の整備を図るためにも、幼稚園教諭・保育教諭・保育士等を対象としたキャリアアップ研修の開催や、施設管理者への適切な指導等により専門性と資質の向上を目指します。

〇北秋田市子ども・子育て会議設置条例

平成 26 年 6 月 30 日 条 例 第 19 号

(設置)

第1条 子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号。以下「法」という。)第77条第1項 の規定に基づき、北秋田市子ども・子育て会議(以下「子育て会議」という。)を置く。

(所掌事務)

- 第2条 子育て会議は、法第77条第1項各号に掲げる事務を処理するものとする。
- 2 子育て会議は、前項に規定する事項に関し、必要に応じて市長に対し意見を述べることができる。

(組織)

- 第3条 子育て会議は、委員20人以内をもって組織する。
- 2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。
- (1) 児童の保護者
- (2) 児童福祉関係者
- (3) 教育関係者
- (4) 民生児童委員
- (5) その他市長が必要と認める者

(委員の仟期)

- 第4条 委員の任期は3年とする。ただし、最初に委嘱される委員の任期は平成 29 年3月 31 日までとする。
- 2 仟期を満了せず委員が欠けた場合における補欠委員の仟期は、前仟者の残仟期間とする。
- 3 委員は再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

- 第5条 子育て会議に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。
- 2 委員長は、子育て会議を代表し、会務を総理し、子育て会議の議長となる。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職 務を代理する。

(会議)

- 第6条 子育て会議は、委員長が必要と認めるときこれを招集する。ただし、委員の委嘱後最初 の子育て会議は市長がこれを招集する。
- 2 子育て会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 3 子育て会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数の場合は委員長の決するところによる。

(庶務)

第7条 子育て会議の庶務は、北秋田市健康福祉部福祉課において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、子育て会議の運営に関し必要な事項は、委員長が子育て会議に諮って定める。

附則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成26年7月1日から施行する。
 - (北秋田市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)
- 2 北秋田市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(平成 17 年北秋田市条例第33号)の一部を次のように改正する。

別表民生児童委員推せん委員会委員の項の次に次のように加える。

子ども・子育て会議委員	日額	6,500円
-------------	----	--------

北 秋 田 市

子育でに関するニーズ調査報告書

平成 31 年 3 月 北秋田市

目次

1.調査	概要	1
1-1.	. 調査の目的	1
1 - 2	. 調査の対象と方法	1
1-3.	. 配布回収状況	1
1-4.	. 備考	1
2. 就業	前児童保護者アンケート	2
2-1	. 子どもと家族の状況	2
2-2	. 子どもの育ちをめぐる環境	5
2-3.	. 保護者の就労状況	10
2-4.	. 平日の定期的な教育・保育施設等の利用	21
2-5.	. 地域の子育て支援事業の利用	30
2-6	. 不定期に利用する事業	43
2-7.	. 病気の際の対応(教育・保育施設利用者)	46
2-8	. 就学後の放課後の過ごし方	53
2-9	. 仕事と子育ての両立支援制度	61
2-10	. 子育てに関すること	64
2-11.	. 北秋田市の子育て環境	66
3. 小学	生保護者アンケート	71
3-1.	. 小学生と家族の状況	71
3-2.	. 子どもの育ちをめぐる環境	74
	. 保護者様の就労状況	
3-4.	. 地域の子育て支援事業の利用状況	90
3-5.	. 不定期に利用する事業	96
3-6.	. 病気の際の対応	99
	. 放課後の過ごし方	
3-8.	. 仕事と子育ての両立支援制度	112
3-9.	. 子育てに関すること	115
3-10.	. 北秋田市の子育て環境	117
4. 出産	前世帯アンケート	122
4-1.	. 出産予定の子どもと家族の状況	122
4-2.	. 保護者様の就労状況	125
4-3.	. 仕事と子育ての両立	128
4-4.	. 子育てに関すること	137
4-5.	. 北秋田市の子育て環境	140

1. 調查概要

1-1. 調査の目的

本調査は、子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)に基づく子ども・子育て支援制度の下で「北秋田市第2期子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたって、子育ての状況や要望・意見を把握し、子育て支援施策を検討するための基礎調査として、小学6年生以下の乳幼児・児童の保護者を対象に実施した。

1-2. 調査の対象と方法

①調查対象

調査対象者	就学前児童保護者 (含む保育所・幼稚園通所者保護者)、小学1 年生~6年生の保護者、出産前のご家庭(母子手帳交付世帯)
調査方法	就学前児童世帯は郵送、または、保育所・幼稚園通所者は保育所・幼稚園で配布・回収 小学児童世帯は学校で配布・回収 母子手帳交付世帯は郵送にて配布・回収

②調査期間

平成 31 年 2 月 15 日 (金) ~ 2 月 25 日 (月)

1-3. 配布回収状況

	就学前児童世帯	小学児童世帯	母子手帳交付世帯
配布数(件)	1,800	1,000	100
回収数(件)	617	798	32
回収率(%)	34. 3	79.8	32.0

1-4. 備考

- ① 集計結果の合計値は、四捨五入により100%とならないことがある。
- ② 調査票の回答選択肢が長いものについては、グラフの項目表記では省略している場合がある。

(例:調査票選択肢:「日常的に、祖父母等の親族に預かってもらえる」 →グラフの項目表記:「日常的に祖父母等に預かってもらえる」)

2. 就業前児童保護者アンケート

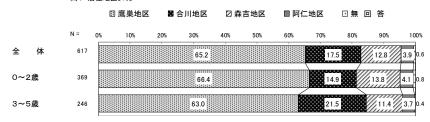
2-1. 子どもと家族の状況

問1 お住まいの地区を教えてください。

「鷹巣地区」が 65.2%と高く、「合川地区」が 17.5%、「森吉地区」が 12.8%、「阿仁地区」が 3.9%である。

年齢別では、「合川地区」は $0\sim2$ 歳のいる世帯で14.9%とやや低く、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で21.5%とやや高い。

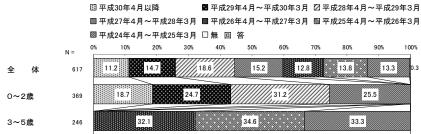
問1 居住地区[%]



問2 お子さんの年齢を教えてください。

「平成28年4月~平成29年3月」が18.6%と高く、「平成27年4月~平成28年3月」が15.2%、「平成29年4月~平成30年3月」が14.7%、「平成25年4月~平成26年3月」が13.8%、「平成24年4月~平成25年3月」が13.3%、「平成26年4月~平成27年3月」が12.8%、「平成30年4月以降」が11.2%で続いている。

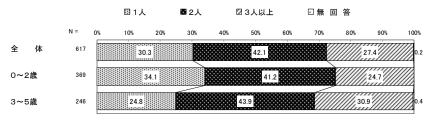
問2 お子さんの生年月日[%]



問3 世帯のお子さんは全部で何人ですか。

「2人」が 42.1%と高く、「1人」が 30.3%、「3人以上」が 27.4%である。 年齢別では、 $0\sim2$ 歳のいる世帯で「1人」が 34.1%とやや高く、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で「3人以上」が 30.9%とやや高い。

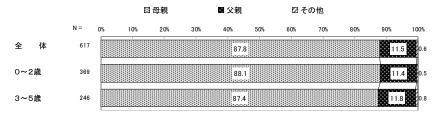
問3 世帯の子どもの数[%]



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

「母親」が87.8%と大半を占め、「父親」は11.5%である。

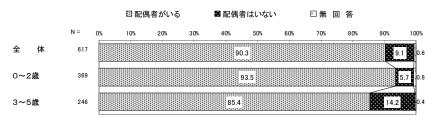
問4 回答者[%]



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

「配偶者がいる」が 90.3%と大半を占め、「配偶者はいない」が 9.1%である。 年齢別では、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で「配偶者がいる」が 85.4%とやや低い。

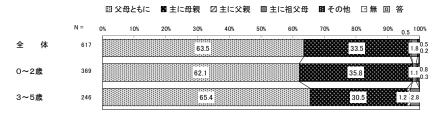
問5 配偶関係[%]



問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係を教えて ください。

「父母ともに」が63.5%と高く、「主に母親」が33.5%で続いている。

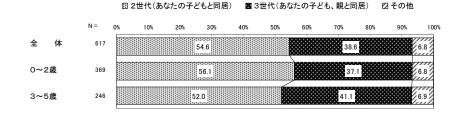
問6 子育てを主に行っている方[%]



問7 現在の家族構成についてお答えください。

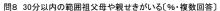
「2世代(あなたの子どもと同居)」が 54.6%と高く、「3世代(あなたの子ども、親と同居)」が 38.6%である。

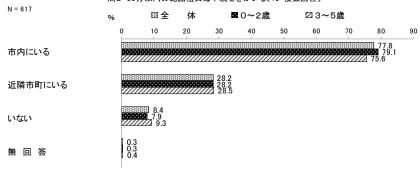
問7 家族構成[%]



問8 概ね30分以内で行き来できる範囲に、祖父母や親せき、保護者の兄弟姉妹などがいますか。

「市内にいる」が 77.8%と高く、「近隣市町にいる」が 28.2%、「いない」が 8.4%で続いている。



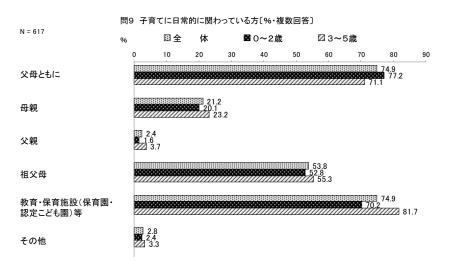


2-2. 子どもの育ちをめぐる環境

問9 お子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。

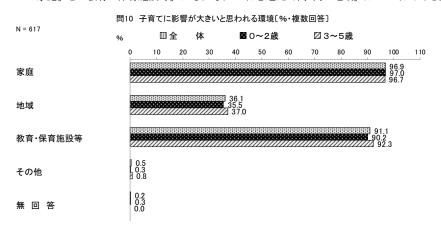
「父母ともに」と「教育・保育施設(保育園・認定こども園)等」がともに 74.9%と高く、「祖父母」が 53.8%、「母親」が 21.2%で続いている。

年齢別では、 $0\sim2$ 歳のいる世帯で「父母ともに」が 77.2%とやや高く、 $3\sim5$ 歳のいる 世帯で「教育・保育施設(保育園・認定こども園)等」が 81.7%と高い。



問 10 お子さんの子育てに、影響が大きいと思われる環境をお答えください。

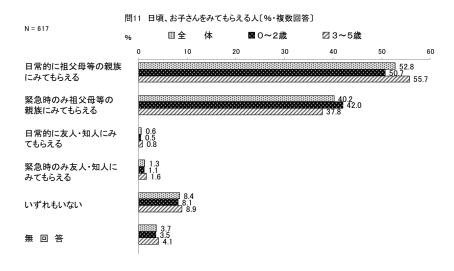
「家庭」と「教育・保育施設等」がそれぞれ90%を超えて高く、「地域」は36.1%である。



問 11 教育・保育施設等の利用の有無に関わらず、日頃、お子さんをみてもらえる親族や友 人・知人はいますか。

「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が52.8%と高く、「緊急時のみ祖父母等の親族にみてもらえる」が40.2%、「いずれもいない」が8.4%で続いている。

年齢別では、 $0\sim2$ 歳のいる世帯で「緊急時のみ祖父母等の親族にみてもらえる」が 42.0% とやや高く、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 55.7% と やや高い。



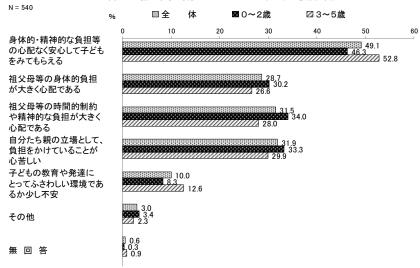
問 11 で「1.」「2.」や「3.」「4.」にOをつけた方

問 11-1 祖父母等の親族や友人・知人にみてもらっている状況についてお答えください。

祖父母等の親族にみてもらっている状況としては、「身体的・精神的な負担等の心配なく安心して子どもをみてもらえる」が49.1%と高く、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」、「祖父母等の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」と「祖父母等の身体的負担が大きく心配である」がそれぞれ30%前後と同程度で、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか少し不安」が10.0%で続いている。

年齢別では、3~5歳のいる世帯で「身体的・精神的な負担等の心配なく安心して子どもをみてもらえる」が52.8%、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか少し不安」が12.6%とやや高い。

問11-1祖父母等の親族にみてもらっている状況[%・複数回答]



友人・知人にみてもらっている状況としては、「身体的・精神的な負担等の心配なく安心して子どもをみてもらえる」と「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」がともに 58.3%と高く、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 25.0%、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」が 16.7%で続いている。

年齢別では、 $0\sim2$ 歳のいる世帯で「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 66.7%、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」と「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」がともに 33.3%と高く、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で「身体的・精神的な負担等の心配なく安心して子どもをみてもらえる」が 66.7%と高い。

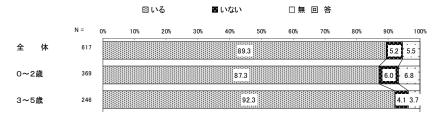
問11-1 友人・知人にみてもらっている状況[%・複数回答]

N = 12 ⊞全 ■ 0~2歳 図3~5歳 10 20 30 40 50 60 70 80 身体的・精神的な負担等 58.3 の心配なく安心して子ども をみてもらえる 友人・知人の身体的負担 33.3 が大きく心配である 友人・知人の時間的制約 や精神的な負担が大きく 心配である 自分たち親の立場として、 負担をかけていることが 心苦しい 子どもの教育や発達に とってふさわしい環境であ るか、少し不安 その他

問 12 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人または場所はありますか。

「いる」が89.3%と高く、「いない」が5.2%である。

問12 子育てをする上で、気軽に相談できる人の有無[%]

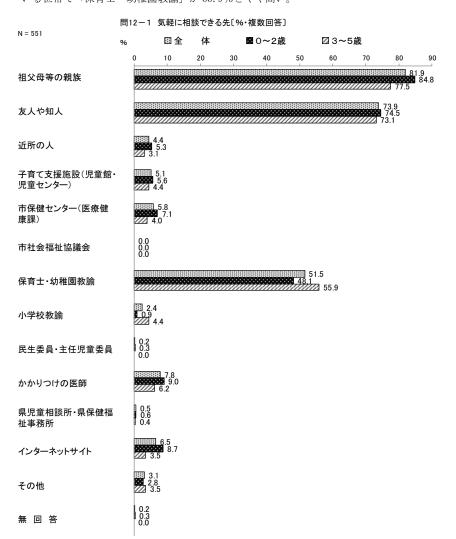


問 12 で「1.」に〇をつけた方

問 12-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。

「祖父母等の親族」が81.9%、「友人や知人」が73.9%と高く、「保育士・幼稚園教諭」が51.5%で続いている。

年齢別では、 $0\sim2$ 歳のいる世帯で「祖父母等の親族」が 84.8%とやや高く、 $3\sim5$ 歳の いる世帯で「保育士・幼稚園教諭」が 55.9%とやや高い。



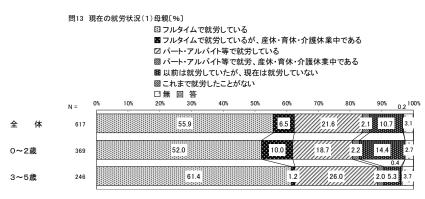
2-3. 保護者の就労状況

問 13 保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。

【母親】

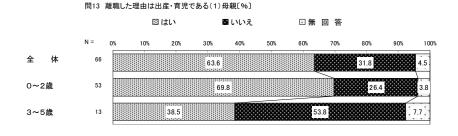
「フルタイムで就労している」が 55.9%と高く、「パート・アルバイト等で就労している」 が 21.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 10.7%で続いている。

年齢別では、 $0\sim2$ 歳のいる世帯で「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 10.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 14.4%とやや高く、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で「フルタイムで就労している」が 61.4%とやや高い。



離職した理由は出産・育児であるかどうかの設問に対し、「はい」が 63.6%、「いいえ」が 31.8%である。

年齢別では、3~5歳のいる世帯で「いいえ」が53.8%と高い。



【父親】

「フルタイムで就労している」が87.4%と大半を占める。

年齢別では、3~5歳のいる世帯で「フルタイムで就労している」が82.9%とやや低い。

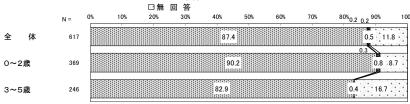
問13 現在の就労状況(2)父親[%]

国フルタイムで就労している 図フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である 図パート・アルバイト等で就労している

図パート・アルバイト等で就労している 図パート・アルバイト等で就労、産休・育休・介護休業中である

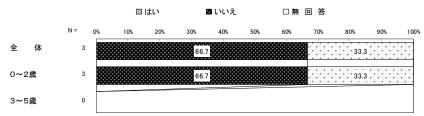
■ 以前は就労していたが、現在は就労していない

■これまで就労したことがない



離職した理由の回答者は3名で、2名が「いいえ」、1名が無回答である。

問13 離職した理由は出産・育児である(2)父親[%]



【その他】

回答数は少ないが、「フルタイムで就労している」が1.6%である。

問13 現在の就労状況(3)その他[%]

⊞ フルタイムで就労している

■フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である

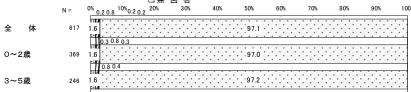
☑ パート・アルバイト等で就労している

図パート・アルバイト等で就労、産休・育休・介護休業中である

■ 以前は就労していたが、現在は就労していない

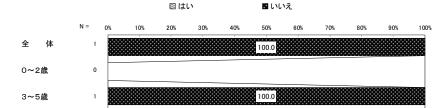
図 これまで就労したことがない

□無 回 答



離職した理由の回答者は1名で、「いいえ」と回答している。

問13 離職した理由は出産・育児である(3)その他[%]



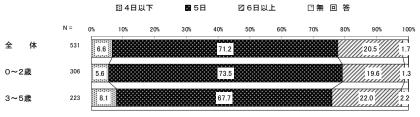
問 13 で「1、~4、」 (就労している) に〇をつけた方

問 13-1 保護者それぞれについて、1週当たりの「就労日数」及び1日当たりの「就労時間 (残業時間を含む)」、「通勤時間」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」について、それ ぞれお答えください。

【母親】

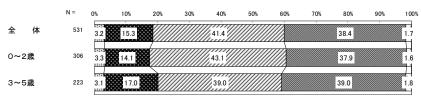
就労日数は「5日」が71.2%と高く、「6日以上」が20.5%、「4日以下」が6.6%である。 就労時間は「6時間以上8時間未満」が41.4%、「8時間以上」が38.4%と6時間以上が高く、「4時間以上6時間未満」が15.3%、「4時間未満」が3.2%である。

問13-1 就労日数(1)母親[%]



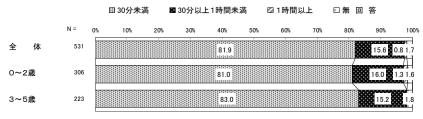
問13-1 就労時間(1)母親[%]

図 4時間未満 ■ 4時間以上6時間未満 図 6時間以上8時間未満 図 8時間以上 □無 回 答



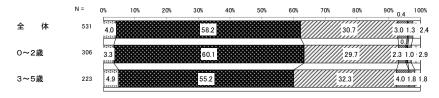
通勤時間は「30 分未満」が81.9% と高く、「30 分以上 1 時間未満」が15.6% である。家を出る時刻は「7 時台」が58.2% と高く、「8 時台」が30.7% で続いている。帰宅時刻は「17 時台」と「18 時~20 時前」がそれぞれ35%を超えて高く、「16 時より前」と「16 時台」はそれぞれ10%前後である。

問13-1 通勤時間(1)母親[%]



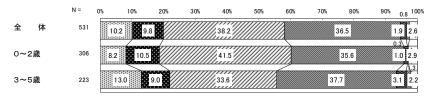
問13-1 家を出る時刻(1)母親[%]

図7時より前 ■7時台 図8時台 図9時台 ■10時以降(午前中) 図午後 □無 回 答



問13-1 帰宅時刻(1)母親[%]

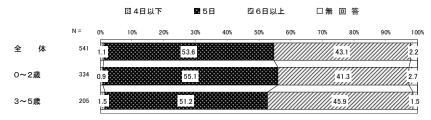
園 16時より前 ■ 16時台 図 17時台 図 18時~20時前 ■ 20時~22時前 図 22時以降 🛛 無 回 答



【父親】

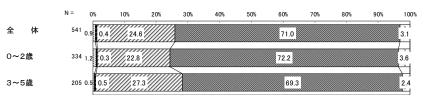
就労日数は「5日」が53.6%と高く、「6日以上」が43.1%で、5日以上が96.7%を占める。就労時間は「8時間以上」が71.0%と高く、「6時間以上8時間未満」が24.6%で、6時間以上が95.6%を占める。

問13-1 就労日数(2)父親[%]



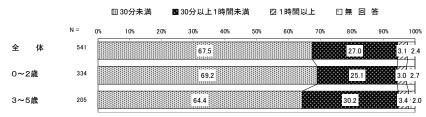
問13-1 就労時間(2)父親[%]

図 4時間未満 ■ 4時間以上6時間未満 図 6時間以上8時間未満 図 8時間以上 □無 回 答

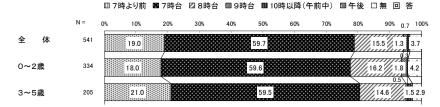


通勤時間は「30 分未満」が 67.5% と高く、「30 分以上 1 時間未満」が 27.0% である。家を出る時刻は「7 時台」が 59.7% と高く、「7 時より前」が 19.0%、「8 時台」が 15.5% で続いている。帰宅時刻は「18 時~20 時前」が 54.2% と高く、「17 時台」は 22.2%、「20 時~22 時前」が 12.2% で続いている。

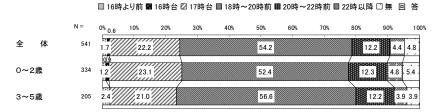
問13-1 通勤時間(2)父親[%]



問13-1 家を出る時刻(2)父親[%]



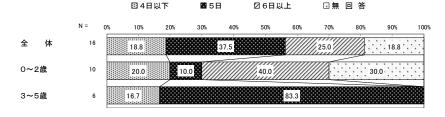
問13-1 帰宅時刻(2)父親[%]



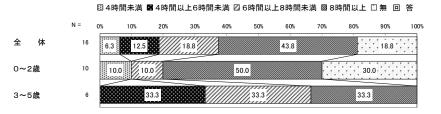
【その他】

就労日数は「5日」が37.5%と高く、「6日以上」が25.0%、「4日以下」が18.8%で続いている。就労時間は、「8時間以上」が43.8%と高く、「6時間以上8時間未満」が18.8%、「4時間以上6時間未満」が12.5%で続いている。

問13-1 就労日数(3)その他[%]

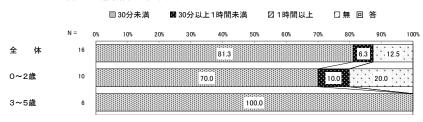


問13-1 就労時間(3)その他[%]

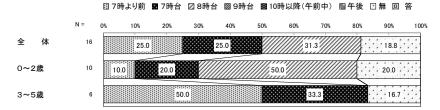


通勤時間は「30 分未満」が 81.3%と高く、「30 分以上 1 時間未満」が 6.3%で、 1 時間未満 が 87.6%を占めている。家を出る時刻は「8 時台」が 31.3%と高く、「7 時より前」と「7 時台」がともに 25.0%で続いている。帰宅時刻は「18 時~20 時前」が 31.3%と高く、「17 時台」と「16 時より前」がともに 25.0%で続いている。

問13-1 通勤時間(3)その他[%]

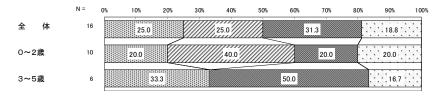


問13-1 家を出る時刻(3)その他[%]



問13-1 帰宅時刻(3)その他[%]

図 16時より前 ■ 16時台 図 17時台 図 18時~20時前 ■ 20時~22時前 図 22時以降 □無 回 答



問 13 で「3、」「4、」 (保護者がパート・アルバイト等で就労している) に〇をつけた方

問 14 フルタイム勤務の希望はありますか。

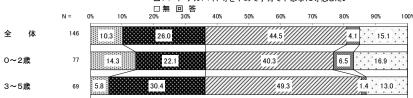
【母親】

「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が 44.5% と高く、「フルタイム勤務の希望はあるが、そうなる見込みはない」が 26.0%、「フルタイム勤務の希望があり、そうなる見込みがある」が 10.3% で続いている。

年齢別では、 $0\sim2$ 歳のいる世帯で「フルタイム勤務の希望があり、そうなる見込みがある」が 14.3%とやや高く、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で「フルタイム勤務の希望はあるが、そうなる見込みはない」が 30.4%とやや高い。

問14 フルタイムへの転換希望(1)母親[%]

□ フルタイム勤務の希望があり、そうなる見込みがある■ フルタイム勤務の希望はあるが、そうなる見込みはない□ パート・アルバイト等の就労を続けたい□ パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい



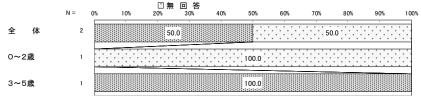
【父親】

回答者は2名で、1名が「フルタイム勤務の希望があり、そうなる見込みがある」、1名が無回答である。

問14 フルタイムへの転換希望(2)父親[%]

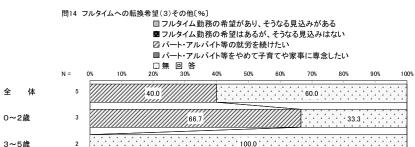
図フルタイム勤務の希望があり、そうなる見込みがある ■フルタイム勤務の希望はあるが、そうなる見込みはない □パート・アルバイト等の就労を続けたい

図 パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい



【その他】

回答者は5名で、2名が「パート・アルバイト等の就労を続けたい」、3名が無回答である。



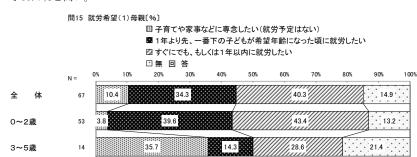
問 13 で「5.」または「6.」に〇をつけた方

問 15 就労したいという希望はありますか。

【母親】

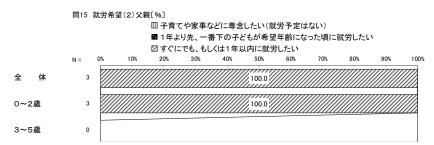
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が40.3%と高く、「1年より先、一番下の子どもが希望年齢になった頃に就労したい」が34.3%、「子育てや家事などに専念したい(就労予定はない)」が10.4%で続いている。

年齢別では、「子育てや家事などに専念したい (就労予定はない)」は、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で 35.7%と高い。



【父親】

回答者は3名で、全員が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答している。



【その他】

回答者はいない。

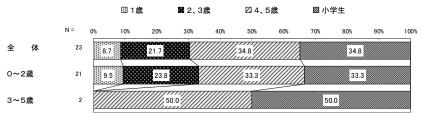
問 15で「2.」に〇をつけた方

問 15-1 お子さんが何歳になったら就労したいですか。

【母親】

「4、5歳」と「小学生」がともに34.8%と高い。

問15-1 就労希望時期の子ども年齢(1)母親[%]



【父親】

回答者はいない。

【その他】

回答者はいない。

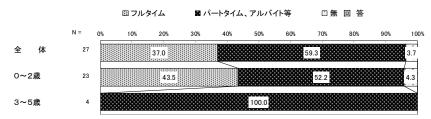
問 15で「3.」に〇をつけた方

問 15-2 希望する就労形態は何ですか。

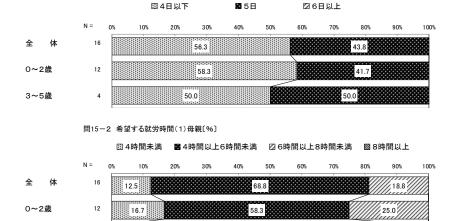
【母親】

希望する就労形態は「パートタイム、アルバイト等」が 59.3%と高く、「フルタイム」が 37.0%である。希望就労日数は「4日以下」が56.3%と高く、「5日」が43.8%である。希望 就労時間は「4時間以上6時間未満」が68.8%と高く、「6時間以上8時間未満」が18.8%、 「4時間未満」が12.5%で続いている。

問15-2 希望する就労形態(1)母親[%]



問15-2 希望する就労日数(1)母親[%]



100.0

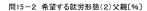
【父親】

0~2歳

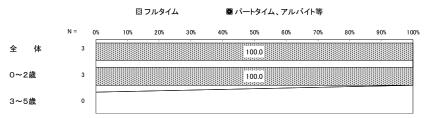
3~5歳

12

回答者は3名で、全員が「フルタイム」と回答している。



16.7



【その他】

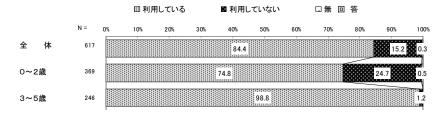
回答者はいない。

2-4. 平日の定期的な教育・保育施設等の利用

問 16 お子さんは現在、定期的に教育・保育施設等を利用されていますか。

「利用している」が84.4%と高く、「利用していない」が15.2%である。 年齢別では、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で「利用している」が98.8%と大半を占める。

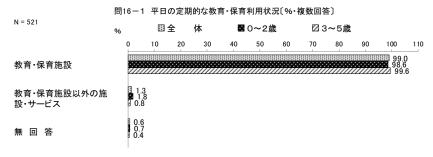
問16 定期的な教育・保育施設等の利用有無[%]



問 16 で「1. 利用している」に〇をつけた方

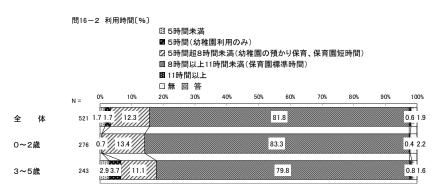
問 16-1 お子さんは、平日どのような施設・サービスを利用していますか。

「教育・保育施設」が99.0%と大半を占めている。



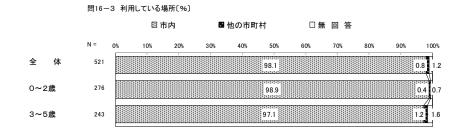
問 16-2 平日に定期的に利用している施設・サービスを、現在どのくらい利用していますか。

「8時間以上11時間未満(保育園標準時間)」が81.8%と高く、「5時間超8時間未満(幼稚園の預かり保育、保育園短時間)」が12.3%で続いている。



問 16-3 現在、利用している教育・保育施設(保育園・認定こども園)等の場所についてお答えください。

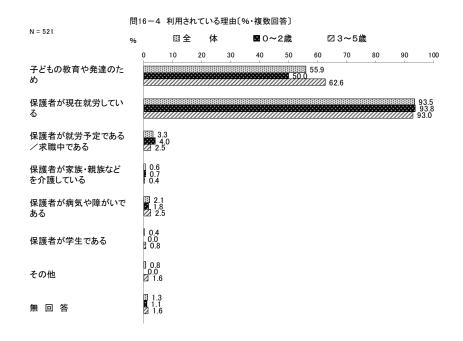
「市内」が98.1%と大半を占めている。



問 16-4 教育・保育施設等を利用されている主な理由を教えてください。

「保護者が現在就労している」が 93.5%と高く、「子どもの教育や発達のため」が 55.9%で 続いている。

年齢別では、3~5歳のいる世帯で「子どもの教育や発達のため」が62.6%とやや高い。

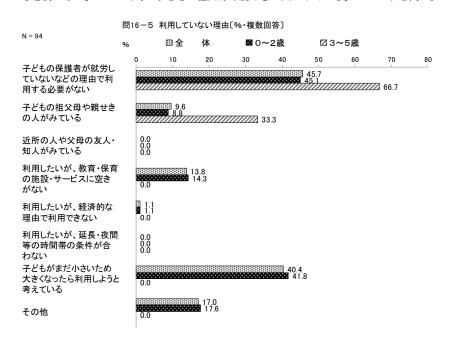


問 16 で「2. 利用していない」に〇をつけた方

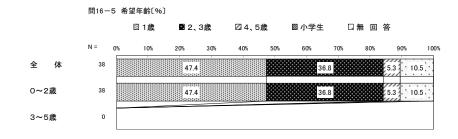
問 16-5 利用していない理由は何ですか。

「子どもの保護者が就労していないなどの理由で利用する必要がない」が 45.7%と高く、「子どもがまだ小さいため大きくなったら利用しようと考えている」が 40.4%、「利用したいが、教育・保育の施設・サービスに空きがない」が 13.8%で続いている。

年齢別では、3~5歳のいる世帯で「子どもの保護者が就労していないなどの理由で利用する必要がない」が66.7%、「子どもの祖父母や親せきの人がみている」が33.3%と高い。

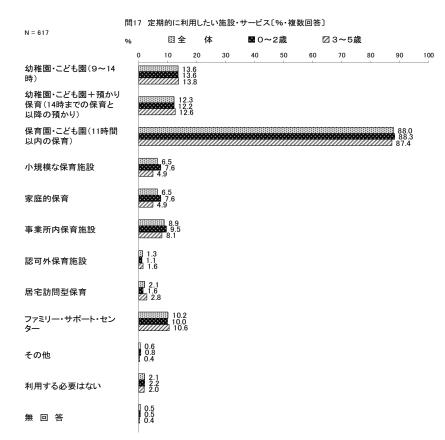


子どもがまだ小さいため大きくなったら利用しようと考えていると回答した人の子どもの 希望年齢は、「1歳」が 47.4%と高く、「2、3歳」が 36.8%で続いている。



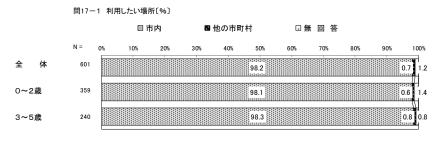
問 17 現在、利用している、利用していないに関わらず、お子さんについて、教育・保育施設 等、平日「定期的に」利用したい施設・サービスをお答えください。

「保育園・こども園(11 時間以内の保育)」が 88.0%と高く、「幼稚園・こども園 (9~14 時)と「幼稚園・こども園+預かり保育 (14 時までの保育と以降の預かり)」がそれぞれ 13% 前後、「ファミリー・サポート・センター」が 10.2%で続いている。



問 17-1 問 17 のサービスを利用したい場所についてお答えください。

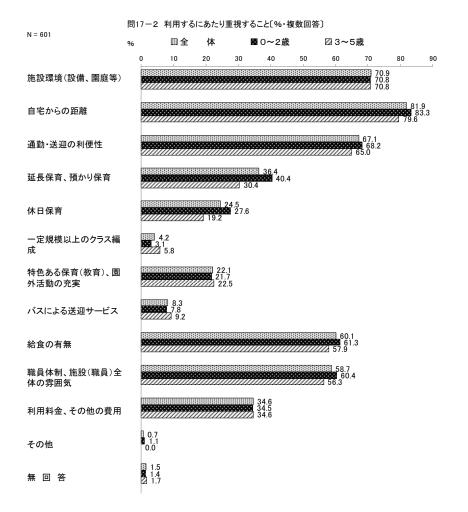
「市内」が98.2%と大半を占めている。



問 17-2 施設・サービスを利用するにあたり、重視することは何ですか。

「自宅からの距離」が 81.9%と高く、「施設環境(設備、園庭等)」が 70.9%、「通勤・送迎の利便性」が 67.1%、「給食の有無」が 60.1%、「職員体制、施設(職員)全体の雰囲気」が 58.7%、「延長保育、預かり保育」が 36.4%、「休日保育」が 24.5%、「特色ある保育(教育)、園外活動の充実が 22.1%で続いている。

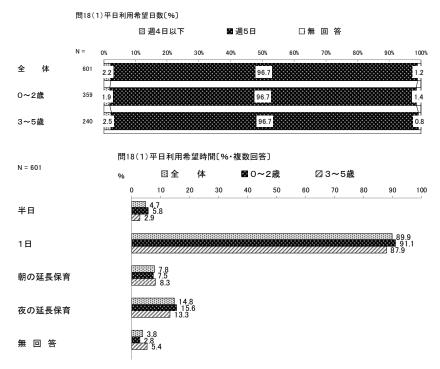
年齢別では、 $0\sim2$ 歳のいる世帯で「延長保育、預かり保育」が 40.4%、「休日保育」が 27.6% とやや高い。



問 18 お子さんについて、定期的に利用したい教育・保育施設等・サービス(一時的な利用は除きます)について、希望日数、希望時間についてお答えください。

【平日】

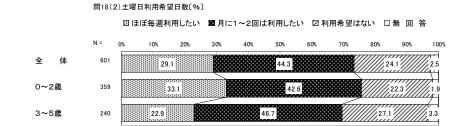
利用希望日数は「週5日」が96.7%と高い。利用希望時間は「1日」が89.9%と高く、「夜の延長保育」が14.8%で続いている。



【十曜日】

「月に $1\sim2$ 回は利用したい」が44.3%と高く、「ほぼ毎週利用したい」が29.1%、「利用希望はない」が24.1%で続いている。利用希望時間は「1日」が86.8%と高く、「半日」が11.1%で続いている。

年齢別では、 $0\sim2$ 歳のいる世帯で利用希望(「ほぼ毎週利用したい」と「月に $1\sim2$ 回は利用したい」の合計)が 75.7%とやや高い。



問18(2)土曜日利用希望時間(%・複数回答) ※ 図全 体 図 O~2歳 図 3~5歳 ○ 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 半日 1日 第5.0 朝の延長保育 7.3 66.6 7.8 無 回 答

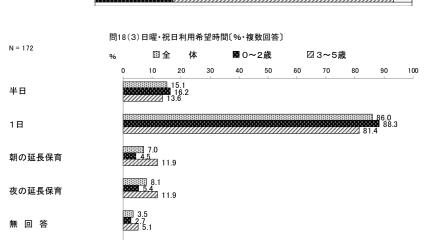
【日曜・祝日】

「利用希望はない」が 66.9% と高く、「月に $1 \sim 2$ 回は利用したい」が 25.8% である。利用 希望時間は「1 日」が 86.0% と高く、「半日」が 15.1% で続いている。

年齢別では、利用希望時間は、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で「朝の延長保育」と「夜の延長保育」がともに 11.9% とやや高い。

□ ほぼ毎週利用したい ■ 月に1~2回は利用したい □ 利用希望はない □無 □ 答 N = 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100 全 体 601 2.8 25.8 25.8 25.8 3.6 6.9 65.5 3.6 6.9 3.6 6.9 3.6 6.9 3.6 6.9 3.6 6.9 3.6 6.9 3.6 5.8 3~5歳 240 0.4 24.2 69.6 5.8 5.8

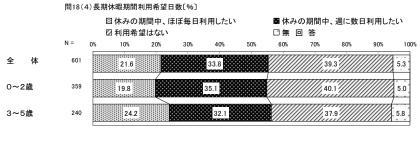
問18(3)日曜・祝日利用希望日数[%]

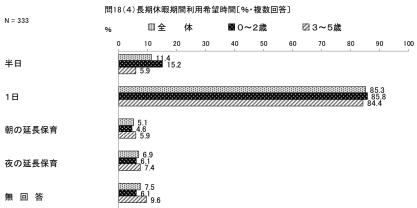


【長期休暇期間】

「利用希望はない」が 39.3% と高く、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 33.8%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 21.6% で続いている。利用希望時間は「1日」が 85.3% と高く、「半日」が 11.4% である。

年齢別では、利用希望時間は、 $0 \sim 2$ 歳のいる世帯で「半日」が 15.2% とやや高い。



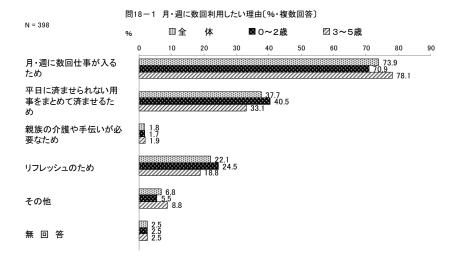


問 18 の(2)~(4)で、「2.」に〇をつけた方

問 18-1 毎週ではなく、月・週に数回利用したい理由は何ですか。

「月・週に数回仕事が入るため」が 73.9%と高く、「平日に済ませられない用事をまとめて 済ませるため」が 37.7%、「リフレッシュのため」が 22.1%で続いている。

年齢別では、 $0 \sim 2$ 歳のいる世帯で「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 40.5%、「リフレッシュのため」が 24.5%とやや高く、 $3 \sim 5$ 歳のいる世帯で「月・週に数回仕事が入るため」が 78.1%とやや高い。

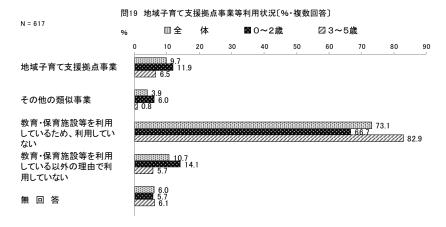


2-5. 地域の子育て支援事業の利用

問 19 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業等を利用していますか。また、おおよその 利用回数をお答えください。

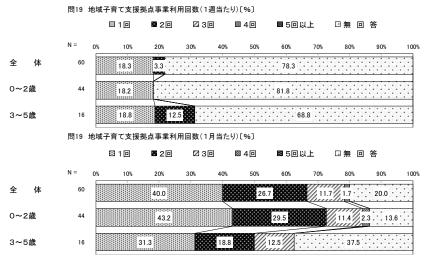
「教育・保育施設等を利用しているため、利用していない」が73.1%と高く、「教育・保育施設等を利用している以外の理由で利用していない」が10.7%で続いている。

年齢別では、3~5歳のいる世帯で「教育・保育施設等を利用しているため、利用していない」が82.9%とやや高い。



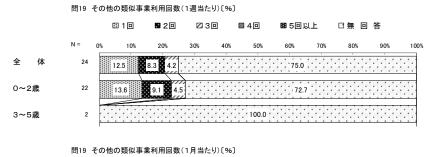
地域子育で支援拠点事業の1週当たり利用回数は「1回」が18.3%と高く、「2回」が3.3%で続き、3回以上の回答はない。1月当たりの利用回数は「1回」が40.0%、「2回」が26.7%、「3回」が11.7%で続いている。

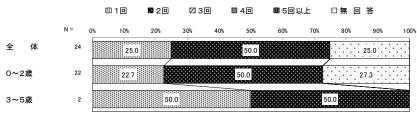
年齢別では、1週当たりの利用回数は、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で「2回」の回答が 12.5%と 高い。1月当たりの利用回数は、 $0\sim2$ 歳のいる世帯で利用回数(「1回」から「5回以上」の合計)が $3\sim5$ 歳のいる世帯と比べると高い。



29

その他の類似事業の1週当たりの利用回数は「1回」が12.5%と高い。1月当たりの利用回数は「2回」が50.0%と高く、「1回」が25.0%である。

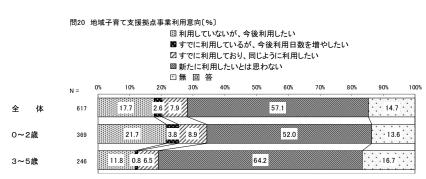




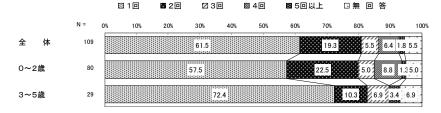
問 20 問 19 の「1. 地域子育て支援拠点事業」の利用について、おおよその利用回数をお答えください。

「新たに利用したいとは思わない」が 57.1%と高く、「利用していないが、今後利用したい」が 17.7%である。利用希望回数は「1回」が 61.5%と高く、「2回」が 19.3%である。

年齢別では、 $0\sim2$ 歳のいる世帯で「利用していないが、今後利用したい」が 21.7%と高く、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で「新たに利用したいとは思わない」が 64.2%と高い。利用希望回数は、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で「1回」が 72.4%と高い。



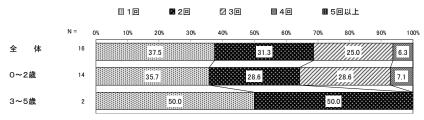




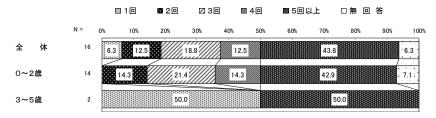
今後増やしたい方の現在の利用回数は、「1回」が 37.5%、「2回」が 31.3%、「3回」が 25.0%で、今後増やしたい回数は、「5回以上」が 43.8%と高く、「3回」が 18.8%、「2回」 と「4回」がともに 12.5%で続いている。

同じように利用したい方の現在の利用回数は、「1回」と「2回」がともに34.7%と高い。

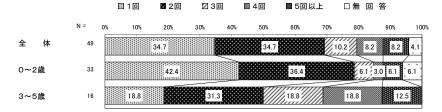
問20 今後増やしたい(現在の回数)[%]



問20 今後増やしたい回数[%]



問20 同じように利用したい回数[%]



問 21 次の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したい と思うものをお答えください。

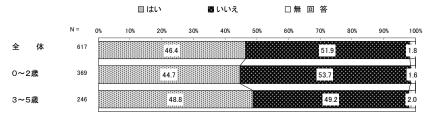
①子育て情報誌・健康ガイド

認知度は 46.4%、利用率は 11.2%、利用日数は「 $1\sim2$ 日」が 37.7%と高く、平均利用日数は 4.6日である。

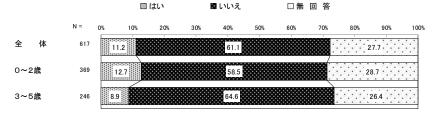
利用希望率は 23.0%で、利用希望日数は「 $1\sim2$ 日」が 26.8% と高く、平均利用希望日数 は 6.2 日である。

年齢別では、0~2歳のいる世帯で利用率が12.7%、利用希望率が28.7%と高い。

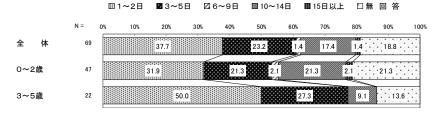
問21 認知①子育で情報誌・健康ガイド[%]



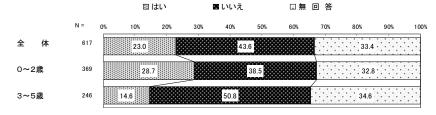
問21 利用①子育で情報誌・健康ガイド[%]



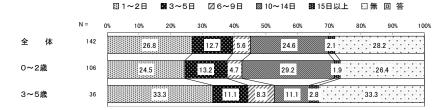
問21 利用日数①子育て情報誌・健康ガイド〔%〕



問21 今後の利用希望①子育で情報誌・健康ガイド[%]



問21 今後の利用希望日数①子育て情報誌・健康ガイド[%]



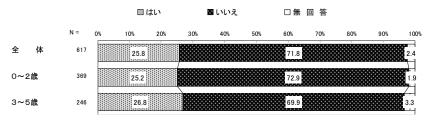
②親と子のわくわく広場

認知度は 25.8%、利用率は 4.7%、利用日数は「 $1\sim2$ 日」が 31.0%と高く、平均利用日数は 6.7 日である。

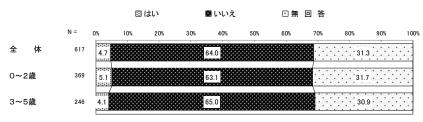
利用希望率は 19.0%で、利用希望日数は「 $1\sim2$ 日」が 29.9%と高く、平均利用希望日数は 6.0日である。

年齢別では、0~2歳のいる世帯で利用希望率が24.4%と高い。

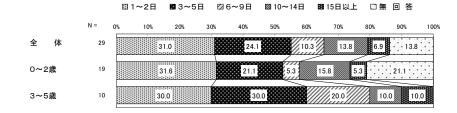
問21 認知②親と子のわくわく広場[%]



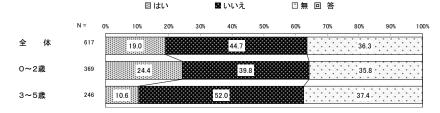
問21 利用②親と子のわくわく広場[%]



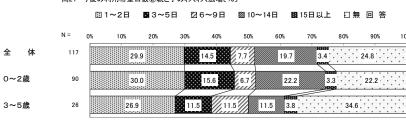
問21 利用日数②親と子のわくわく広場[%]



問21 今後の利用希望②親と子のわくわく広場[%]



問21 今後の利用希望日数②親と子のわくわく広場[%]



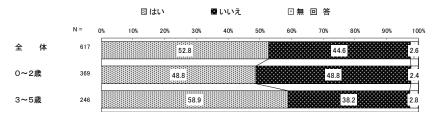
③おはなしでてこい

認知度は52.8%、利用率は9.1%、利用日数は「 $1\sim2$ 日」が57.1%と高く、平均利用日数は3.5日である。

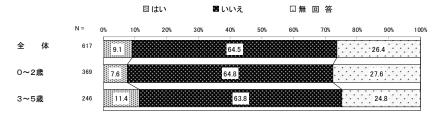
利用希望率は 26.4%で、利用希望日数は「 $1\sim2$ 日」が 30.1%と高く、平均利用希望日数 は 5.0 日である。

年齢別では、 $0\sim2$ 歳のいる世帯で利用希望率が 32.5%、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で利用率が 11.4%と高くなっている。

問21 認知③おはなしでてこい[%]



問21 利用③おはなしでてこい[%]



問21 利用日数③おはなしでてこい[%]

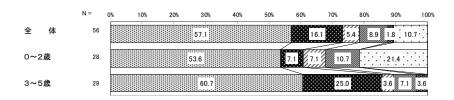
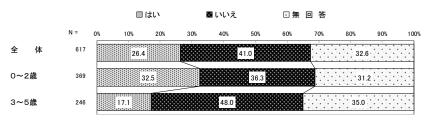
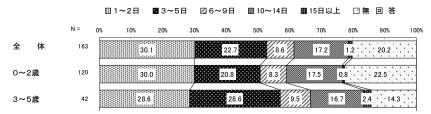


图 1~2日 ■ 3~5日 図 6~9日 図 10~14日 ■ 15日以上 □無 回答

問21 今後の利用希望③おはなしでてこい[%]



問21 今後の利用希望日数③おはなしでてこい[%]



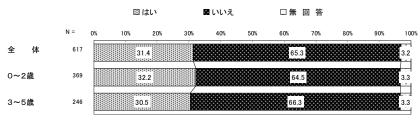
④子育て講座

認知度は 31.4%、利用率は 7.0%、利用日数は「 $1\sim2$ 日」が 44.2%と高く、平均利用日数は 4.4日である。

利用希望率は 18.8%で、利用希望日数は「 $1\sim2$ 日」が 35.3% と高く、平均利用希望日数 は 4.4 日である。

年齢別では、0~2歳のいる世帯で利用希望率が24.4%と高い。

問21 認知④子育で講座「%〕



問21 利用④子育て講座[%]

᠍ はい

 N = 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100

 全体 617 7.0
 63.0

 0~2歳 369 7.0
 62.1

 3~5歳 246 6.9
 64.2

■ いいえ

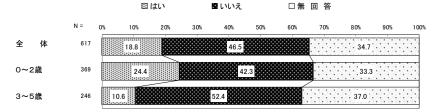
□無 回 答

問21 利用日数④子育て講座[%]

30% 70% 全 体 43 7.0 11.6 2.3 . 14.0 44.2 0~2歳 38.5 11.5 11.5 15.4 3~5歳 17 52.9 11.8 11.8

図1~2日 ■3~5日 図6~9日 図10~14日 ■15日以上 □無 回 答

問21 今後の利用希望④子育て講座[%]



問21 今後の利用希望日数④子育で講座[%]

図 1~2日 図 3~5日 図 6~9日 図 10~14日 図 15日以上 □無 回 答 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 全 体 116 35.3 11.2 1.7 . 25.9 0~2歳 90 12.2 1.1 36.7 3~5歳 26 30.8 23.1 7.7 7.7 3.8 26.9

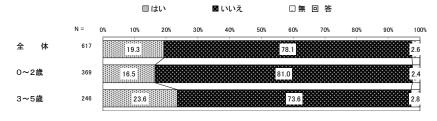
⑤スキップクラブ

認知度は19.3%、利用率は5.0%、利用日数は「10~14日」が29.0%と高く、平均利用日数は6.2日である。

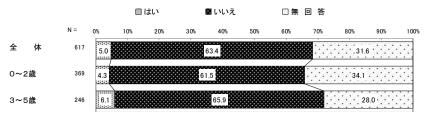
利用希望率は 8.3%で、利用希望日数は「 $1\sim2$ 日」が 19.6%と高く、平均利用希望日数は 6.0日である。

年齢別では、0~2歳のいる世帯で利用希望率が9.8%とやや高い。

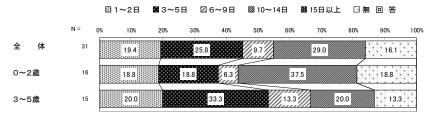
問21 認知⑤スキップクラブ〔%〕



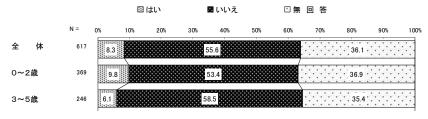
問21 利用⑤スキップクラブ[%]



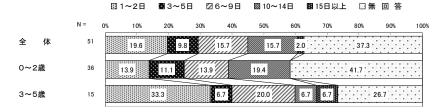
問21 利用日数⑤スキップクラブ[%]



問21 今後の利用希望⑤スキップクラブ[%]



問21 今後の利用希望日数⑤スキップクラブ[%]



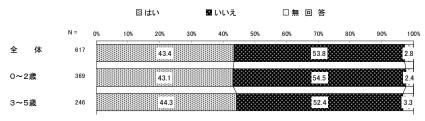
⑥育児サークルにじいろリボン

認知度は43.4%、利用率は11.5%、利用日数は「1~2日」が53.5%と高く、平均利用日数は3.0日である。

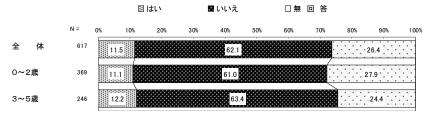
利用希望率は 11.8%で、利用希望日数は「 $1\sim2$ 日」が 26.0%と高く、平均利用希望日数は 5.6日である。

年齢別では、0~2歳のいる世帯で利用希望率が14.1%と高い。

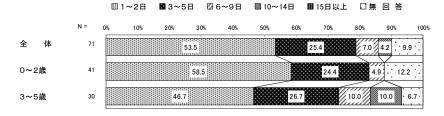
問21 認知⑥育児サークルにじいろリボン[%]



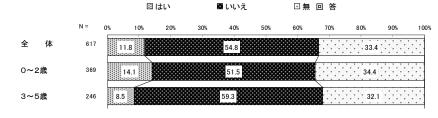
問21 利用⑥育児サークルにじいろリボン[%]



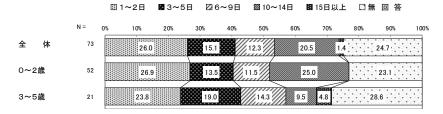
問21 利用日数⑥育児サークルにじいろリボン[%]



問21 今後の利用希望⑥育児サークルにじいろリボン[%]



問21 今後の利用希望日数⑥育児サークルにじいろリボン[%]



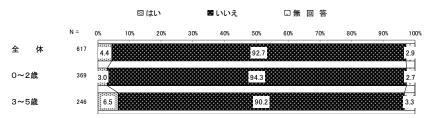
⑦思春期ふれあい体験学習

認知度は 4.4%、利用率は 0.2%、利用日数は、回答者が 1 名で、「 $1\sim2$ 日」と回答している。

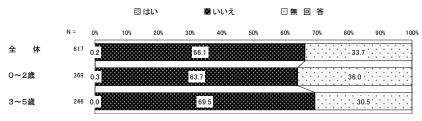
利用希望率は 10.7%で、利用希望日数は「 $1\sim2$ 日」が 40.9% と高く、平均利用希望日数は 3.8 日である。

年齢別では、0~2歳のいる世帯で利用希望率が11.7%とやや高い。

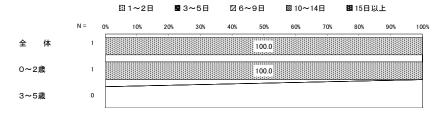
問21 認知⑦思春期ふれあい体験学習[%]



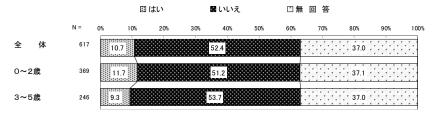
問21 利用⑦思春期ふれあい体験学習[%]



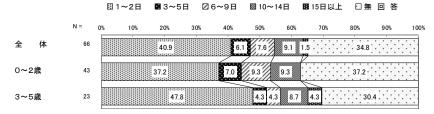
問21 利用日数⑦思春期ふれあい体験学習[%]



問21 今後の利用希望⑦思春期ふれあい体験学習[%]



問21 今後の利用希望日数⑦思春期ふれあい体験学習[%]



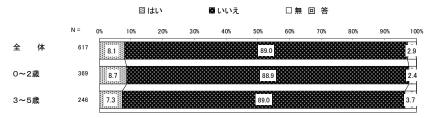
8保育所体験特別授業

認知度は8.1%、利用率は0.6%、利用日数は、回答者が4名で、1名が「 $1\sim2$ 日」、1名が「 $3\sim5$ 日」、1名が「 $6\sim9$ 日」、1名が無回答である。

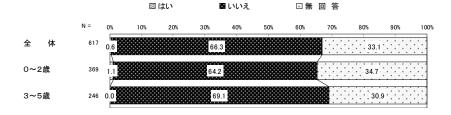
利用希望率は 7.1%で、利用希望日数は 「 $1\sim2$ 日」が 29.5% と高く、平均利用希望日数は 5.5日である。

年齢別では、0~2歳のいる世帯で利用希望率が9.5%とやや高い。

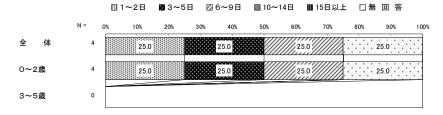
問21 認知⑧保育所体験特別授業[%]



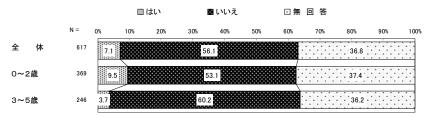
問21 利用⑧保育所体験特別授業[%]



問21 利用日数⑧保育所体験特別授業[%]



問21 今後の利用希望®保育所体験特別授業[%]



問21 今後の利用希望日数8保育所体験特別授業[%]

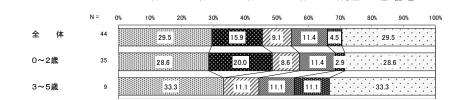


图 1~2日 ■ 3~5日 図 6~9日 図 10~14日 图 15日以上 □無 回 答

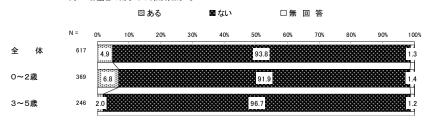
2-6. 不定期に利用する事業

問 22 お子さんについて、保護者の用事(私用、保護者の通院、就労など)の目的で不定期に利用した民間サービスはありますか。

「ない」が93.8%を占め、「ある」が4.9%である。

年齢別では、0~2歳のいる世帯で「ある」が6.8%とやや高い。

問22 保護者の用事での利用有無[%]

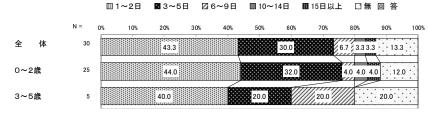


間22で「1. ある」に〇をつけた方

問 22-1 利用したサービスと、年間の利用日数をお答えください。

「 $1\sim2$ 日」が43.3%と高く、「 $3\sim5$ 日」が30.0%、平均利用日数は3.5日である。年齢別では、 $0\sim2$ 歳のいる世帯で「 $3\sim5$ 日」が32.0%とやや高く、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で「 $6\sim9$ 日」が20.0%と高い。

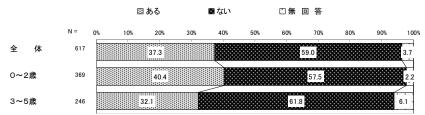
問22-1 利用日数[%]



問23 急にお子さんを預けなければならない時がありますか。

「ない」が 59.0% と高く、「ある」が 37.3% である。 年齢別では、 $0 \sim 2$ 歳のいる世帯で「ある」が 40.4% とやや高い。

問23 急にお子さんを預けなければならない時[%]

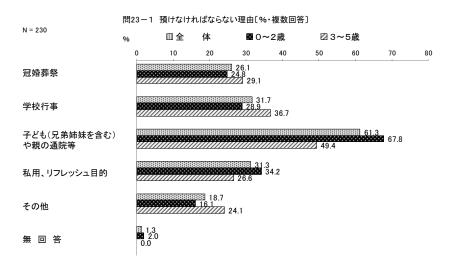


問23で「1. ある」に〇をつけた方

問 23-1 預けなければならない理由と、預けなければならない日数(年間)をお答えください。

「子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」が61.3%と高く、「学校行事」が31.7%、「私用、リフレッシュ目的」が31.3%で続いている。

年齢別では、 $0\sim2$ 歳のいる世帯で「子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」が67.8%と高く、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で「学校行事」が36.7%と高い。



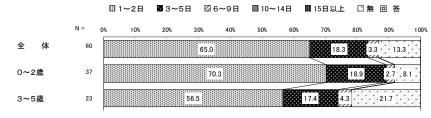
冠婚葬祭での利用日数は「 $1\sim2$ 日」が65.0%と高く、平均利用日数は2.1日である。学校行事での利用日数は「 $3\sim5$ 日」が46.6%と高く、平均利用日数は6.2日である。

子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等での利用日数は「 $10\sim14$ 日」が31.2%と高く、平均利用日数は8.6 日である。

私用、リフレッシュ目的での利用日数は「 $10\sim14$ 日」が 30.6% と高く、平均利用日数は 9.0 日である。

その他の利用日数は「3~5日」が30.2%と高く、平均利用日数は7.5日である。

問23-1 冠婚葬祭日数[%]



問23-1 学校行事日数[%]

 N = 0%
 10%
 20%
 30%
 40%
 50%
 60%
 70%
 80%
 90%
 100

 全体
 73
 21.9
 46.6
 2.7
 12.3
 4.1
 12.3

 0~2歳
 43
 11.6
 46.5
 2.3
 14.0
 7.0
 18.6

 3~5歳
 29
 37.9
 48.3
 3.4
 6.9
 3.4

図 1~2日 ■ 3~5日 図 6~9日 図 10~14日 ■ 15日以上 □無 回 答

問23-1 子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等日数[%]

図 1~2日 ■ 3~5日 図 6~9日 図 10~14日 ■ 15日以上 □無 回 答 30% 40% 50% 60% 70% 90% 100% 全 体 141 31.2 .14.2 16.3 0~2歳 101 11.9 31.7 14.9 28.2 3~5歳 39 28.2 12.8

問23-1 私用、リフレッシュ目的日数[%]

30% 100% 全 体 15.3 30.6 . 13.9 0~2歳 51 29.4 9.8 9.8 15.7 9.5 33.3 3~5歳 21 28.6

图 1~2日 ■ 3~5日 図 6~9日 図 10~14日 ■ 15日以上 □無 回 答

問23-1 その他日数[%]

園 1~2日 ■ 3~5日 図 6~9日 ■ 10~14日 ■ 15日以上 □無 回 答 30% 40% 60% 70% 全 体 20.9 30.2 16.3 11.6 16.3 0~2歳 25.0 8.3 12.5 .16.7 26.3 10.5 3~5歳 19 15.8 31.6 15.8

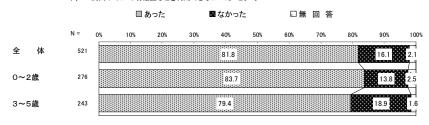
2-7. 病気の際の対応(教育・保育施設利用者)

問 16 で平日の定期的な教育・保育施設等の事業を利用していると答えた方

問 24 この1年間に、お子さんが病気やけがで施設・サービスなどが利用できなかったことはありますか。

「あった」が81.8%を占め、「なかった」が16.1%である。

問24 病気やけがで幼稚園などを利用できなかったこと[%]

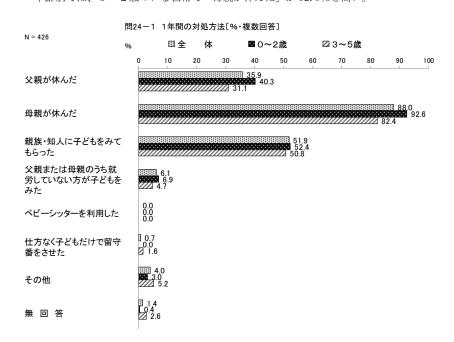


問24で「1. あった」に〇をつけた方

問 24-1 お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育施設等の事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法をお答えください。

「母親が休んだ」が 88.0%と高く、「親族・知人に子どもをみてもらった」が 51.9%、「父親が休んだ」が 35.9%で続いている。

年齢別では、0~2歳のいる世帯で「母親が休んだ」が92.6%と高い。



父親が休んだ日数は「7日以上」が24.2%と高く、平均利用日数は5.7日である。

母親が休んだ日数は「7日以上」が58.9%と高く、平均利用日数は12.7日である。

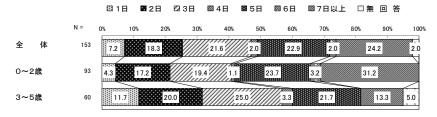
親族・知人に子どもをみてもらった日数は「7日以上」が 44.3%と高く、平均利用日数は 10.8日である。

就労していない方が子どもをみた日数は「7日以上」が65.4%と高く、平均利用日数は11.2日である。

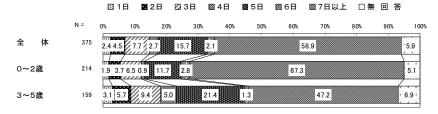
仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数は、回答者が3名で、2名が「1日」、1名が「2日」で、平均利用日数は1.3日である。

その他の利用日数は「7日以上」が41.2%と高く、平均利用日数は7.5日である。

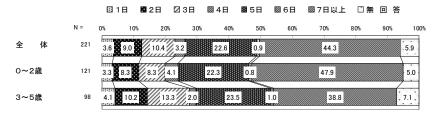
問24-1 父親が休んだ日数[%]



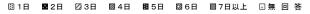
問24-1 母親が休んだ日数[%]

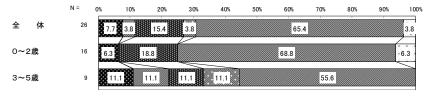


問24-1 親族・知人に子どもをみてもらった日数[%]

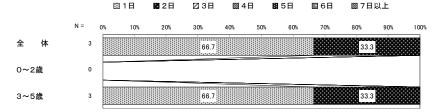


問24-1 就労していない方が子どもをみた日数[%]

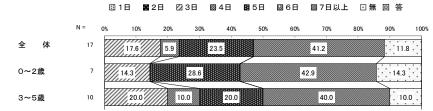




問24-1 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数[%]



問24-1 その他の日数[%]



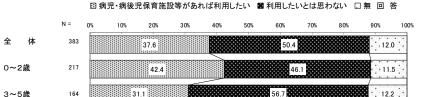
問24-1で「1.」「2.」のいずれかに〇をつけた方

問 24-2 お子さんが病気やけがで教育・保育施設等の事業が利用できなかった際、「できれば病児・病後児保育等を利用したい」と思われましたか。

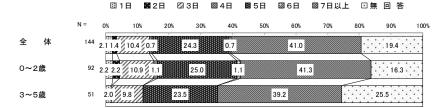
「利用したいとは思わない」が50.4%と高く、「病児・病後児保育施設等があれば利用したい」が37.6%である。利用希望日数は「7日以上」が41.0%と高く、平均利用希望日数は9.2日である。

年齢別では、 $0\sim2$ 歳のいる世帯で「病児・病後児保育施設等があれば利用したい」が 42.4% と高い。

問24-2 病児・病後児保育施設利用意向[%]



問24-2 利用希望日数[%]

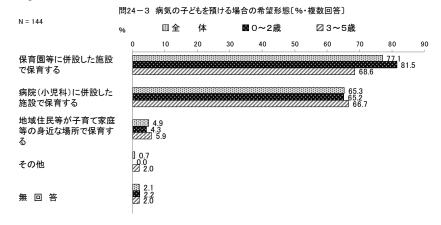


問24-2で「1.」にOをつけた方

問24-3 病気の子どもを預ける場合、どのような形態が望ましいと思いますか。

「保育園等に併設した施設で保育する」が 77.1% と高く、「病院 (小児科) に併設した施設で保育する」が 65.3%で続いている。

年齢別では、 $0\sim2$ 歳のいる世帯で「保育園等に併設した施設で保育する」が 81.5%と高い。

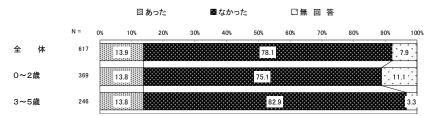


問 25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。

「なかった」が 78.1%を占め、「あった」が 13.9%である。

年齢別では、3~5歳のいる世帯で「なかった」が82.9%と高い。



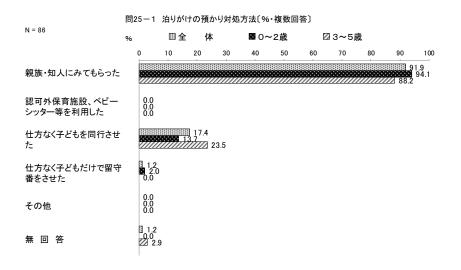


問25で「1. あった」に〇をつけた方

問25-1 この1年間の対処方法をお答えください。

「親族・知人にみてもらった」が91.9%と高く、「仕方なく子どもを同行させた」が17.4%、「仕方なく子どもだけで留守番させた」が1.2%で続いている。

年齢別では、3~5歳のいる世帯で「仕方なく子どもを同行させた」が23.5%と高い。

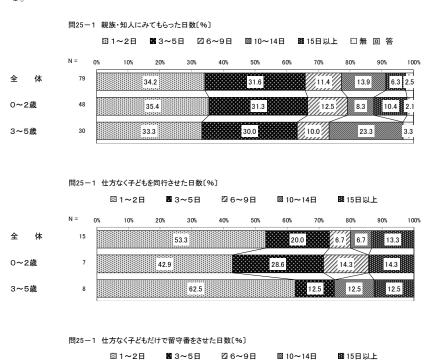


51

親族・知人に子どもをみてもらった日数は「 $1\sim2$ 日」が34.2%、「 $3\sim5$ 日」が31.6%と高く、平均利用日数は6.5日である。

仕方なく子どもを同行させた日数は「 $1\sim2$ 日」が53.3%と高く、平均利用日数は8.1日である。

仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数は、回答者が1名で、「 $10\sim14$ 日」と回答している。



30%

50%

100.0

100.0

52

全 体

0~2歳

3~5歳

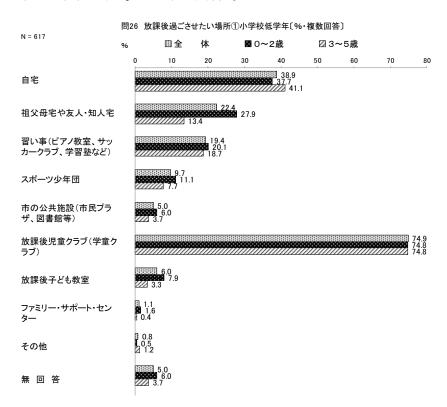
2-8. 就学後の放課後の過ごし方

問 26 お子さんについて、小学校就学後は、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

【低学年】

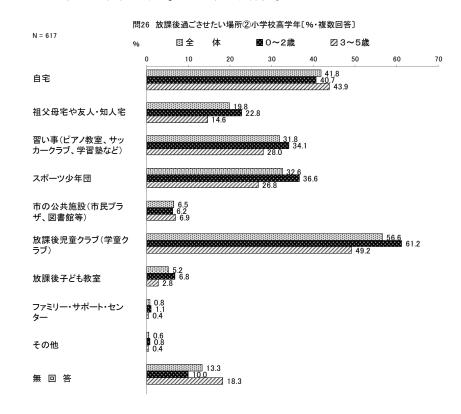
「放課後児童クラブ (学童クラブ)」が 74.9%と高く、「自宅」が 38.9%、「祖父母宅や友 人・知人宅」が 22.4%で続いている。

年齢別では、 $0\sim2$ 歳のいる世帯で「祖父母宅や友人・知人宅」が 27.9%と高く、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で「自宅」が 41.1% とやや高い。



【髙学年】

「放課後児童クラブ (学童クラブ)」が 56.6% と高く、「自宅」が 41.8%、「スポーツ少年団」が 32.6%、「習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が 31.8% で続いている。 年齢別では、 $0 \sim 2$ 歳のいる世帯で「放課後児童クラブ (学童クラブ)」が 61.2% と高く、 $3 \sim 5$ 歳のいる世帯で「自宅」が 43.9% とやや高い。



問 26 で「5. 放課後児童クラブ (学童クラブ)」 にOをつけた方

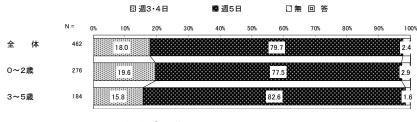
間 26-1 利用を希望するそれぞれの利用日数と利用時間をお答えください。

①平日

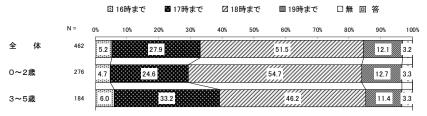
【低学年】

利用希望日数は「週5日」が79.7%を占め、「週 $3\cdot4$ 日」が18.0%である。 利用希望時間は「18 時まで」が51.5%と高く、「17 時まで」が27.9%で続いている。 年齢別では、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で「17 時まで」が33.2%と高い。

問26 平日の利用希望日数①小学校低学年[%]



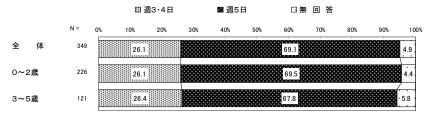
問26 平日の利用希望時間①小学校低学年[%]



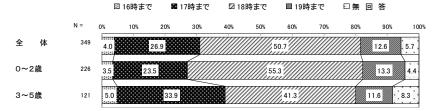
【髙学年】

利用希望日数は「週5日」が69.1%を占め、「週 $3\cdot4$ 日」が26.1%である。 利用希望時間は「18 時まで」が50.7%と高く、「17 時まで」が26.9%で続いている。 年齢別では、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で「17 時まで」が33.9%と高い。

問26 平日の利用希望日数②小学校高学年[%]



問26 平日の利用希望時間②小学校高学年[%]



②土曜日

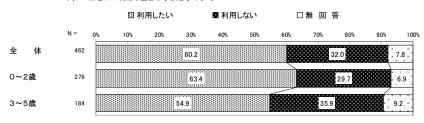
【低学年】

「利用したい」が60.2%、「利用しない」が32.0%である。

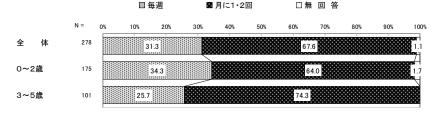
利用希望日数は「月に1・2回」が67.6%、「毎週」が31.3%である。

利用希望時間は「夕方まで1日」が86.3%と高く、「午前中のみ」が10.4%で続いている。 年齢別では、 $0 \sim 2$ 歳のいる世帯で「利用したい」が63.4%、「毎週」が34.3%と高い。

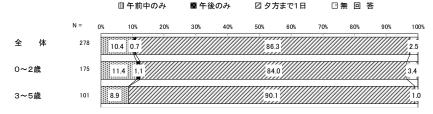
問26 土曜日の利用希望①小学校低学年[%]



問26 土曜日の利用希望日数①小学校低学年[%]



問26 土曜日の利用希望時間①小学校低学年[%]



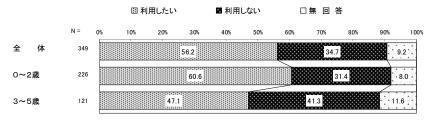
【髙学年】

「利用したい」が56.2%、「利用しない」が34.7%である。

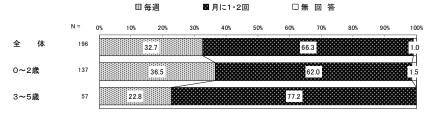
利用希望日数は「月に1・2回」が66.3%、「毎週」が32.7%である。

利用希望時間は「夕方まで1日」が84.2%と高く、「午前中のみ」が10.7%で続いている。 年齢別では、 $0 \sim 2$ 歳のいる世帯で「利用したい」が60.6%、「毎週」が36.5%と高い。

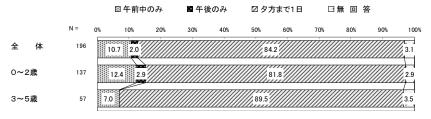
問26 土曜日の利用希望②小学校高学年[%]



問26 土曜日の利用希望日数②小学校高学年[%]



問26 土曜日の利用希望時間②小学校高学年[%]



③日曜・祝日

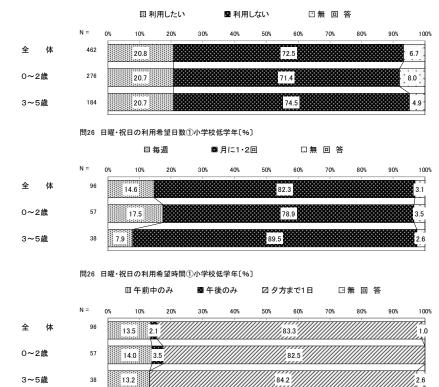
【低学年】

「利用しない」が72.5%、「利用したい」が20.8%である。

利用希望日数は「月に1・2回」が82.3%、「毎週」が14.6%である。

利用希望時間は「夕方まで 1 日」が 83.3% と高く、「午前中のみ」が 13.5% で続いている。 年齢別では、0~2歳のいる世帯で「毎週」が 17.5% とやや高い。

問26 日曜・祝日の利用希望①小学校低学年[%]



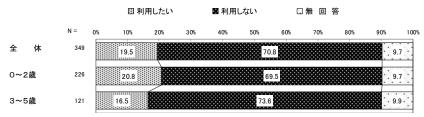
【髙学年】

「利用しない」が70.8%、「利用したい」が19.5%である。

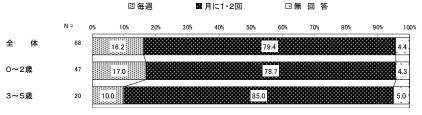
利用希望日数は「月に1・2回」が79.4%、「毎週」が16.2%である。

利用希望時間は「9方まで1日」が 89.7%と高く、「午前中のみ」が 8.8%で続いている。 年齢別では、 $0 \sim 2$ 歳のいる世帯で「利用したい」が 20.8%、「毎週」が 17.0%とやや高い。

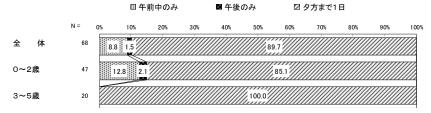
問26 日曜・祝日の利用希望②小学校高学年[%]



問26 日曜・祝日の利用希望日数②小学校高学年[%]



問26 日曜・祝日の利用希望時間①小学校高学年[%]



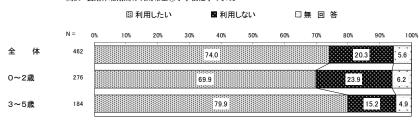
④長期休暇期間

【低学年】

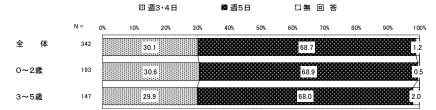
「利用したい」が 74.0%、「利用しない」が 20.3%である。 利用希望日数は「週 5 日」が 68.7%、「毎週」が 30.1%である。

利用希望時間は「夕方まで1日」が 93.0%と高く、「午前中のみ」が 5.6%で続いている。 年齢別では、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で「利用したい」が 79.9%と高い。

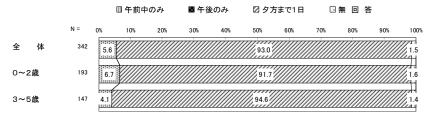
問26 長期休暇期間の利用希望①小学校低学年[%]



問26 長期休暇期間の利用希望日数①小学校低学年[%]



問26 長期休暇期間の利用希望時間①小学校低学年[%]



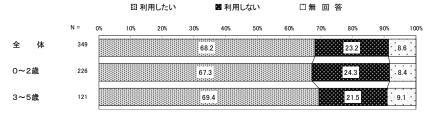
【高学年】

「利用したい」が68.2%、「利用しない」が23.2%である。

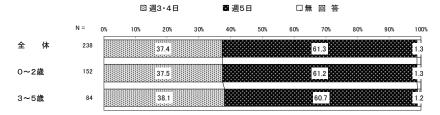
利用希望日数は「週5日」が61.3%、「週3・4日」が37.4%である。

利用希望時間は「夕方まで1日」が92.4%と高く、「午前中のみ」が6.7%で続いている。

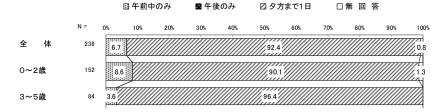
問26 長期休暇期間の利用希望②小学校高学年[%]



問26 長期休暇期間の利用希望日数②小学校高学年[%]



問26 長期休暇期間の利用希望時間①小学校高学年[%]



2-9. 仕事と子育ての両立支援制度

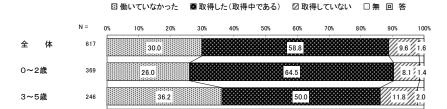
問 27 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

【母親】

「取得した(取得中である)」が58.8%と高く、「働いていなかった」が30.0%、「取得していない」が9.6%で続いている。

年齢別では、3~5歳のいる世帯で「働いていなかった」が36.2%と高い。

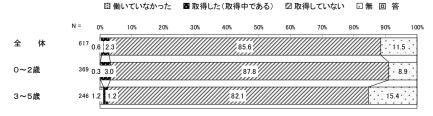
問27 育児休業取得状況(1)母親[%]



【父親】

「取得していない」が 85.6%と大半を占め、「取得した (取得中である)」が 2.3%でである。

問27 育児休業取得状況(2)父親[%]



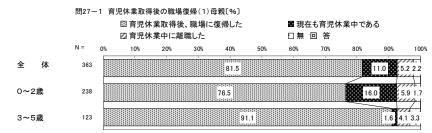
問27で「2. 取得した(取得中である)」に〇をつけた方

問 27-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

【母親】

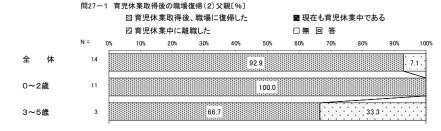
「育児休業取得後、職場に復帰した」が 81.5%と大半を占め、「現在も育児休業中である」が 11.0%で続いている。

年齢別では、3~5歳のいる世帯で「育児休業取得後、職場に復帰した」が91.1%と高い。



【父親】

回答数は少ないが、「育児休業取得後、職場に復帰した」が92.9%と大半を占めている。

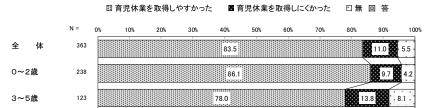


問 27-2 育児休業を取得しやすかったですか。

【母親】

「育児休業を取得しやすかった」が83.5%を占め、「育児休業を取得しにくかった」が11.0%である。

年齢別では、3~5歳のいる世帯で「育児休業を取得しやすかった」が78.0%と低い。

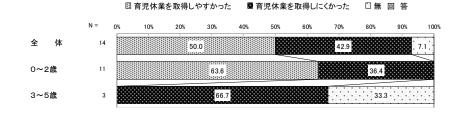


問27-2 育児休業の取得しやすさ(1)母親[%]

【父親】

回答数は少ないが、「育児休業を取得しやすかった」が 50.0%、「育児休業を取得しにくかった」が 42.9%である。

問27-2 育児休業の取得しやすさ(2)父親[%]



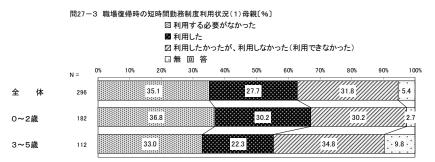
問27-1で「(a) 育児休業取得後、職場に復帰した」に〇をつけた方

問 27-3 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

【母親】

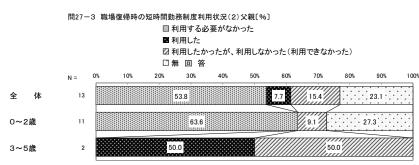
「利用する必要がなかった」が 35.1%と高く、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が 31.8%、「利用した」が 27.7%で続いている。

年齢別では、 $0 \sim 2$ 歳のいる世帯で「利用した」が 30.2%と高く、 $3 \sim 5$ 歳のいる世帯で「利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)」が 34.8%と高い。



【父親】

回答数は少ないが、「利用する必要がなかった」が 53.8%と高く、「利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)」が 15.4%で続いている。

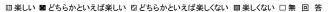


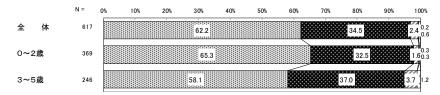
2-10. 子育てに関すること

問28 子育ては楽しいですか。

「楽しい」が 62.2% と高く、「どちらかといえば楽しい」が 34.5% で続いている。 年齢別では、 $0 \sim 2$ 歳のいる世帯で「楽しい」が 65.3% とやや高い。

問28 子育ては楽しい[%]



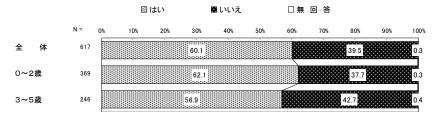


問 29 子育てをしていてつらいと思うことはありますか。

「はい」が60.1%、「いいえ」が39.5%である。

年齢別では、3~5歳のいる世帯で「はい」が56.9%とやや低い。

問29 子育てをしていてつらいと思うことがある[%]

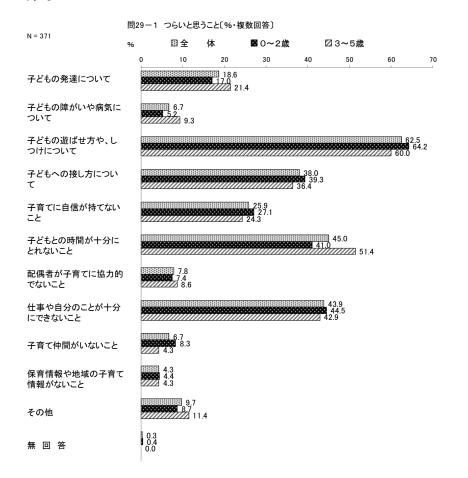


問29で「1. はい」に〇をつけた方

問 29-1 つらいと思うことは何ですか。

「子どもの遊ばせ方や、しつけについて」が 62.5% と高く、「子どもとの時間が十分にとれないこと」が 45.0%、「仕事や自分のことが十分にできないこと」が 43.9%、「子どもへの接し方について」が 38.0% で続いている。

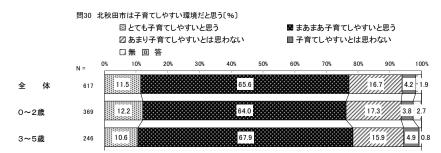
年齢別では、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で「子どもとの時間が十分にとれないこと」が 51.4%と 高い。



2-11. 北秋田市の子育て環境

問30 北秋田市は子育てしやすい環境だと思いますか。

「まあまあ子育てしやすいと思う」が 65.6%と高く、「あまり子育てしやすいとは思わない」が 16.7%、「とても子育てしやすいと思う」が 11.5%で続いている。

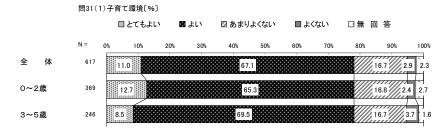


問31 北秋田市の子育てや教育の環境等についてどのようにお考えですか。

①子育て環境

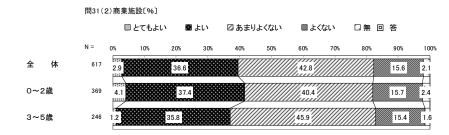
「よい」が 67.1%と高く、「あまりよくない」が 16.7%、「とてもよい」が 11.0%で続いて いる。

年齢別では、3~5歳のいる世帯で「とてもよい」が8.5%とやや低い。



②商業施設

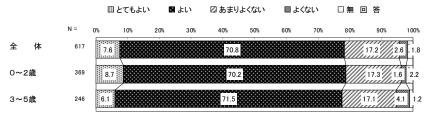
「あまりよくない」が 42.8%と高く、「よい」が 36.6%、「とてもよい」が 2.9%で続いて いる。



③教育面

「よい」が 70.8%と高く、「あまりよくない」が 17.2%、「とてもよい」が 7.6%で続いて いる。

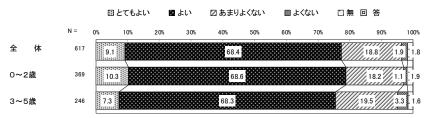
問31(3)教育面[%]



④安全面

「よい」が 68.4%と高く、「あまりよくない」が 18.8%、「とてもよい」が 9.1%で続いて いる。

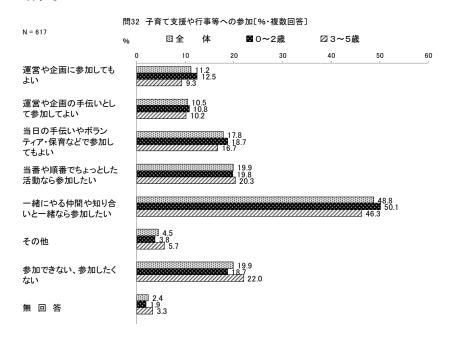
問31(4)安全面[%]



問 32 地域で開催されている子育て支援や子どもの体験活動や行事等への参加について、どのようにお考えですか。

「一緒にやる仲間や知り合いと一緒なら参加したい」が48.8%と高く、「当番や順番でちょっとした活動なら参加したい」と「参加できない、参加したくない」がともに19.9%、「当日の手伝いやボランティア・保育などで参加してもよい」が17.8%で続いている。

年齢別では、 $0\sim2$ 歳のいる世帯で「一緒にやる仲間や知り合いと一緒なら参加したい」が 50.1%とやや高く、 $3\sim5$ 歳のいる世帯で「参加できない、参加したくない」が 22.0%とや や高い。

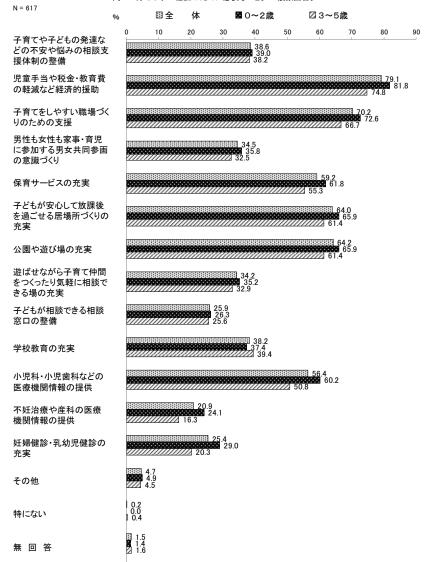


問33 子どもを育てやすい社会のために必要だと思うことは何ですか。

「児童手当や税金・教育費の軽減など経済的援助」が79.1%と高く、「子育てをしやすい職場づくりのための支援」が70.2%、「公園や遊び場の充実」が64.2%、「子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくりの充実」が64.0%で続いている。

年齢別では、 $0 \sim 2$ 歳のいる世帯で「小児科・小児歯科などの医療機関情報の提供」が 60.2%、「妊婦健診・乳幼児健診の充実」が 29.0%とやや高い。

問33 育てやすい社会のために必要なこと[%・複数回答]

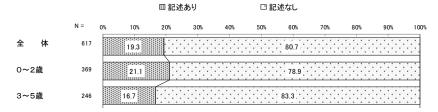


69

問34 これまでの子育ての経験から、これから子育てをする方などへのアドバイスや気づきなどがありましたら、お書きください。

19.3%が記述しており、主な内容は「子育てに関すること (アドバイスや心構えなど)」、「保育施設や保育料に関すること」、「母親への支援・相談先に関すること」などである。

問34 これから子育てをする方などへのアドバイス[%]



就学前児童保護者 問34自由意見

順位	内容	件数
1位	子育てに関すること(アドバイスや心構えなど)	30件
	子どもも親も個人差があるので、焦らずあまり周りと比べ過ぎず、その家庭のペースで子育てを楽しめたらと思う。神経質にならず、適度に肩の力を抜き、適当な力加減で頑張るとよい。子育ては難しいが、周りの人たちに助けてもらいながら、無理せず楽しくやるのがよいと思う。子は産まない方がよい。絶望しかない。	
	保育施設や保育料に関すること	24件
2位	保育園の開所時間が7時30分からなので、仕事の調節が必要である。保育料が高い。無償化の方が よいと思う。各保育園で行っている子育て支援は、入園予定でなくても積極的に参加した方が、気分転 換になったり、知り合いが増えて情報の共有ができたり、子どもにとってもよい刺激になると感じた。	
3位	母親への支援・相談先に関すること	20件
	子育て・家事に追われ、自分の気持ちがいっぱいいっぱいになったら、少しの間子どもを預けてリフレッシュする時間をつくってもよいと思う。母親は一人でがんばりすぎるので、頼ることが大切。病院の人や保健センター、保育園の先生等は、初めて親になった人へもっとアドバイスがあってもよいと思う。始めてだからわからない。ママ友と出会える環境が必要。	
4位	病院・医療に関すること	各13件
	北秋田市には小児科や産科の個人病院がないため、母子共に不便である。小児科医療がもっとあればと思う。医師不足で難しいと思うが、常勤をもう一人増やすなど対策をしてもらいたい。小児科連携の病児保育があれば、急な発熱だが仕事を休めない時、助かると思った。	
	職場・仕事に関すること	
	子どもが3歳未満の場合は夜勤なしにしてほしい。仕事柄土曜日・日曜日の出勤、夜勤もあるため、日曜日や夜間保育施設ができればよいと思っている。子育てしながら働きやすい環境、就労について整備するということを行政が率先して行うことが、人口の流出を防ぐこと、地域での子育てにつながるのではなだろうか。	

70

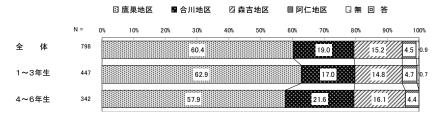
3. 小学生保護者アンケート

3-1. 小学生と家族の状況

問1 お住まいの地区を教えてください。

「鷹巣地区」が 60.4% と高く、「合川地区」が 19.0%、「森吉地区」が 15.2%、「阿仁地区」が 4.5%である。

問1 居住地区[%]



問2 お子さんの学年を教えてください。

「小学1年生」が20.6%、「小学2年生」が18.8%、「小学3年生」が16.7%、「小学5年生」が15.4%、「小学6年生」が14.3%、「小学4年生」が13.2%で続いている。

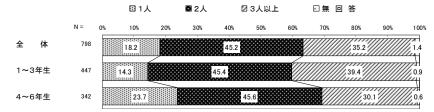


問3 世帯のお子さんは全部で何人ですか。(平成31年1月1日現在)

「2人」が 45.2% と高く、「3人以上」が 35.2%、「1人」が 18.2% である。

学年別では、 $1 \sim 3$ 年生のいる世帯で「3人以上」が39.4%とやや高く、 $4 \sim 6$ 年生のいる世帯で「1人」が23.7%と高い。

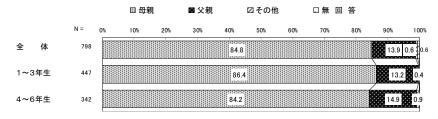
問3 世帯の子どもの数[%]



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

「母親」が84.8%を占め、「父親」は13.9%である。

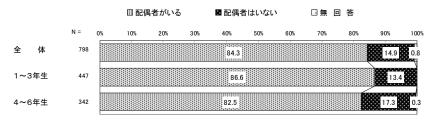
問4 回答者[%]



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

「配偶者がいる」が84.3%と高く、「配偶者はいない」が14.9%である。 学年別では、 $4\sim6$ 年生のいる世帯で「配偶者がいる」が82.5%とやや低い。

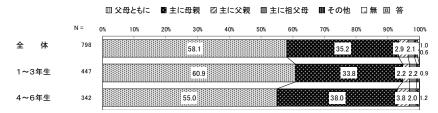
問5 配偶関係[%]



問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。

「父母ともに」が58.1%と半数を超えて高く、「主に母親」が35.2%である。

問6 子育てを主に行っている方[%]



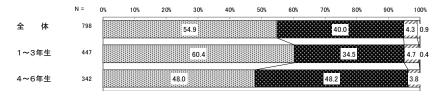
問7 現在の家族構成についてお答えください。

「2世代(あなたの子どもと同居)」が 54.9%と半数を超えて高く、「3世代(あなたの子ども、親と同居)」が 40.0%である。

学年別では、 $1 \sim 3$ 年生のいる世帯で「2世代(あなたの子どもと同居)」が 60.4%と高く、 $4 \sim 6$ 年生のいる世帯で「3世代(あなたの子ども、親と同居)」が 48.2%と高い。

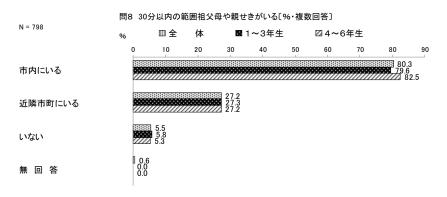
問7 家族構成[%]

图 2世代(あなたの子どもと同居) ■ 3世代(あなたの子ども、親と同居) 図 その他 □無 回 答



問8 概ね30分以内で行き来できる範囲に、祖父母や親せき、保護者の兄弟姉妹などがいますか。

「市内にいる」が 80.3%と高く、「近隣市町にいる」が 27.2%、「いない」が 5.5%で続いている。

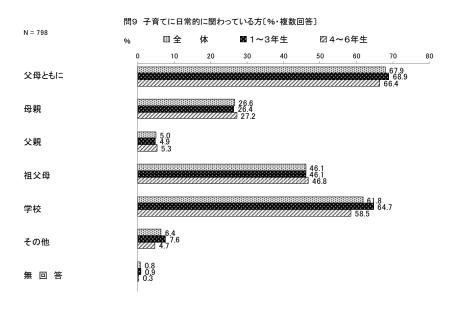


3-2. 子どもの育ちをめぐる環境

問9 お子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。

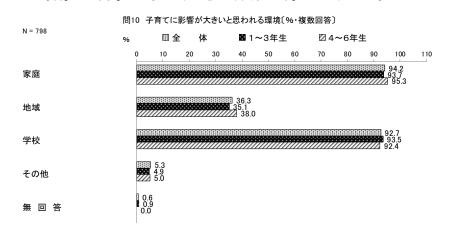
「父母ともに」が 67.9%と高く、「学校」が 61.8%、「祖父母」が 46.1%、「母親」が 26.6% で続いている。

学年別では、1~3年生のいる世帯で「学校」が64.7%とやや高い。



問 10 お子さんの子育て(教育を含む)に、影響が大きいと思われる環境をお答えください。

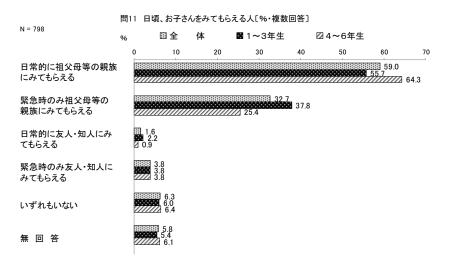
「家庭」と「学校」がともに90%を超えて高く、「地域」は36.3%である。



問 11 日頃、お子さんをみてもらえる親族や友人・知人はいますか。

「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が59.0%と高く、「緊急時のみ祖父母等の親族にみてもらえる」が32.7%、「いずれもいない」が6.3%で続いている。

学年別では、 $1\sim3$ 年生のいる世帯で「緊急時のみ祖父母等の親族にみてもらえる」が 37.8% と高く、 $4\sim6$ 年生のいる世帯で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 64.3% と高い。

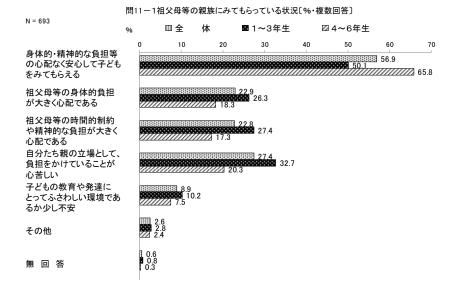


間 11 で「1. | 「2. | や「3. | 「4. | に〇をつけた方

問 11-1 祖父母等の親族や友人・知人にみてもらっている状況についてお答えください。

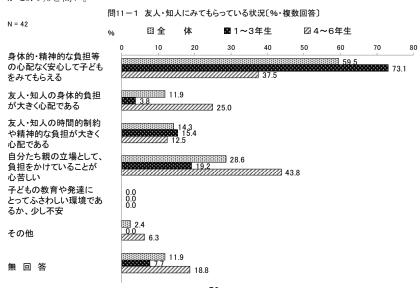
祖父母等の親族にみてもらっている状況としては、「身体的・精神的な負担等の心配なく安心して子どもをみてもらえる」が 56.9%と高く、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 27.4%、「祖父母等の身体的負担が大きく心配である」と「祖父母等の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」がそれぞれ 23%弱と同程度で、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか少し不安」が 8.9%で続いている。

学年別では、 $1\sim3$ 年生のいる世帯で「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 32.7%と高く、 $4\sim6$ 年生のいる世帯で「身体的・精神的な負担等の心配なく安心して子どもをみてもらえる」が 65.8%と高い。



友人・知人にみてもらっている状況としては、「身体的・精神的な負担等の心配なく安心して子どもをみてもらえる」が59.5%と高く、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が28.6%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」と「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」がそれぞれ10%台と同程度で続いている。

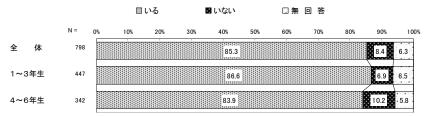
学年別では、 $1\sim3$ 年生のいる世帯で「身体的・精神的な負担等の心配なく安心して子どもをみてもらえる」が 73.1%と高く、 $4\sim6$ 年生のいる世帯で「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 43.8%、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」が 25.0%と高い。



問 12 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人または場所はありますか。

「いる」が85.3%と高く、「いない」は8.4%である。

問12 子育てをする上で、気軽に相談できる人の有無[%]

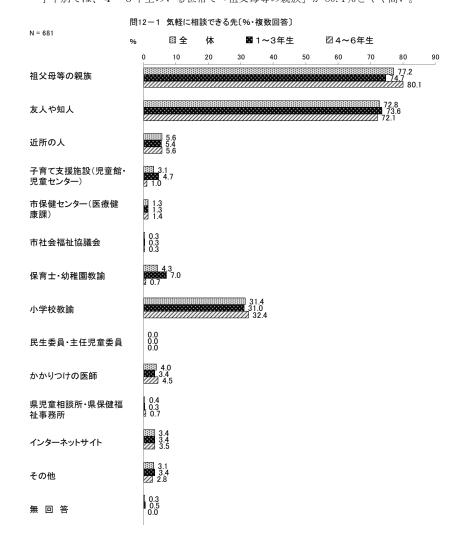


問 12で「1.」に〇をつけた方

問 12-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。

「祖父母等の親族」が 77.2%、「友人や知人」が 72.8% と高く、「小学校教諭」が 31.4% で 続いている。

学年別では、4~6年生のいる世帯で「祖父母等の親族」が80.1%とやや高い。



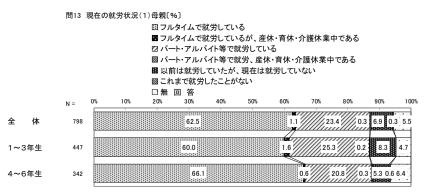
3-3. 保護者様の就労状況

問 13 保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。

【母親】

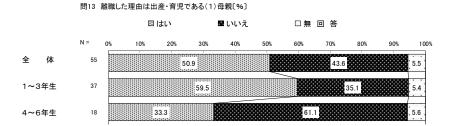
「フルタイムで就労している」が 62.5%と高く、「パート・アルバイト等で就労している」が 23.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 6.9%で続いている。

学年別では、 $1\sim3$ 年生のいる世帯で「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 8.3%とやや高く、 $4\sim6$ 年生のいる世帯で「フルタイムで就労している」が 66.1%とやや高い。



離職した理由は出産・育児であるかどうかの設問に対し、「はい」が 50.9%、「いいえ」が 43.6%である。

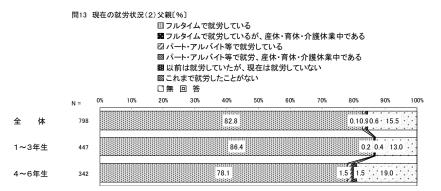
学年別では、4~6年生のいる世帯で「いいえ」が61.1%と高い。



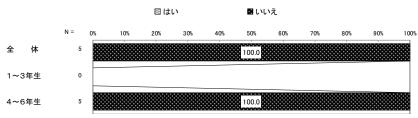
【父親】

「フルタイムで就労している」が82.8%と大半を占める。

学年別では、1~3年生のいる世帯で「フルタイムで就労している」が86.4%とやや高い。



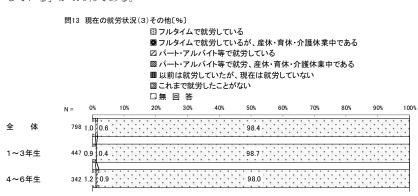
離職した理由の回答者は5名で、全員が「いいえ」と回答している。



問13 離職した理由は出産・育児である(2)父親[%]

【その他】

回答者は少ないが、「フルタイムで就労している」が 1.0%、「パート・アルバイト等で就労している」が 0.6%である。



離職した理由の同答者はいない。

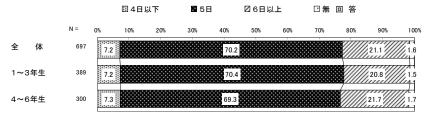
問 13 で「1. ~4.」(就労している) に〇をつけた方

問 13-1 1週当たりの「就労日数」及び1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、「通 動時間」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」について、それぞれお答えください。

【母親】

就労日数は「5日」が70.2%と高く、「6日以上」が21.1%、「4日以下」が7.2%である。 就労時間は「8時間以上」が40.6%、「6時間以上8時間未満」が38.5%と6時間以上が高く、「4時間以上6時間未満」が16.9%、「4時間未満」が2.9%である。

問13-1 就労日数(1)母親[%]



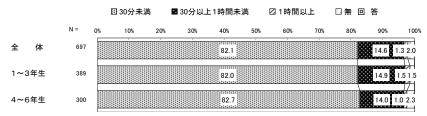
問13-1 就労時間(1)母親[%]

園 4時間未満 ■ 4時間以上6時間未満 図 6時間以上8時間未満 図 8時間以上 □無 回 答



通勤時間は「30 分未満」が82.1% と高く、「30 分以上1 時間未満」が14.6% である。家を出る時刻は「7 時台」が51.6% と高く、「8 時台」が32.7% で続いている。帰宅時刻は「18 時~20 時前」が40.0% と高く、「17 時台」が32.0%、「16 時より前」と「16 時台」はそれぞれ10%前後である。

問13-1 通勤時間(1)母親[%]



問13-1 家を出る時刻(1)母親[%]

 文体
 697
 56
 51.6
 51.6
 51.6
 32.7
 3.6
 2.3
 2.7

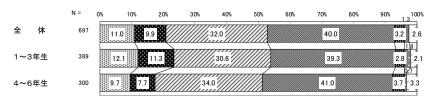
 1~3年生
 389
 5.9
 53.2
 31.6
 3.6
 3.8
 1.8
 2.6

 4~6年生
 300
 5.3
 49.3
 34.0
 3.7
 3.7
 3.0

問13-1 帰宅時刻(1)母親[%]



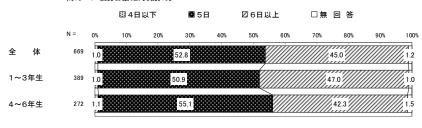
園 7時より前 ■ 7時台 図 8時台 図 9時台 ■ 10時以降(午前中) 図 午後 □無 回 答



【父親】

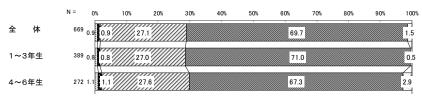
就労日数は「5日」が52.8%と高く、「6日以上」が45.0%で5日以上が97.8%を占める。 就労時間は「8時間以上」が69.7%と高く、「6時間以上8時間未満」が27.1%で、6時間以上が96.8%を占める。

問13-1 就労日数(2)父親[%]



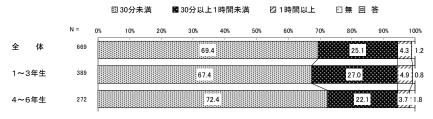
問13-1 就労時間(2)父親[%]

園 4時間未満 ■ 4時間以上6時間未満 図 6時間以上8時間未満 図 8時間以上 □無 回 答

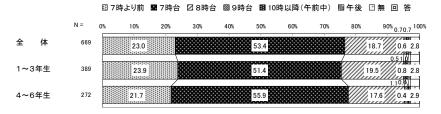


通勤時間は「30 分未満」が69.4% と高く、「30 分以上 1 時間未満」が25.1% である。家を出る時刻は「7 時台」が53.4% と高く、「7 時より前」が23.0%、「8 時台」が18.7% で続いている。帰宅時刻は「18 時~20 時前」が57.0% と高く、「17 時台」が18.8%、「20 時~22 時」が14.2% で続いている。

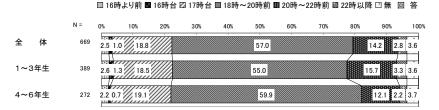
問13-1 通勤時間(2)父親[%]



問13-1 家を出る時刻(2)父親[%]



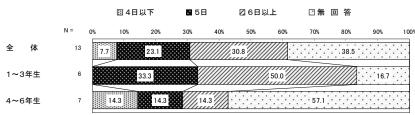
問13-1 帰宅時刻(2)父親[%]



【その他】

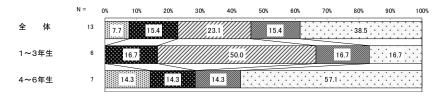
回答数は少ないが、就労日数は「6日以上」が 30.8%と高く、「5日」が 23.1%、「4日以下」が 7.7%で続いている。就労時間は「6時間以上8時間未満」が 23.1%と高く、「8時間以上」と「4時間以上6時間未満」がともに 15.4%で続いている。

問13-1 就労日数(3)その他[%]



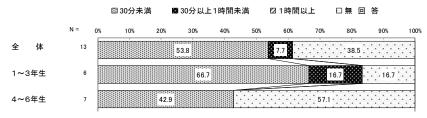
問13-1 就労時間(3)その他[%]

國 4時間未満 ■ 4時間以上6時間未満 図 6時間以上8時間未満 図 8時間以上 □無 回 答



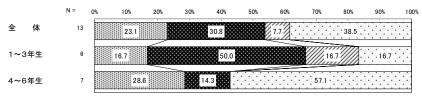
通勤時間は「30分未満」が53.8%と高く、「30分以上1時間未満」が7.7%である。家を出る時刻は「7時台」が30.8%と高く、「7時より前」が23.1%で続いている。帰宅時刻は「16時台」が23.1%と高く、「17時台」と「18時~20時前」がともに15.4%で続いている。

問13-1 通勤時間(3)その他[%]



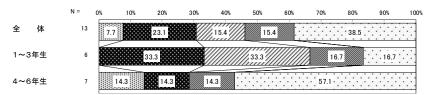
問13-1 家を出る時刻(3)その他[%]

図7時より前 ■7時台 図8時台 図9時台 ■10時以降(午前中) 図午後 □無 回 答



問13-1 帰宅時刻(3)その他[%]

图 16時より前 ■ 16時台 図 17時台 図 18時~20時前 ■ 20時~22時前 図 22時以降 □無 回 答



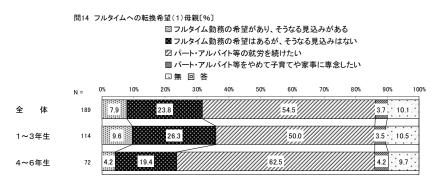
問 13 で「3.」「4.」(保護者がパート・アルバイト等で就労している) にOをつけた方

問 14 フルタイム勤務の希望はありますか。

【母親】

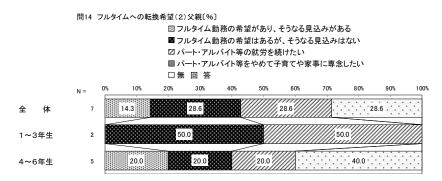
「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が 54.5% と高く、「フルタイム勤務の希望はあるが、そうなる見込みはない」が 23.8%、「フルタイム勤務の希望があり、そうなる見込みがある」が 7.9% である。

学年別では、 $4 \sim 6$ 年生のいる世帯で「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が 62.5% と高い。



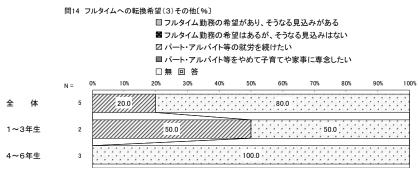
【父親】

回答者は少ないが、「フルタイム勤務の希望があり、そうなる見込みはない」と「パート・アルバイト等の就労を続けたい」がともに28.6%である。



【その他】

回答者は5名で、1名が「パート・アルバイト等の就労を続けたい」、4名が無回答である。



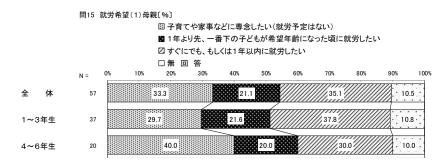
問 13 で「5、」または「6、」に〇をつけた方

問 15 就労したいという希望はありますか。

【母親】

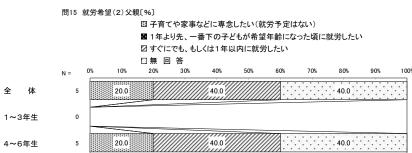
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が35.1%と高く、「子育てや家事などに専念したい(就労予定はない)」が33.3%、「1年より先、一番下の子どもが希望年齢になった頃に就労したい」が21.1%で続いている。

学年別では、「子育てや家事などに専念したい (就労する予定はない)」は $1 \sim 3$ 年生のいる世帯で 29.7%とやや低く、 $4 \sim 6$ 年生のいる世帯で 40.0%と高い。



【父親】

回答者は5名で、2名が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」、1名が「子育て や家事などに専念したい(就労予定はない)」、2名が無回答である。



【その他】

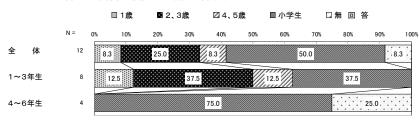
回答者はいない。

問 15で「2.」に〇をつけた方

問 15-1 お子さんが何歳になったら就労したいですか。

【母親】

回答数は少ないが、「小学生」が 50.0% と高く、「2、3歳」が 25.0%、「1歳」と「4、5歳」が 25.0%である。



問15-1 就労希望時期の子ども年齢(1)母親[%]

【父親】

回答者はいない。

【その他】

回答者はいない。

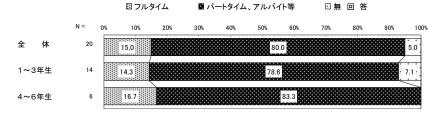
問 15で「3.」に〇をつけた方

問 15-2 希望する就労形態は何ですか。

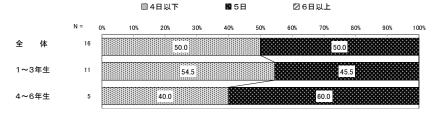
【母親】

希望する就労形態は「パートタイム、アルバイト等」が 80.0% と高く、「フルタイム」が 15.0% である。希望就労日数は「4日以下」と「5日」がともに 50.0% である。希望就労時間は「4時間以上6時間未満」が 68.8% と高く、「6時間以上8時間未満」が 18.9%、「4時間未満」が 12.5% で続いている。

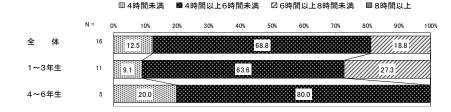
問15-2 希望する就労形態(1)母親[%]



問15-2 希望する就労日数(1)母親[%]



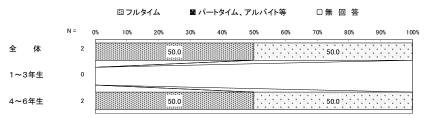
問15-2 希望する就労時間(1)母親[%]



【父親】

希望する就労形態の回答者は2名で、1名が「フルタイム」、1名が無回答である。

問15-2 希望する就労形態(2)父親[%]



【その他】

回答者はいない。

3-4. 地域の子育て支援事業の利用状況

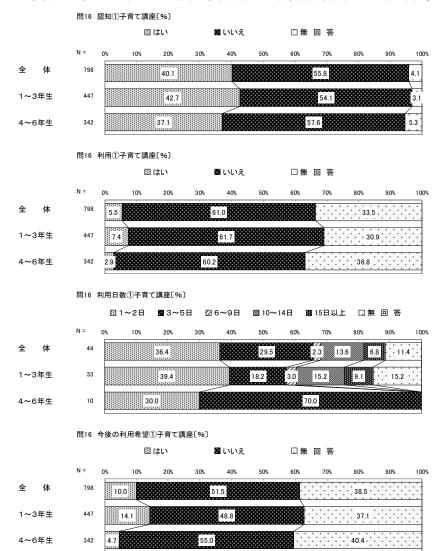
問 16 次の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したい と思うものをお答えください。

①子育て講座

認知度は 40.1%、利用率は 5.5%、利用日数は「 $1\sim2$ 日」が 36.4%と高く、平均利用日数は 12.5日である。

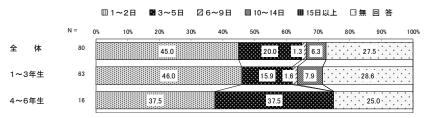
利用希望率は 10.0%で、利用希望日数は「 $1\sim2$ 日」が 45.0% と高く、平均利用希望日数 は 2.9 日である。

学年別では、1~3年生のいる世帯で、利用率が7.4%、利用希望率が14.1%と高い。



90

問16 今後の利用希望日数①子育で講座[%]



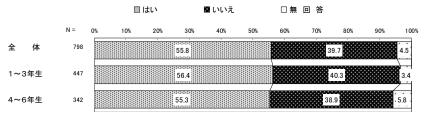
②おはなしでてこい

認知度は55.8%、利用率は11.5%、利用日数は「1~2日」が51.1%と高く、平均利用日数は7.4日である。

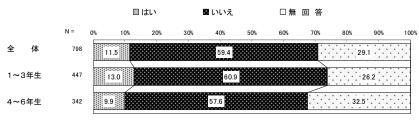
利用希望率は 9.0%で、利用希望日数は「 $1\sim2$ 日」が 34.7% と高く、平均利用希望日数は 3.9日である。

学年別では、1~3年生のいる世帯で、利用希望率が13.2%と高い。

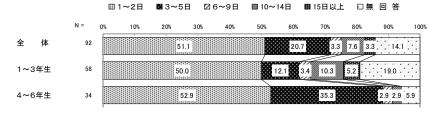
問16 認知②おはなしでてこい[%]



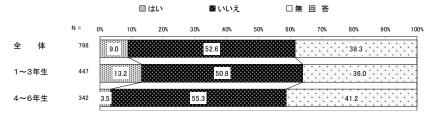
問16 利用②おはなしでてこい[%]



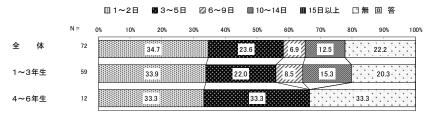
問16 利用日数②おはなしでてこい[%]



問16 今後の利用希望②おはなしでてこい[%]



問16 今後の利用希望日数②おはなしでてこい[%]



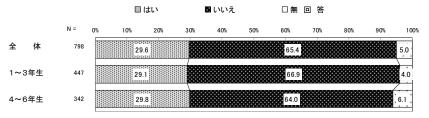
③子ども会・ジュニアリーダー

認知度は29.6%、利用率は15.3%、利用日数は「3~5日」が47.5%と高く、平均利用日数は4.1日である。

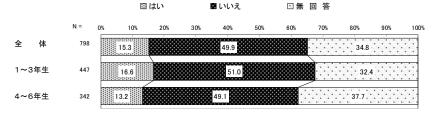
利用希望率は 13.8%で、利用希望日数は「 $1\sim2$ 日」が 31.8%と高く、平均利用希望日数は 3.2日である。

学年別では、1~3年生のいる世帯で、利用希望率が17.7%と高い。

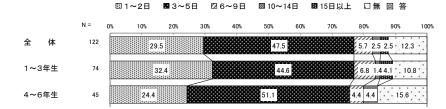
問16 認知③子ども会・ジュニアリーダー[%]



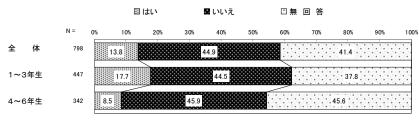
問16 利用③子ども会・ジュニアリーダー[%]



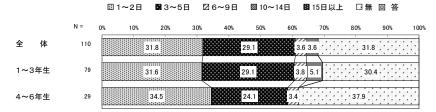
問16 利用日数③子ども会・ジュニアリーダー[%]



問16 今後の利用希望③子ども会・ジュニアリーダー[%]



問16 今後の利用希望日数③子ども会・ジュニアリーダー[%]



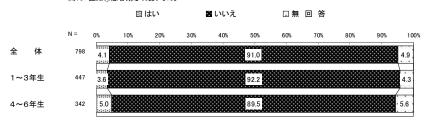
④思春期ふれあい

認知度は4.1%、利用率は0.3%、利用日数は、回答者が2名で、1名が「3~5日」、1名が無回答である。

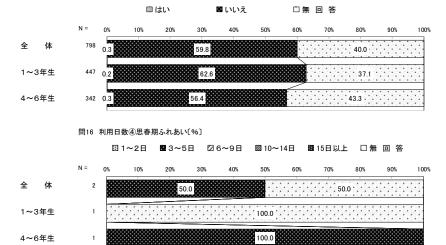
利用希望率は 9.4%で、利用希望日数は「 $1\sim2$ 日」が 45.3%と高く、平均利用希望日数は 2.2日である。

学年別では、1~3年生のいる世帯で、利用希望率が12.1%とやや高い。

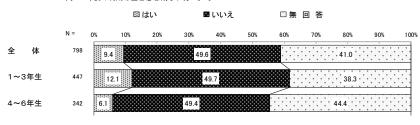
問16 認知④思春期ふれあい[%]



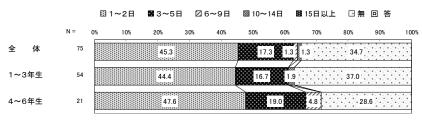
問16 利用④思春期ふれあい[%]



問16 今後の利用希望④思春期ふれあい[%]



問16 今後の利用希望日数④思春期ふれあい[%]



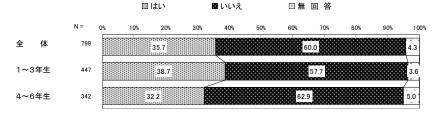
⑤子育て情報誌・健康ガイド

認知度は 35.7%、利用率は 6.5%、利用日数は「 $1\sim2$ 日」が 42.3%と高く、平均利用日数は 3.1 日である。

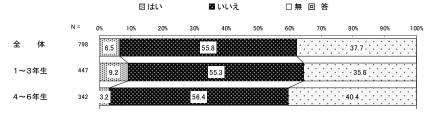
利用希望率は 13.9%で、利用希望日数は「 $1\sim2$ 日」が 33.3% と高く、平均利用希望日数 は 3.8 日である。

学年別では、1~3年生のいる世帯で、利用率が9.2%、利用希望率が18.1%と高い。

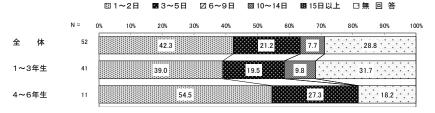
問16 認知⑤子育て情報誌・健康ガイド[%]



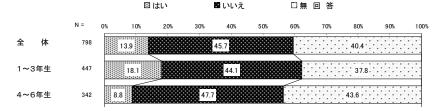
問16 利用⑤子育て情報誌・健康ガイド[%]



問16 利用日数⑤子育で情報誌・健康ガイド[%]



問16 今後の利用希望⑤子育て情報誌・健康ガイド[%]



問16 今後の利用希望日⑤子育て情報誌・健康ガイド[%]

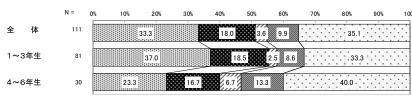


图 1~2日 ■ 3~5日 図 6~9日 図 10~14日 ■ 15日以上 □無 回 答

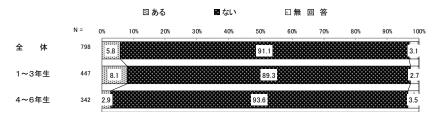
3-5. 不定期に利用する事業

問 17 お子さんについて、保護者の用事(私用、保護者の通院、就労など)の目的で不定期に利用した民間サービスはありますか。

「ない」が91.1%と大半を占め、「ある」が5.8%である。

学年別では、1~3年生のいる世帯で「ある」が8.1%とやや高い。

問17 保護者の用事での利用有無[%]



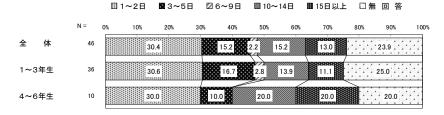
問 17で「1. ある」に〇をつけた方にうかがいます。

問 17-1 利用したサービスと、年間の利用日数をお答えください。

「 $1\sim2$ 日」が 30.4% と高く、「 $3\sim5$ 日」と「 $10\sim14$ 日」がともに 15.2% で続き、平均利用日数は 12.3 日である。

学年別では、4~6年生のいる世帯で「10~14 日 | と「15 日以上 | がともに 20.0%と高い。

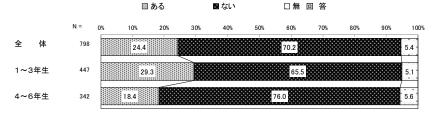
問17-1 利用日数[%]



問 18 急にお子さんを預けなければならない時がありますか。

「ない」が 70.2% と高く、「ある」が 24.4% である。 学年別では、 $1 \sim 3$ 年生のいる世帯で「ある」が 29.3% とやや高い。

問18 急にお子さんを預けなければならない時[%]

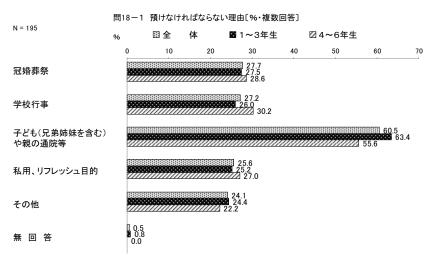


問 18で「1. ある」に〇をつけた方

問 18-1 預けなければならない理由をお答えください。

「子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」が60.5%と高く、「冠婚葬祭」、「学校行事」、「私用、リフレッシュ目的」、「その他」がそれぞれ25%前後で続いている。

学年別では、 $1 \sim 3$ 年生のいる世帯で「子ども (兄弟姉妹を含む) や親の通院等」が 63.4% とやや高い。

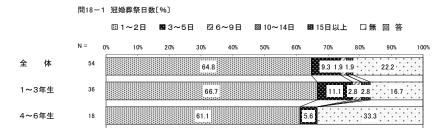


冠婚葬祭での利用日数は「 $1\sim2$ 日」が64.8%と高く、平均利用日数は2.2日である。学校行事での利用日数は「 $3\sim5$ 日」が47.2%と高く、平均利用日数は3.8日である。

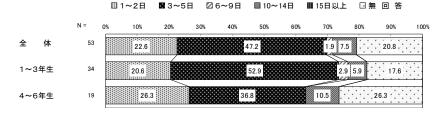
子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等での利用日数は「 $3\sim5$ 日」が 28.0%と高く、平均利用日数は 6.8日である。

私用、リフレッシュ目的での利用日数は「 $3\sim5$ 日」が30.0%と高く、平均利用日数は9.8日である。

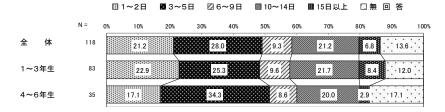
その他の利用日数は「 $1 \sim 2$ 日」が 25.5% と高く、平均利用日数は 6.5日である。



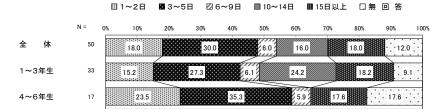
問18-1 学校行事日数[%]



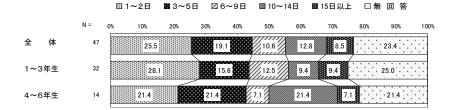
問18-1 子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等日数[%]



問18-1 私用、リフレッシュ目的日数[%]



問18-1 その他日数[%]

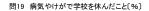


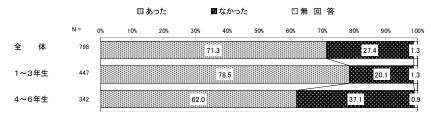
3-6. 病気の際の対応

問 19 この 1 年間に、お子さんが病気やけがで学校を休んだことはありますか。

「あった」が71.3%を占め、「なかった」が27.4%である。

学年別では、4~6年生のいる世帯で「あった」が62.0%と低い。





問 19 で「1. あった」に〇をつけた方

問 19-1 お子さんが病気やけがで学校を休んだ際に、この1年間に行った対処方法をお答えください。

「母親が休んだ」が 72.4%と高く、「親族・知人に子どもをみてもらった」が 39.2%、「父親が休んだ」が 23.7%で続いている。

学年別では、 $1 \sim 3$ 年生のいる世帯で「母親が休んだ」が 78.3%、「父親が休んだ」が 28.5% と高い。

問19-1 1年間の対処方法[%・複数回答] N = 569⊞ 全 ■ 1~3年生 ☑ 4~6年生 10 父親が休んだ 72.4 母親が休んだ 親族・知人に子どもをみて もらった 父親または母親のうち就 労していない方が子どもを みた ベビーシッターを利用した 仕方なく子どもだけで留守 番をさせた その他 無回答

99

父親が休んだ目数は「1日」が27.4%と高く、平均利用日数は3.3日である。

母親が休んだ日数は「7日以上」が22.6%と高く、平均利用日数は5.1日である。

親族・知人に子どもをみてもらった日数は「7日以上」が 22.9%と高く、平均利用日数は 5.3 日である。

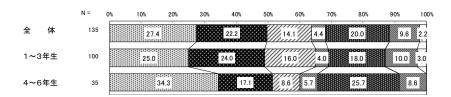
就労していない方が子どもをみた日数は「7日以上」が33.3%と高く、平均利用日数は5.8 日である。

仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数は「1日」が35.3%と高く、平均利用日数は2.4日である。

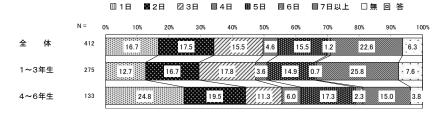
图 1日 ■ 2日 図 3日 図 4日 ■ 5日 図 6日 図 7日以上 □無 回 答

その他の利用目数は「1日」が39.1%と高く、平均利用目数は3.5目である。

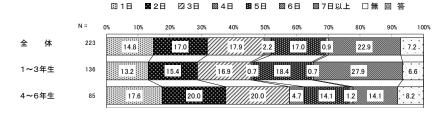
問19-1 父親が休んだ日数[%]



問19-1 母親が休んだ日数[%]

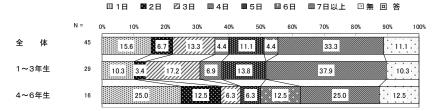


問19-1 親族・知人に子どもをみてもらった日数[%]



100

問19-1 就労していない方が子どもをみた日数[%]



問19-1 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数[%]

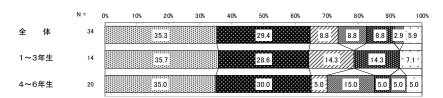
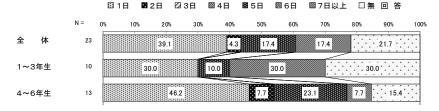


图 1日 ■ 2日 図 3日 ■ 4日 ■ 5日 ■ 6日 ■ 7日以上 □無 回 答

問19-1 その他の日数[%]

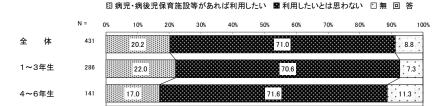


間 19-1 で「1、」「2、」のいずれかに〇をつけた方

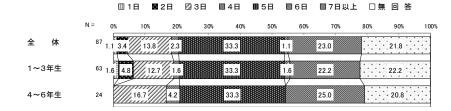
問 19-2 お子さんが病気やけがで学校を休んだ際、「できれば病児・病後児保育等を利用したい」と思われましたか。

「利用したいとは思わない」が 71.0%と高く、「病児・病後児保育施設等があれば利用したい」が 20.2%である。利用希望日数は「5日」が 33.3%と高く、平均利用希望日数は 6.1日である。

問19-2 病児・病後児保育施設利用意向[%]



問19-2 利用希望日数[%]

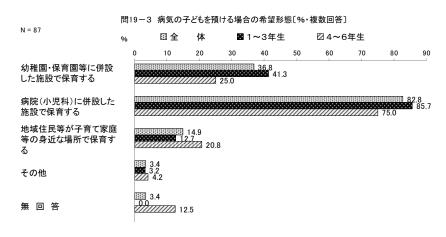


問 19-2で「1.」に〇をつけた方

問 19-3 病気の子どもを預ける場合、どのような形態が望ましいと思いますか。

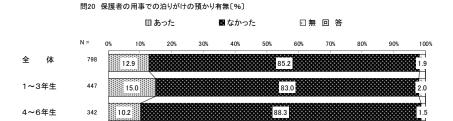
「病院(小児科)に併設した施設で保育する」が82.8%と高く、「幼稚園・保育園等に併設した施設で保育する」が36.8%で続いている。

学年別では、 $4\sim6$ 年生のいる世帯で「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する」が 20.8% と高い。



問 20 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。

「なかった」が85.2%と大半を占め、「あった」が12.9%である。

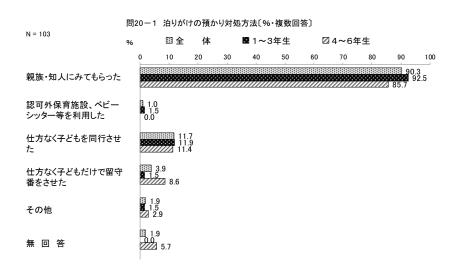


問20で「1. あった」に〇をつけた方

問20-1 この1年間の対処方法をお答えください。

「親族・知人にみてもらった」が90.3%と高く、「仕方なく子どもを同行させた」が11.7%、「仕方なく子どもだけで留守番させた」が3.9%で続いている。

学年別では、 $4\sim6$ 年生のいる世帯で「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が8.6%とやや高い。



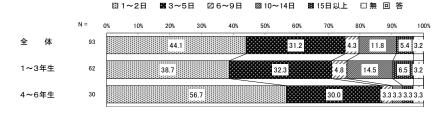
親族・知人にみてもらった日数は「 $1\sim2$ 日」が 44.1%、「 $3\sim5$ 日」が 31.2%と高く、平均利用日数は 5.3 日である。

仕方なく子どもを同行させた日数は「 $1\sim2$ 日」が41.7%と高く、平均利用日数は9.2日である。

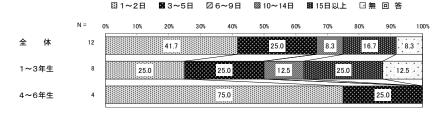
仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数は、回答数は4名で、2名が「 $1\sim2$ 日」、1名が「 $6\sim9$ 日」、1名が無回答で、平均利用日数は3.3日である。

その他の日数は、回答数は2名で、1名が「 $1\sim2$ 日」、1名が「 $6\sim9$ 日」で、平均利用日数は3.5日である。

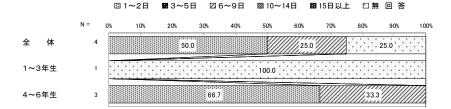
問20-1 親族・知人にみてもらった日数[%]



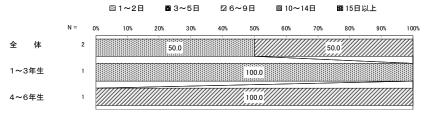
問20-1 仕方なく子どもを同行させた日数[%]



問20-1 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数[%]



問20-1 その他の日数[%]

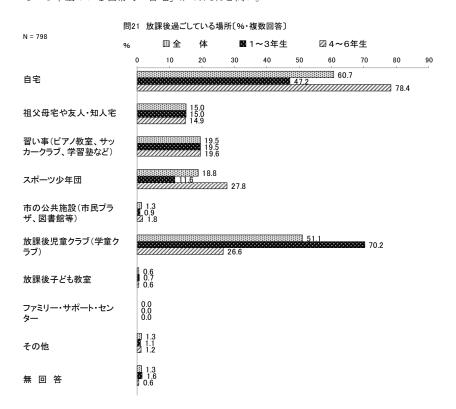


3-7. 放課後の過ごし方

問 21 お子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。

「自宅」が60.7%と高く、「放課後児童クラブ (学童クラブ)」が51.1%、「習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が19.5%で続いている。

学年別では、 $1 \sim 3$ 年生のいる世帯で「放課後児童クラブ (学童クラブ)」が 70.2%と高く、 $4 \sim 6$ 年生のいる世帯で「自宅」が 78.4%と高い。



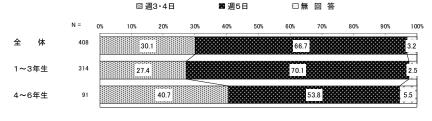
問21で「6、放課後児童クラブ(学童クラブ)」に〇をつけた方

問 21-1 現在の利用日数と時間をお答えください。

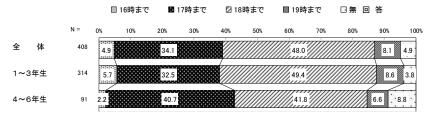
【平日】

利用日数は「週5日」が66.7%を占め、「週3・4日」が30.1%である。 利用時間は「18時まで」が48.0%と高く、「17時まで」が34.1%で続いている。 学年別では、 $4\sim6$ 年生のいる世帯で「週3・4日」が40.7%と高い。





問21 平日の利用時間[%]

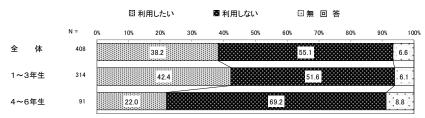


【十曜日】

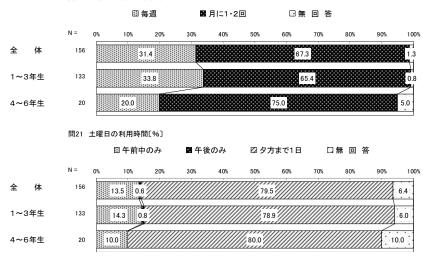
「利用したい」が38.2%、「利用しない」が55.1%である。

利用日数は「月に $1 \cdot 2$ 回」が67.3%と高く、「毎週」が31.4%である。 利用時間は「夕方まで1日」が79.5%と高く、「午前中のみ」が13.5%である。 学年別では、 $1 \sim 3$ 年生のいる世帯で「利用したい」が42.4%とやや高い。

問21 土曜日の利用希望[%]



問21 土曜日の利用日数[%]



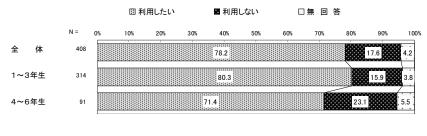
【長期休暇期間】

「利用したい」が78.2%、「利用しない」が17.6%である。

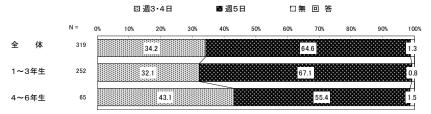
利用日数は「週5日」が64.6%と高く、「週3・4日」が34.2%である。

利用時間は「夕方まで1日」が92.8%と大半を占め、「午前中のみ」が5.3%である。 学年別では、 $4\sim6$ 年生のいる世帯で「週3・4日」が43.1%と高い。

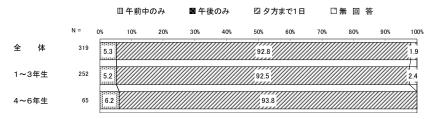
問21 長期休暇期間の利用希望[%]



問21 長期休暇期間の利用日数[%]



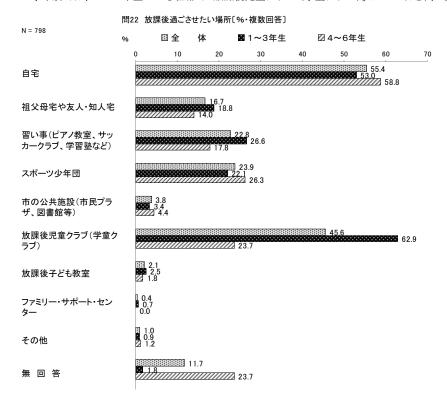
問21 長期休暇期間の利用希望時間[%]



お子さんが小学1~5年生の方

問 22 お子さんについて、放課後 (平日の小学校終了後) の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

「自宅」が 55.4%と高く、「放課後児童クラブ (学童クラブ)」が 45.6%、「スポーツ少年団」 が 23.9%、「習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が 22.8%で続いている。 学年別では、1~3年生のいる世帯で「放課後児童クラブ (学童クラブ)」が 62.9%と高い。



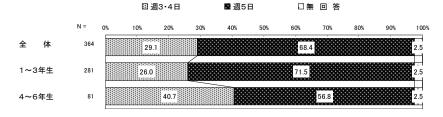
問 22 で「6. 放課後児童クラブ (学童クラブ)」にOをつけた方

問 23 利用を希望するそれぞれの利用日数と利用時間をお答えください。

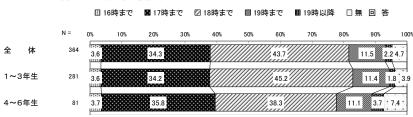
【平日】

利用希望日数は「週5日」が68.4%と高く、「週 $3\cdot4$ 日」が29.1%である。 利用希望時間は「18 時まで」が43.7%と高く、「17 時まで」が34.3%で続いている。 学年別では、 $4\sim6$ 年生のいる世帯で「週 $3\cdot4$ 日」が40.7%と高い。

問23 平日の利用希望日数[%]



問23 平日の利用希望時間[%]



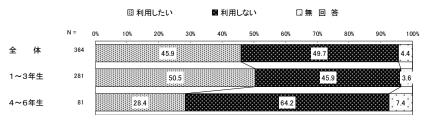
【土曜日】

「利用したい」が 45.9%、「利用しない」が 49.7%である。

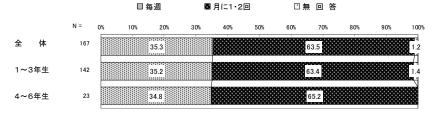
利用希望日数は「月に1・2回」が63.5%、「毎週」が35.3%である。

利用希望時間は「夕方まで1日」が83.2%と高く、「午前中のみ」が11.4%で続いている。 学年別では、 $4\sim6$ 年生のいる世帯で「利用しない」が64.2%と高い。

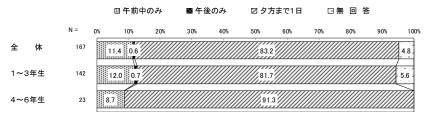
問23 土曜日の利用希望[%]



問23 土曜日の利用希望日数[%]



問23 土曜日の利用希望時間[%]



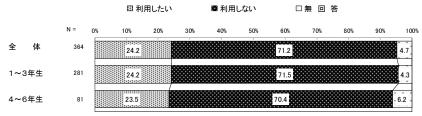
【日曜・祝日】

「利用したい」が24.2%、「利用しない」が71.2%である。

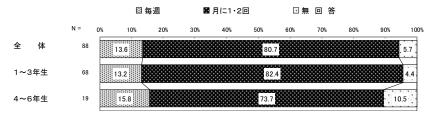
利用希望日数は「月に1・2回」が80.7%、「毎週」が13.6%である。

利用希望時間は「夕方まで1日」が80.7%と高く、「午前中のみ」が8.0%で続いている。

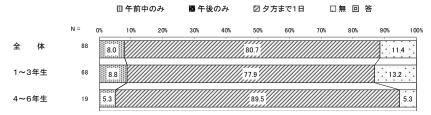
問23 日曜・祝日の利用希望[%]



問23 日曜・祝日の利用希望日数[%]



問23 日曜・祝日の利用希望時間[%]



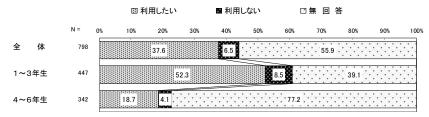
【長期休暇期間】

「利用したい」が37.6%、「利用しない」が6.5%である。

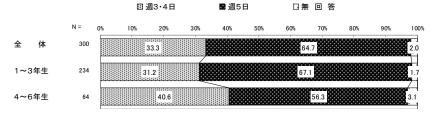
利用希望目数は「週5日」が64.7%、「週3・4日」が33.3%である。

利用希望時間は「夕方まで1日」が 93.0%と大半を占め、「午前中のみ」が 4.7%である。 学年別では、 $1 \sim 3$ 年生のいる世帯で「利用したい」が 52.3%と高い。

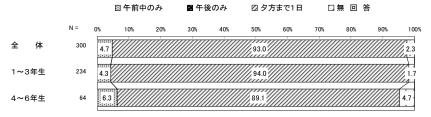
問23 長期休暇期間の利用希望[%]



問23 長期休暇期間の利用希望日数[%]



問23 長期休暇期間の利用希望時間[%]



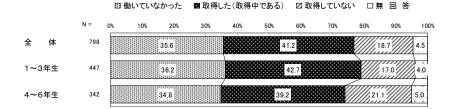
3-8. 仕事と子育ての両立支援制度

問24 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

【母親】

「取得した(取得中である)」が41.2%と高く、「働いていなかった」が35.6%、「取得していない」が18.7%で続いている。

問24 育児休業取得状況(1)母親[%]



【父親】

「取得していない」が81.7%と高く、「取得した(取得中である)」が1.8%で続いている。

問24 育児休業取得状況(2)父親[%]

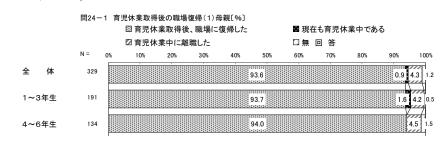


問24で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方

問24-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

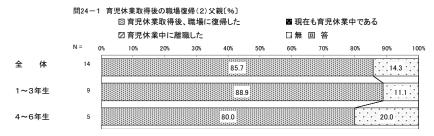
【母親】

「育児休業取得後、職場に復帰した」が93.6%と大半を占め、「育児休業中に復職した」が4.3%である。



【父親】

回答数は少ないが、「育児休業取得後、職場に復帰した」が85.7%を占めている。

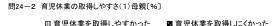


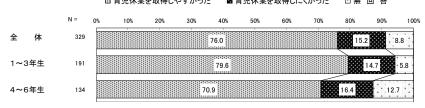
問24-2 育児休業を取得しやすかったですか。

【母親】

「育児休業を取得しやすかった」が 76.0%と高く、「育児休業を取得しにくかった」が 15.2% である。

学年別では、 $1 \sim 3$ 年生のいる世帯で「育児休業を取得しやすかった」が 79.6% と高い。



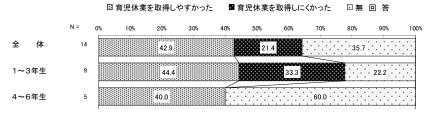


【父親】

回答数は少ないが、「育児休業を取得しやすかった」が 42.9%と高く、「育児休業を取得しにくかった」が 21.4%である。

学年別では、 $1 \sim 3$ 年生のいる世帯で「育児休業を取得しにくかった」が 33.3% と高い。

問24-2 育児休業の取得しやすさ(2)父親[%]



問 24-1 で「(a) 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方

問 24-3 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

【母親】

「利用する必要がなかった」が 35.1%と高く、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が 32.5%、「利用した」が 25.3%で続いている。

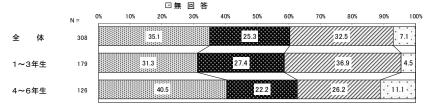
学年別では、 $1\sim3$ 年生のいる世帯で「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が 36.9%とやや高く、 $4\sim6$ 年生のいる世帯で「利用する必要がなかった」が 40.5% とやや高い。



□ 利用する必要がなかった

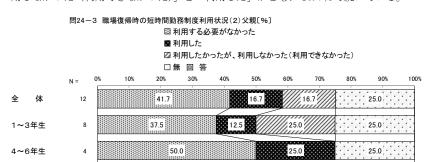
■ 利用した

☑ 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)



【父親】

回答数は少ないが、「利用する必要がなかった」が 41.7%と高く、「利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)」と「利用した」がともに 16.7%で続いている。



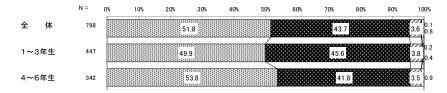
3-9. 子育てに関すること

問 25 子育ては楽しいですか。

「楽しい」が51.8%と高く、「どちらかといえば楽しい」が43.7%で続いている。

問25 子育ては楽しい[%]

③楽しい ■ どちらかといえば楽しい ② どちらかといえば楽しくない ◎楽しくない □無 回 答

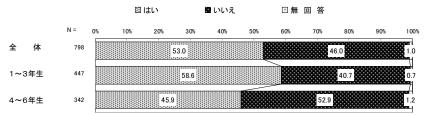


問 26 子育てをしていてつらいと思うことはありますか。

「はい」が 53.0%、「いいえ」が 46.0%である。

学年別では、1~3年生のいる世帯で「はい」が58.6%と高い。

問26 子育てをしていてつらいと思うことがある[%]



問26で「1.(はい)」に〇をつけた方

問 26-1 つらいと思うことは何ですか。

「子どもとの時間が十分にとれないこと」が 46.3%、「子どもの遊ばせ方や、しつけについて」が 46.1%と高く、「子どもへの接し方について」が 34.0%、「仕事や自分のことが十分にできないこと」が 32.2%で続いている。

学年別では、「子どもとの時間が十分にとれないこと」は、 $1 \sim 3$ 年生のいる世帯で 50.0% とやや高く、 $4 \sim 6$ 年生のいる世帯で 39.5%と低い。

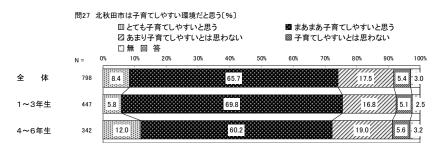
問26-1 つらいと思うこと[%・複数回答] N = 423 田全 体 ■ 1~3年生 ☑ 4~6年生 20 50 60 子どもの発達について 子どもの障がいや病気に ついて 子どもの遊ばせ方や、し 46.1 つけについて 子どもへの接し方につい 28.1 30.5 子育てに自信が持てない 1 46.3 50.0 子どもとの時間が十分に とれないこと 配偶者が子育てに協力的 でないこと 32.2 仕事や自分のことが十分 にできないこと 子育て仲間がいないこと 保育情報や地域の子育て 情報がないこと その他 1.4 1.5 1.3 無回答

3-10. 北秋田市の子育て環境

問 27 北秋田市は子育てしやすい環境だと思いますか。

「まあまあ子育てしやすいと思う」が 65.7%と高く、「あまり子育てしやすいとは思わない」が 17.5%、「とても子育てしやすいと思う」が 8.4%で続いている。

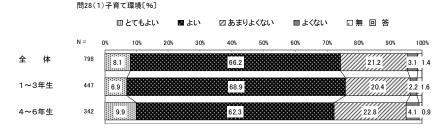
学年別では、 $4\sim6$ 年生のいる世帯で「とても子育てしやすいと思う」が 12.0%とやや高い。



問 28 北秋田市の子育てや教育の環境等についてどのようにお考えですか。

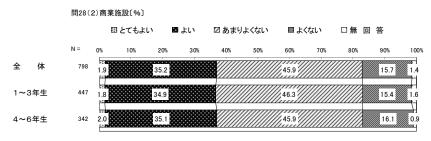
①子育て環境

「よい」が 66.2%と高く、「あまりよくない」が 21.2%、「とてもよい」が 8.1%で続いて いる。



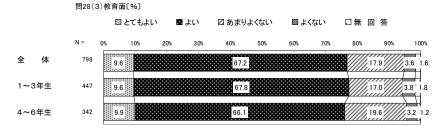
②商業施設

「あまりよくない」が 45.9% と高く、「よい」が 35.2%、「よくない」が 15.7% で続いている。



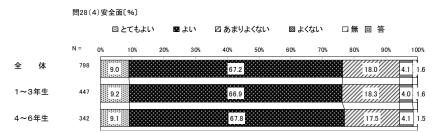
3教育面

「よい」が67.2%と高く、「あまりよくない」が17.9%で続いている。



④安全面

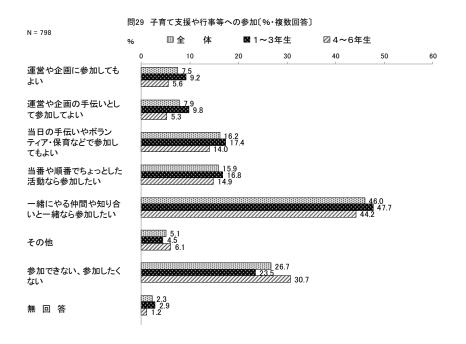
「よい」が67.2%と高く、「あまりよくない」が18.0%で続いている。



問 29 地域で開催されている子育て支援や子どもの体験活動や行事等への参加について、どのようにお考えですか。

「一緒にやる仲間や知り合いと一緒なら参加したい」が46.0%と高く、「参加できない、参加したくない」が26.7%、「当日の手伝いやボランティア・保育などで参加してもよい」が16.2%、「当番や順番でちょっとした活動なら参加したい」が15.9%で続いている。

学年別では、 $4\sim6$ 年生のいる世帯で「参加できない、参加したくない」が 30.7%とやや 高い。



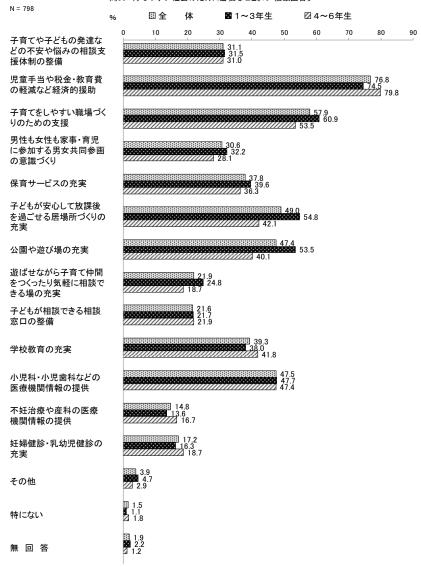
問30 子どもを育てやすい社会のために必要だと思うことは何ですか。

「児童手当や税金・教育費の軽減など経済的援助」が 76.8%と高く、「子育てをしやすい職場づくりのための支援」が 57.9%、「子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくりの充実」が 49.0%、「公園や遊び場の充実」が 47.4%で続いている。

学年別では、 $1 \sim 3$ 年生のいる世帯で「子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくりの充実」が 54.8%、「公園や遊び場の充実」が 53.5% と高い。

119

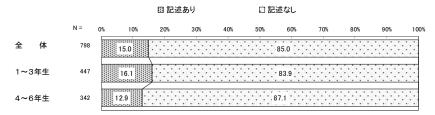
問30 育てやすい社会のために必要なこと[%・複数回答]



問 31 これまでの子育てや教育の経験から、これから子育てをする方などへのアドバイスや気づきなどがありましたら、お書きください。

15.0%が記述しており、主な内容は「子育てに関すること (アドバイスや心構えなど)」、「学校に関すること」、「相談・相談先に関すること」などである。

問31 これから子育てをする方などへのアドバイス[%]



小学生保護者 問31自由意見

順位	内容	件数					
1位	子育てに関すること(アドバイスや心構えなど)						
	子育てに行き詰まりそうなら、外に出る。頑張りすぎない。完璧を求めない。子育では楽しいが難しい。 子どもが大きくなってきた今も、日々悩むことも多い。親も子どもと一緒に成長していかないといけないと 思う。なんでもきちんとやらなければいけないと思って行動すると必ず行き詰ってしまうので、手抜きをし ながら、マイベースで子育でするとよいと思う。						
	学校に関すること						
2位	学校行事の保護者参加が多すぎるので無理だ。保護者に頼りすぎているのではないか。少人数の学校のよさももちろんあるとは思うが、ある程度人数がないとできないことが山ほどあるのに、地域の都合で統合を拒否することは子どもがかわいそうだ、という個人的な意見だった。統合してよかったと感じた者の気持ちである。統合することで、送迎・通学が変わること、他校の子ども達との仲がどうなるか、心配なところもある。	15件					
	相談・相談先に関すること						
3位	困った時、苦しい時などに声を出すことが大切だと思う。発達障がいについて、もっと取り組んでほしい。 施設、就労の場等、その人に合うアドバイス等してくれる相談の場を増やし、気軽に行けたらよいと思う。相談できずに悩んでいる親も多いと思う。思春期の子ども達が相談できるような大人がいてくれるのも、ありがたいのではないか。親には相談できないことを、話を聞いてアドバイスしてくれる第三者がしたら、子どもは安心できると思う。どんなに困っても相談相手は答えをくれるわけではない。ヒントになればもうけもの、ただのグチを吐いたと思っていれば、いくらか楽である。						
	職場・仕事に関すること						
4位	仕事場が北秋田市内にはなく、市外へ通勤している。その分子どもと接する時間が短くなってしまうし、帰りも遅くなり、ゆっくり余裕を持った接し方もできない時もある。もっと北秋田市内に仕事があれば助かる。子どもの行事、病気等の時休みやすい職場づくりがされていけばよい。公務員の方々から育休を体等をきっちり取得してほしい(特に男性)、そうしないと民間はついていかない。						
	子育て支援に関すること						
5位	4月は学校の保育園も納入するお金(入学準備も)が多いので、児童手当等を3~4月にしてほしい。高校在学中まで児童手当等の経済的援助があると助かる。昔よりは医療費助成等、今の子育ては金銭面ではとても助かっていると思う。	11件					

4. 出産前世帯アンケート

4-1. 出産予定の子どもと家族の状況

問1 お住まいの地区を教えてください。

「鷹巣地区」が90.6%を占め、「森吉地区」が6.3%、「合川地区」が3.1%である。

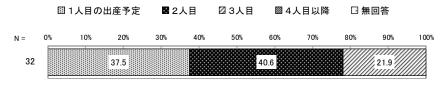
問1 居住地区[%]

	圕 鷹巣地区			■ 合川地区		🛭 森吉地区		■ 阿仁地区		□ 無回答	
N =	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
32					9(0.6					6.3

問2 出産予定のお子さんは何人目ですか。

「1人目の出産予定」が37.5%、「2人目」が40.6%、「3人目」が21.9%である。

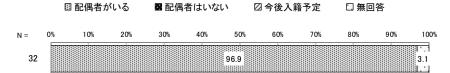
問2 出産予定の子どもは何人目か〔%〕



問3 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

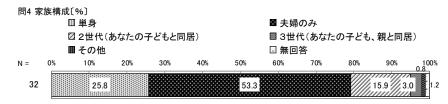
「配偶者がいる」が96.9%と大半を占めている。

問3 配偶関係[%]



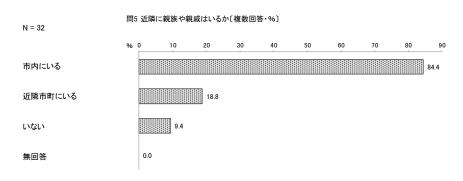
問4 現在の家族構成についてお答えください。

「夫婦のみ」が53.3%、「単身」が25.8%、「2世代(あなたの子どもと同居)」が15.9%、「3世代(あなたの子ども、親と同居)」が3.0%、「その他」が0.8%である。



問5 概ね30分以内で行き来できる範囲に、祖父母や親せき、妊婦の兄弟姉妹などがいますか。

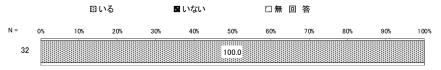
「市内にいる」が84.4%と高く、「近隣市町にいる」が18.8%、「いない」が9.4%である。



問6 あなたは、妊娠期のことや子育てについて気軽に相談できる人がいますか。

全員が「いる」と回答している。

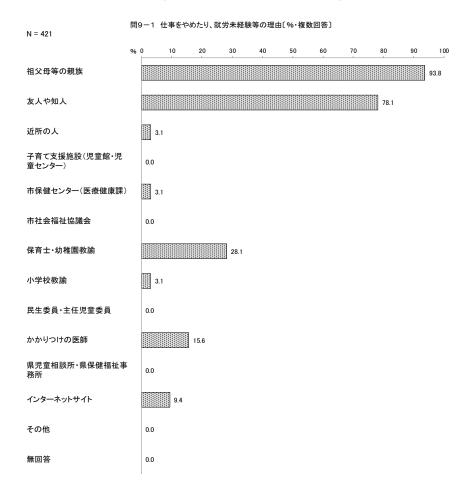




問6で「1.」に〇をつけた方

問6-1 妊娠期のことや子育てについて、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。

「祖父母等の親族」が93.8%と高く、「友人や知人」が78.1%、「保育士・幼稚園教諭」が28.1%、「かかりつけの医師」が15.6%、「インターネットサイト」が9.4%で続いている。

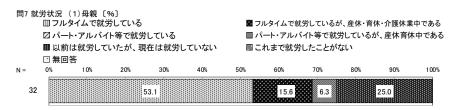


4-2. 保護者様の就労状況

問7 保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。

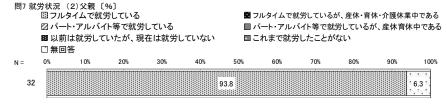
【母親】

「フルタイムで就労している」が53.1%と高く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が25.0%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が15.6%、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休育休中である」が6.3%である。



【父親】

「フルタイムで就労している」が93.8%と大半を占めている。



【その他】

回答者はいない。

問7で「5.」または「6.」に〇をつけた方

問8 就労したいという希望はありますか。

【母親】

回答者は少ないが、「子育てや家事などに専念したい (就労予定はない)」が 50.0%、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」が 37.5%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 12.5%である。

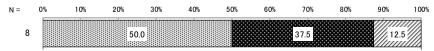
問8 就労希望について (1) 母親 [%]

■子育てや家事などに専念したい(就労予定はない)

■ 1年より先、一番下の子どもが口口歳になったころに就労したい

☑ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

□ 無回答



【父親】

回答者はいない。

【その他】

回答者はいない。

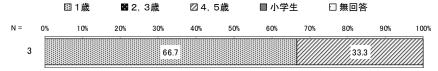
問8で「2.」に〇をつけた方

問8-1 お子さんが何歳になったら就労したいですか。

【母親】

回答者は3名で、2名が「1歳」、1名が「4,5歳」と回答している。

問8-1 子どもが何歳になったら就労したいか (1)母親[%]



【父親】

回答者はいない。

【その他】

回答者はいない。

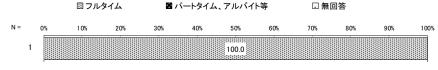
問8で「3.」に〇をつけた方

問8-2 希望する就労形態は何ですか。

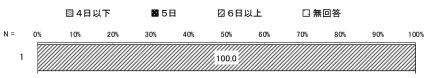
【母親】

回答者は1名で、希望する就労形態は「フルタイム」、1週間当たりの就労日数は「6日以上」、1日当たりの就労時間は「6時間以上8時間未満」と回答している。

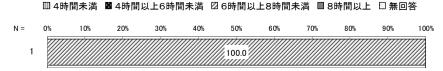
問8-2 希望する就労形態 (1)母親[%]



問8-2 1週間当たりの就労日数 (1)母親[%]



問8-2 1日当たりの就労日数 (1)母親[%]



【父親】

回答者はいない。

【その他】

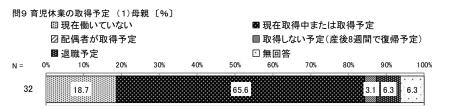
回答者はいない。

4-3. 仕事と子育ての両立

問9 お子さんが生まれた後、育児休業を取得する予定ですか。

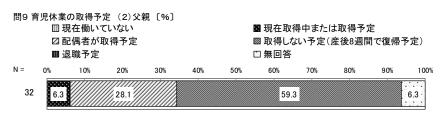
【母親】

「現在取得中または取得予定」が 65.6% と高く、「現在働いていない」が 18.7%、「退職予定」が 6.3%、「取得しない予定 (産後 8 週間で復帰予定)」が 3.1% である。



【父親】

「取得しない予定(産後8週間で復帰予定)」が59.3%と高く、「配偶者が取得予定」が28.1%、「現在取得中または取得予定」が6.3%である。

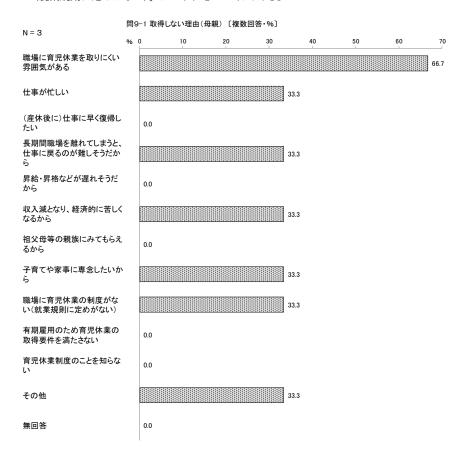


問9で「4.」「5.」に〇をつけた方

問9-1 取得しないのは何故ですか。

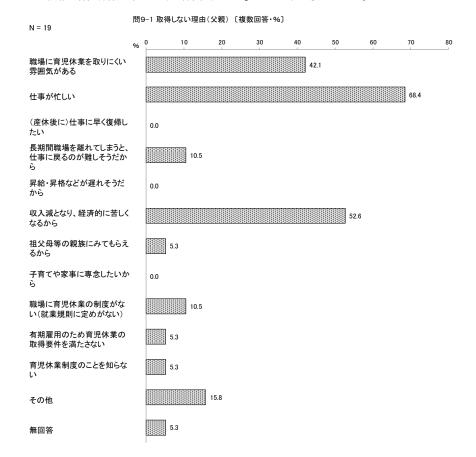
【母親】

回答者は少ないが、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気がある」が 66.7%、「仕事が忙しい」、「長期間職場を離れてしまうと、仕事に戻るのが難しそうだから」、「収入減となり、経済的に苦しくなるから」、「子育てや家事に専念したいから」と「職場に育児休業の制度がない(就業規則に定めがない)」がいずれも 33.3%である。



【父親】

「仕事が忙しい」が 68.4%と高く、「収入減となり、経済的に苦しくなるから」が 52.6%、 「職場に育児休業を取りにくい雰囲気がある」が 42.1%で続いている。

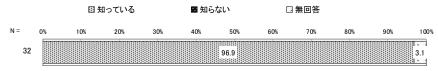


129

問10 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知っていますか。

「知っている」が96.9%と大半を占めている。

問10 産前産後の休暇に対する認識[%]

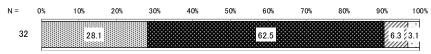


問 11 あなたは妊娠がわかってから仕事をやめましたか、またはやめるつもりですか。

「仕事を継続していく」が 62.5% と高く、「仕事をやめた・やめるつもり」が 28.1%、「妊娠前から働いていない」が 6.3%である。

問11 妊娠発覚後の仕事について [%]

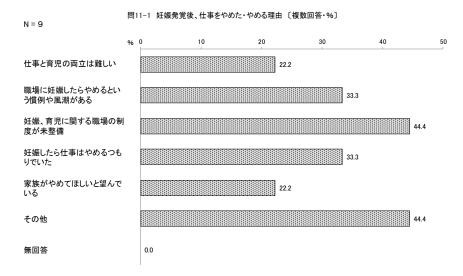




問 11 で「1. 仕事をやめた・やめるつもり」に〇をつけた方

問 11-1 その理由は何ですか。

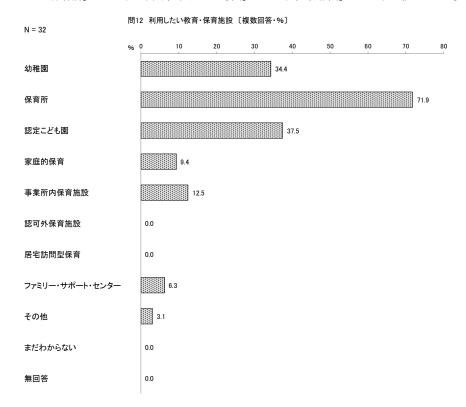
回答者は少ないが、「妊娠、育児に関する職場の制度が未整備」が 44.4%、「職場に妊娠したらやめるという慣例や風潮がある」と「妊娠したら仕事はやめるつもりでいた」がともに 33.3%、「仕事と育児の両立は難しい」と「家族がやめてほしいと望んでいる」がともに 22.2% である。



131

問 12 お子さんが生まれてから小学校に入学するまでの間に、利用したい教育・保育施設はどれですか。

「保育所」が71.9%と高く、「認定こども園」が37.5%、「幼稚園」が34.4%で続いている。



132

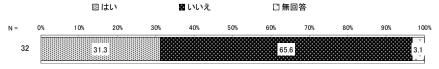
問 13 次の事業で知っているものや、今後、利用したいと思うものをお答えください。

【知っている事業】

①子育て情報誌・健康ガイド

「はい」が31.3%、「いいえ」が65.6%である。

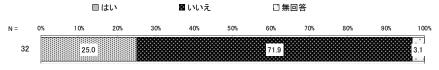
問13A 知っている事業 ①子育て情報誌・健康ガイド[%]



②親と子のわくわく広場

「はい」が25.0%、「いいえ」が71.9%である。

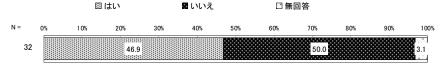
問13A 知っている事業 ②親と子のわくわく広場[%]



③おはなしでてこい

「はい」が46.9%、「いいえ」が50.0%である。

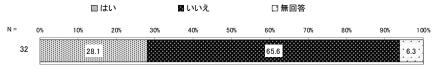
問13A 知っている事業 ③おはなしでてこい[%]



④子育て講座

「はい」が28.1%、「いいえ」が65.6%である。

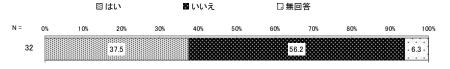
問13A 知っている事業 ④子育て講座[%]



⑤育児サークルにじいろリボン

「はい」が37.5%、「いいえ」が56.2%である。

問13A 知っている事業 ⑤育児サークルにじいろリボン[%]



⑥思春期ふれあい体験学習

「はい」が3.1%、「いいえ」が93.8%である。

問13A 知っている事業 ⑥思春期ふれあい体験学習[%]



⑦保育所体験特別授業

「はい」が6.3%、「いいえ」が90.6%である。

問13A 知っている事業 ⑦保育所体験特別授業[%]

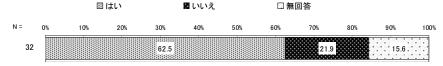


【今後利用したい事業】

①子育て情報誌・健康ガイド

「はい」が 62.5%、「いいえ」が 21.9%である。

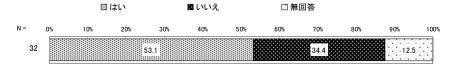
問13B 今後利用したい事業 ①子育で情報誌・健康ガイド[%]



②親と子のわくわく広場

「はい」が 53.1%、「いいえ」が 34.4%である。

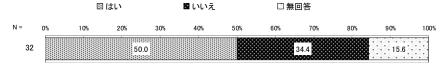
問13B 今後利用したい事業 ②親と子のわくわく広場[%]



③おはなしでてこい

「はい」が50.0%、「いいえ」が34.4%である。

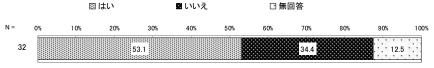
問13B 今後利用したい事業 ③おはなしでてこい[%]



④子育て講座

「はい」が53.1%、「いいえ」が34.4%である。

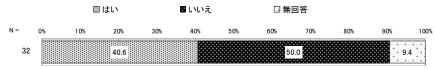
問13B 今後利用したい事業 ④子育て講座[%]



⑤ 育児サークルにじいろリボン

「はい」が40.6%、「いいえ」が50.0%である。

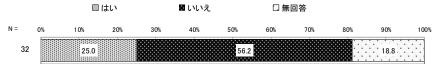
問13B 今後利用したい事業 ⑤育児サークルにじいろリボン[%]



⑥思春期ふれあい体験学習

「はい」が25.0%、「いいえ」が56.2%である。

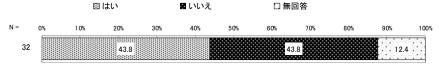
問13B 今後利用したい事業 ⑥思春期ふれあい体験学習[%]



(7)保育所体験特別授業

「はい」と「いいえ」がともに43.8%である。

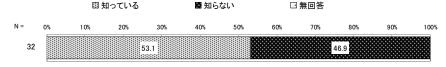
問13B 今後利用したい事業 ⑦保育所体験特別授業[%]



- 問 14 こども医療でんわ相談『#8000』**1を知っていますか。
- ※1 全国同一の短縮番号「#8000」をプッシュすることにより、お住まいの都道府県の 相談窓口に自動転送され、小児科医師・看護師からお子さんの症状に応じた適切な対処の 仕方や受診する病院等のアドバイスを受けられる事業

「知っている」が53.1%、「知らない」が46.9%である。

問14 こども医療でんわ相談に対する認識[%]

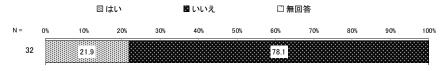


135

- 問 15 児童相談所全国共通ダイヤル『189』^{※2}を知っていますか。
- ※2 虐待かもと思った時など、すぐに児童相談所に通告・相談ができる全国共通の電話番号です。「児童相談所全国共通ダイヤル」にかけるとお近くの児童相談所につながります。

「はい」が21.9%、「いいえ」が78.1%である。

問15 児童相談所全国共通ダイヤルに対する認識[%]



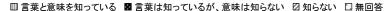
136

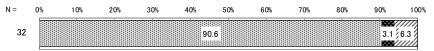
4-4. 子育てに関すること

問 16 「受動喫煙」という言葉や意味を知っていますか。

「言葉と意味を知っている」が 90.6%と大半を占め、「言葉は知っているが、意味は知らない」が 3.1%、「知らない」が 6.3%である。

問16 受動喫煙に対する認識[%]





問17 あなたは、1日3回きちんと食事をしていますか。

「毎日している」が 87.5%と高く、「ほとんど食べない」が 9.4%、「週に半分以上は食べる」が 3.1%である。

問17 1日3回食事をとる頻度[%]

圏 毎日している 圏 週に半分以上は食べる 図 週に2~3日食べる 圏 ほとんど食べない □ 無回答

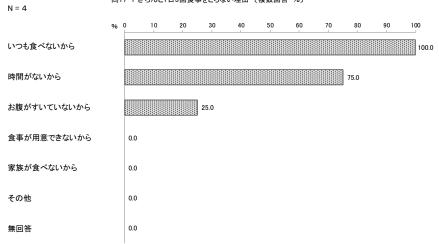


問 17で「2.」~「4.」に〇をつけた方

問 17-1 その理由は何ですか。

回答者は少ないが、「いつも食べないから」が 100.0%、「時間がないから」が 75.0%、「お腹がすいていないから」が 25.0%で続いている。

問17-1 きちんと1日3回食事をとらない理由 〔複数回答・%〕

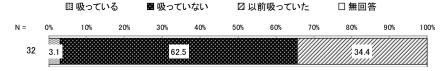


問 18 現在、日常的にたばこを吸っていますか。

【母親】

「吸っていない」が 62.5% と高く、「以前吸っていた」が 34.4%、「吸っている」が 3.1% である。

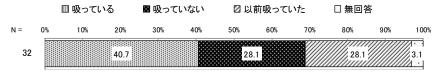
問18 喫煙状況について (1)母親



【父親】

「吸っている」が40.7%、「吸っていない」と「以前吸っていた」がともに28.1%である。

問18 喫煙状況について (2)父親



問 19 現在、日常的に飲酒していますか。

【母親】

全員が「飲んでいない」と回答している。

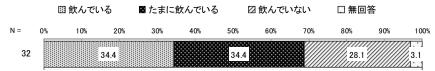
問19 飲酒状況について (1)母親



【父親】

「飲んでいる」と「たまに飲んでいる」がともに 34.4%、「飲んでいない」が 28.1%である。

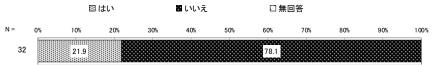
問19 飲酒状況について (2)父親



問 20 妊婦向けの運動や散歩などをしていますか。

「はい」が 21.9%、「いいえ」が 78.1%である。

問20 妊娠向けの運動をしているか[%]

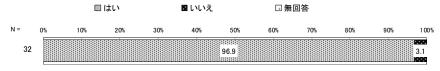


4-5. 北秋田市の子育て環境

問 21 北秋田市では妊婦健診を 17 回受けられるようになっています。あなたは、定期的に受けていますか。

「はい」が96.9%、「いいえ」が3.1%である。

問21 定期的な妊婦健診について[%]

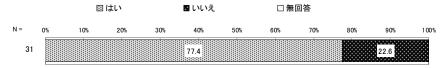


問21で「1.」に〇をつけた方

問 21-1 妊婦健診に満足していますか。

「はい」が 77.4%、「いいえ」が 22.6%である。

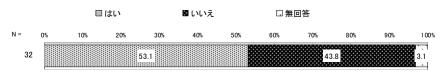
問21-1 妊婦健診に満足しているか[%]



問22 妊娠中に歯科健診を受けていますか。

「はい」が 53.1%、「いいえ」が 43.8%である。

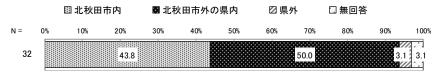
問22 歯科健診を受けているか[%]



問23 出産はどこでされる予定ですか。

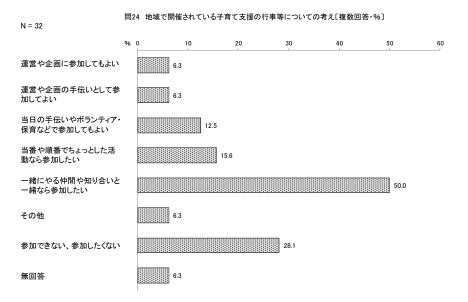
「北秋田市外の県内」が 50.0% と半数を占め、「北秋田市内」が 43.8%、「県外」が 3.1% で続いている。

問23 出産予定地[%]



問 24 地域で開催されている子育て支援や子どもの体験活動や行事等への参加について、どのようにお考えですか。

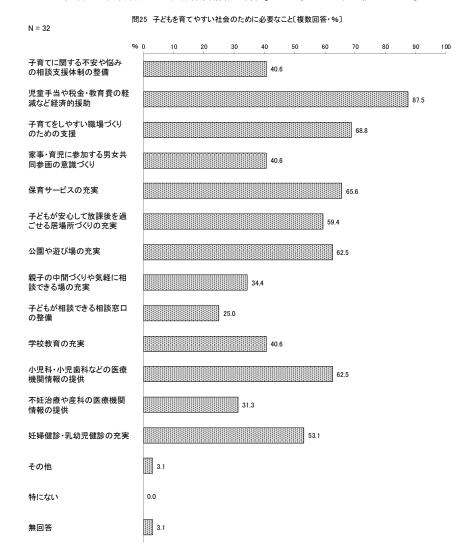
「一緒にやる仲間や知り合いと一緒なら参加したい」が50.0%と高く、「参加できない、参加したくない」が28.1%、「当番や順番でちょっとした活動なら参加したい」が15.6%、「当日の手伝いやボランティア・保育などで参加してもよい」が12.5%で続いている。



141

問 25 子どもを育てやすい社会のために必要だと思うことは何ですか。

「児童手当や税金・教育費の軽減など経済的援助」が87.5%と高く、「子育てをしやすい職場づくりのための支援」が68.8%、「保育サービスの充実」が65.6%、「公園や遊び場の充実」と「小児科・小児歯科などの医療機関情報の提供」がともに62.5%で続いている。

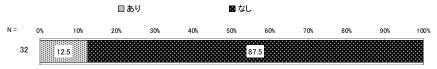


142

問 26 これから子育てをする方などへのアドバイスや気づきなどがありましたら、お書きください。

12.5%が記述している。

問26 自由意見[%]



出産予定の方 問26自由意見

内容

妊娠初期(20週頃)までが特に体調も不安定で胎児の成長にも大事な時期である(流産や風疹感染等)。休みを必要とする人が休める社会づくりが大事だと感じた。それが妊娠・出産による退職を少なくできると思う。産休、育休中の給付金申請の手続きの流れについてわかりやすいパンフレットがあればよいと思う。ファミリーサポートの充実をしてほしい。